

1955/1956



初代理事長
宮川 正夫
【生年月日】 T12.12.5
【入会日】 S30.3

- 役員名簿
- 副理事長 松居源治郎
 - 専務理事 藤田喜久男
 - 理事 松居孝之祐 樋口 松男 富田 茂夫
中西 資朗 沢田 貞三
 - 監事 河路 昌具 沢田 仁蔵

褒章

MEMORYS

- 【事業計画】
1. 会員相互の親睦並びに啓発陶冶に関する事項
 - ① 諸研究会の開催
 - ・講演会討論会の開催
 - ・懇談会座談会の開催
 - ・工場その他の見学会
 - ・趣味文化の鑑賞会
 - ② 調査研究に関する事項
 - ・郷土産業経済問題の調査研究
 - ・企業経済上の問題研究
 - ・郷土青年層の世論動向の調査
 - ・会報の発行
 - ③ 家族会の開催
 2. 外部に対する積極的事業
 - ・研究発表会の開催
 - ・各種意見の具申
 - ・社会事業への参加協力
 - ・諸関係機関協力
 - ・会員相互間の事業提携
 3. 国際JC、日本JC、各地JCとの関係強化
 4. その他本会議所の目的を達成するために必要な事項

- 【事業内容】
- 7月18日 昭和30年度総会、役員選出、懇親会開催
 - 8月23日 会員によるテーブルスピーチ
 - 9月21日 良晴寺に於ける全員修養会(住職の講話を聴取)
 - 10月 北陸線の貨物輸送の現状について(長浜駅貨物主任の話聞く)
 - 11月14日 役員選任の為の臨時総会開催
 - 12月13日 JCを語る懇談会開催

〈本年度の主な事業〉

- 近畿JC親善野球大会参加(於堺JC)
- 北海道冷害見舞金送付
- 会報第3号(8月)発行



創立時、近畿地区大会にオブザーバーとして出席

会員数 **26名**

当時の出来事

- 湖北町、近江町、西浅井町、山東町、米原町、びわ町発足
- 現行の伊吹村発足(四六年に町制)
- メルボルンオリンピック開催

1957



第2代理事長
松居 孝之祐
【生年月日】 T11.12.12
【入会日】 S30.3

- 役員名簿
- 副理事長 樋口 松男
 - 専務理事 藤田喜久男
 - 理事 吉村 喜孝 木村靖一良 宮川 正夫
北村 登 松波 秀
 - 監事 夏川 米造 北川 義朗

褒章

MEMORYS

- 【例会の開催】
- 1月 昭和31年度定期総会並びに新年懇親会
 - 3月 「青少年問題について」 山本少年補導所長
 - 4月 JCSong練習
高橋長浜北高教官
 - 5月 大阪工業セメント(株)伊吹工場見学
 - 6月 児童図画展開催計画についての協議
 - 7月 彦根大会映画会
 - 8月 長浜合板工業(株)見学
 - 9月 ダイヤモンド会長
加藤一氏の講演会
 - 10月 JC世界大会報告会
外交評論家 田村氏の講演会
 - 11月 夏川君東南アジア視察報告会
 - 12月 臨時総会並び懇親会

- 【事業内容】
- 4月20日 近畿JC親善野球大会参加(京都)
 - 5月19日 近畿JC会員大会出席
 - 6月20日~23日 児童図画展覧会
 - 10月15日 世界大会及び会員大会出席

- 義損金の募金寄付
- ・諫早市の水害見舞金2,000円を福岡JCに寄付
 - ・年末助け合い運動に5,000円寄付



32年、総会資料

会員数 **33名**

当時の出来事

- 北陸線ノ本一敦賀間新線完成開通
- 米原一敦賀間交流電化完成
- 南極昭和基地設置

1958



第3代理事長
樋口 松男
【生年月日】 S4.2.6
【入会日】 S30.3

- 役員名簿
- 副理事長 木村靖一良
 - 専務理事 藤田喜久男
 - 理事 松居孝之祐 河路 昌具 宮川 正夫
樋口元太郎 吉村 喜孝
 - 監事 小山 仁朗 藤田 幸

褒章

MEMORYS

- 【事業内容】
- 3月22日 市長を囲んで懇談会
 - 4月24日 平かすみ婦人少年室長を囲み懇談会
 - 6月 5日 文藝春秋の講演会開催
 - 6月 8日 砂田正則氏の南極の話
 - 7月 繊維工業指導所見学
 - 8月28日 小川とよ子氏の中共の話
 - 9~10月 児童図画巡回展示会
 - 11月25日 会員のテーブルスピーチ
 - 12月 歳末助け合い
 - 12月18日 臨時総会と懇親会



文藝春秋講演会



福岡大会に参加したメンバー

会員数 **29名**

当時の出来事

- 長浜市平和都市宣言議決
- 北陸本線長浜一木ノ本間複線工事完成
- 東京タワー完成

1959



第4代理事長
河路 昌具
【生年月日】 S4.8.9
【入会日】 S30.3

- 役員名簿
- 副理事長 北川 義朗
 - 専務理事 藤田喜久男
 - 理事 樋口元太郎 岡野徳一郎 錦織順一郎
平山 恒夫 沢田 貞三
 - 監事 松居孝之祐 宮川 正夫

褒章

MEMORYS

- 【事業計画】
1. 会員相互の親睦並びに啓発陶冶に関する事項
 - ① 月例会の開催(講演会、懇談会、見学会、テーブルスピーチ)
 - ② 会員相互の親睦(家族会、趣味の会等)
 - ③ 郷土産業の調査研究
 - ④ 会報の発行
 2. 社会奉仕に関する事業
 3. 国際親善児童図画の募集と展覧会の開催
 4. 関係諸団体との連繋協力に関する事業
 5. JCI、日本JC及び各地JCとの連繋に関する事業
 6. その他本会議所の目的達成に必要な事業

- 【事業内容】
- 2月 経済クラブ小林茂氏の講演会
 - 3月 市民病院見学
 - 6月 絵についての講演会
 - 7月 長浜税務署長を囲む懇談会
 - 8月 リンガホーンによる英会話練習
 - 9月 優秀中学生の表彰
 - 10月 市内4中学対抗陸上競技会新記録樹立者表彰
 - 10月 児童図画展
親善野球大会への参加
 - 12月 歳末助け合い運動への協力



優秀中学生の表彰

会員数 **34名**

当時の出来事

- 長浜市西独アウグスブルグ市と姉妹都市提携調印
- 国保長浜病院新築移転
- 伊勢湾台風上陸

1960

第5代理事長
北川 義朗
【生年月日】 T15.1.28
【入会日】 S30.3



- 役員名簿
- 副理事長 沢田 貞三
 - 専務理事 藤田喜久男
 - 理事 竹田 善寿 樋口元太郎
 - 河瀬 純治 吉村 喜孝
 - 監 事 大西喜一郎

褒章

MEMORYS

- 【事業内容】
- 3月 人の扱いについての講演会
 - 4月 安保問題についての講演会
 - 4月 交通安全パレード、ステッカー配布
 - 8月 経営セミナーの開催(於伊吹山 講師大森康作氏)
 - 10月 創立5周年記念式典
時計塔寄贈・除幕式(長浜市役所前)
 - 11月 家族会による工場見学と比叡山参拝
中小企業経営動向調査

- 〈本年度の主な事業〉
- 県下JC野球大会の開催
 - 東北地方津波義捐金募金 4,500円
 - チベット難民救済金へ協力 2,000円
 - 伊香郡半明地区大火に救済物資と慰問
 - 趣味の会の発足
 - 市内四中学対抗陸上競技大会新記録樹立者の表彰



会員数 50名

- 当時の出来事
- 長浜商工会議所完成
 - 日米新安条約調印
 - ローマオリンピック開催

1961

第6代理事長
沢田 貞三
【生年月日】 T14.11.1
【入会日】 S31.7



- 役員名簿
- 副理事長 富田 茂夫 樋口元太郎
 - 専務理事 藤田喜久男
 - 理事 樋口松太郎 宮川 正夫 松居孝之祐
 - 夏川 米造 北川 義朗 河路 昌具
 - 木村靖一良
 - 監 事 伊藤 仁一 小山 真澄

褒章

- 近畿地区協議会「優秀委員会賞(総務)」

MEMORYS

- 【事業内容】
- 2月 JC交歓スキー大会
 - 4月 長浜・彦根合同例会
都市計画座談会
 - 6月 第9回近畿地区会員大会の主管
地区協議会長を囲む懇談会の開催
 - 第9回近畿地区会員大会では大会準備委員会を結成し、鋭意大会と実行計画の為に最善の努力を結集した。幸い全会員一致団結無事大会を主管した事は、本JCの歴史に輝かしい記録を残したものと会員一同と共に御同慶に堪えないところであります。本大会の開催に当たり、外にあっては長浜JCの名声と地位を高め、内にあっては会員の友情と団結、そして尚求めてやまない明日への前進を約束付けたものと言えるのであります。
 - 9月 「10年後の長浜を語る座談会」の開催

- 〈本年度の主な事業〉
- 阪本教授の移動セミナーへの参加
 - 佐藤中小企業庁商業課長補佐の「現下中小企業問題について」の講演会開催
 - 市内四中学対抗陸上競技大会新記録樹立者の表彰
 - 市役所前時計塔の整備(噴水工事)
 - 地区協議会長を囲む懇談会の開催
 - JC 対抗野球大会への参加
 - 在浜新聞記者との懇談会の開催
 - JC ニュース(いぶき)の発行
 - 会報の発行



会員数 58名

- 当時の出来事
- 第1回長浜まつり始まる
 - ソ連人工衛星打ち上げ成功
 - 第2室戸台風上陸

1962

第7代理事長
富田 茂夫
【生年月日】 S4.9.2
【入会日】 S30.3



- 役員名簿
- 副理事長 平山 恒夫 河瀬 純治
 - 専務理事 藤田喜久男
 - 理事 宮川 正夫 松居孝之祐 錦織順一郎
 - 中村 尚 成田 益規 岡野徳一郎
 - 伊藤 仁一 平田耕一郎
 - 長谷川助治郎 長谷川成司
 - 監 事 夏川 米造 松居孝之祐

褒章

MEMORYS

- 【事業内容】
- 5月 千宗室君を迎え大茶会の開催
 - 6月 近畿地区協議会セミナーの開催
家族会での料理講習会の開催
 - 7月 近畿マスタープランの協力と調査
 - 8月 市長を囲む懇談会の開催
 - 滋賀ブロック毎のセミナー開催
 - 9月 交通安全看板の設置
 - トヨタ自動車見学
 - 11月 家族会による工場見学と比叡山参拝
中小企業経営動向調査
- その他 趣味の会の開催
(撞球、麻雀、水泳、写真、レコードコンサート)
- 長浜西中プラスバンドへの寄付
- 十勝岳被災者への救済

- 〈本年度の主な事業〉
- 市役所前時計塔整備
 - 年末助け合い運動への協力
 - JCニュース(いぶき)の発行



会員数 62名

- 当時の出来事
- 長浜市市制20周年
 - 長浜北小学校健康優良校日本一に選ばれる
 - キューバ危機

1963

第8代理事長
平山 恒夫
【生年月日】 S4.4.29
【入会日】 S31.7



- 役員名簿
- 副理事長 伊藤 仁一 中村 尚
 - 専務理事 藤田喜久男
 - 理事 錦織順一郎 北川 義朗 河瀬 純治
 - 宮川 正夫 金沢多一郎 藤居 昭
 - 中尾 禎夫 松尾 富文
 - 林 浩平
 - 監 事 岡野徳一郎 渡辺為三郎

褒章

MEMORYS

- 【事業内容】
- 5月 「文春文化講演会」
大江健三郎、立野信之、西川辰美各氏
 - 6月 市長・市議会議長と懇談会
 - 8月 県立老人ホーム慰問(大鏡寄贈)
 - 9月 恵まれない子ども達を名古屋見物招待
交通安全運動への協力
- 〈本年度の主な事業〉
- 虎姫分木へ大火事見舞
 - 北陸豪雪見舞
 - 沖縄送水寄付
 - 平和都市宣言5周年記念事業の協力
 - 京滋懇談会の開催
 - 視察旅行の実施
 - 趣味の会 開催
 - 年末助け合い運動への協力
 - 市内四中学対抗陸上競技大会新記録樹立者の表彰
 - JCニュース(いぶき)の発行
 - 記者団との懇談



会員数 69名

- 当時の出来事
- 木之本町古橋に県下初めての文化財収蔵庫ができる
 - ケネディー大統領暗殺
 - 名神高速道路開通

1964



第9代理事長
河瀬 純治
【生年月日】 S5.12.29
【入会日】 S32.8

役員名簿

●副理事長	金沢多一郎	錦織順一郎	
●専務理事	藤田喜久男		
●理事	中村 尚	小山 仁朗	沢田 貞三
	樋口元太郎	藤居 昭	富田 茂夫
	北川 義朗	宮川 正夫	石崎 章
	吉田 淳蔵	大谷 源治	岸本 雅巳
●監 事	樋口 松男	吉村 喜孝	

褒 章

MEMORYS

- 【事業内容】
- 2月 スキー教室
 - 3月 老人ホーム慰問
CD計画推進(オリエンテーション)
 - 4月 交通安全指導、街頭指導
大津、彦根、八日市、長浜
4JC合同例会開催
 - 5月 ソフトボール大会
 - 10月 オリンピック見学
 - 11月 オリンピック記念植樹(豊公園)
「滋賀県の現状と長浜地区開発の展望」の刊行
- 〈本年度の主な事業〉
- 新入会員との懇談会
 - 趣味の会 開催
 - 年末助け合い運動への協力
 - 新潟地震、山陰水害へ見舞い
 - 市内四中学対抗陸上競技大会新記録樹立者表彰
 - JCニュース(いびき)の発行



会員数 **76名**

当時の出来事

- 大津～長浜等の各港に公共港湾施設設置
- 東京オリンピック開催
- 東海道新幹線が開通

1965



第10代理事長
錦織 順一郎
【生年月日】 S5.8.31
【入会日】 S30.3

役員名簿

●副理事長	伊藤 仁一	成田 益規	岡野徳一郎
●専務理事	藤田喜久男		
●理事	長谷川成司	平山 恒夫	石崎 章
	小山 仁朗	国友 隆治	岸本 雅巳
	沢田 貞三	田中 信夫	高橋 政之
	富田 茂夫	吉田 淳蔵	上羽 文雄
	吉村 喜孝	河崎 稔	
●監 事	樋口 松男	夏川 米蔵	

褒 章

MEMORYS

- 【事業内容】
- 5月 創立 10 周年記念式典
長浜青年会議所「創立 10 周年記念式典」は好天に恵まれた5月8日内外有職者及び各地JCより総勢 600 余名の参加者を得て盛大のうちに挙行致しました。我々の先輩や仲間が永々として育ててきたJC精神とその存在を広く内外に知らしめる絶好に機会であり、その成功を期して我々はその準備にこしんできました。それは同時に、会員相互の修練、友情の場であり、地域社会に貢献しようとする青年経済人の雄々しい姿でありました。我々はその成功を喜び、かつ大いに誇りたいものであります。
 - 5月 第1回若い芽を育てる集い
「体操の実技指導と講演」遠藤幸雄氏
 - 6月 市美化運動(児童公園に植樹)
暮らしのアンケート調査集計小冊子刊行
 - 7月 カマラードバンク実施
- 〈本年度の主な事業〉
- 地域経済問題の研究
 - 趣味の会開催
 - エプロン会の開催
 - 年末助け合い運動への協力
 - 交通安全週間街頭指導
 - 中高生作文募集の実施
 - 市内四中学対抗陸上競技大会新記録樹立者表彰
 - JCニュース(いびき)の発行



会員数 **80名**

当時の出来事

- 長浜市民会館完成
- 湖北広域行政事務センター設立
- 朝永博士ノーベル物理学賞受賞

1966



第11代理事長
伊藤 仁一
【生年月日】 S6.7.24
【入会日】 S34.1

役員名簿

●副理事長	長谷川成司	金沢多一郎	吉村 喜孝
●専務理事	藤田喜久男		
●理事	平山 恒夫	岡野徳一郎	富田 茂夫
	河瀬 純治	森島 英祐	国友 隆治
	川崎 伊典	松尾 富文	笹原 司朗
	北川 義朗	中村 尚	高橋 政之
	日比喜三郎	成田 益規	上羽 文雄
	渡辺為三郎	西浜 勲	
●監 事	藤居 昭	夏川 米蔵	

褒 章

- 滋賀ブロック協議会「優秀JC賞」
- 近畿地区協議会「優秀JC賞」

MEMORYS

- 【事業内容】
- 3月 第2回若い芽を育てる集い「こころの山脈」映画鑑賞
 - 4月 第1回新入社員セミナー 講師 中村竹次郎氏
 - 6月 琵琶湖水政懇談会「日本運河について」
 - 8月 第3回若い芽を育てる集い
「根性を育てる」大松博文氏
8月9日大松博文氏を招いて講演会を開催し市内の高校生及び勤労青少年約 2,000 名に多大の感銘を与えた。
 - 9月 老人ホーム慰問、オルガンの寄贈
 - 10月 JCルーム設置
- 〈本年度の主な事業〉
- カマラードバンクの規定の作成、献血の実施
 - 広報紙「いびき」の発行
 - JCミーティングの開催
 - LTセミナーの開催
 - 新入社員セミナー並びに中堅管理職セミナー開催
 - 会員企業実態調査表の作成
 - 僻地児童の社会施設見学招待
 - 中高生作文募集の実施
 - 市内四中学対抗陸上競技大会新記録樹立者表彰
 - 日本横断運河についての座談会の開催



会員数 **76名**

当時の出来事

- JCルーム設置
- 湖北地方大雪に見舞われる
- 国会の「黒い霧」

1967



第12代理事長
長谷川 成司
【生年月日】 S2.6.26
【入会日】 S35.2

役員名簿

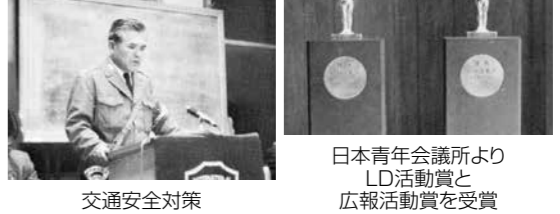
●副理事長	岡野徳一郎	国友 隆治	岸本 雅巳
●専務理事	藤田喜久男		
●理事	錦織順一郎	富田 茂夫	中村 尚
	河瀬 純治	川崎 伊典	川村 明
	平山 恒夫	栗田 隆	林 浩平
	西浜 勲	岩崎 八郎	森島 英祐
	藤井 良一		
●監 事	木村靖一良	樋口元太郎	

褒 章

- 滋賀ブロック協議会「優秀JC賞(LT)」
- 日本青年会議所「優秀LD、広報活動賞」

MEMORYS

- 【事業内容】
- 7月 「30年後の長浜地域のビジョン」発表
長浜市が市制 25 周年を迎えたのを契機に独自の立場に立ち長浜市ビジョン推進特別委員会を設置し 30 年後に地点を置いた長浜市の都市開発計画を立案して明るく住みよい豊かな都市づくりを目標として一般市民に関係団体・地域社会に対して、その概要を小冊子にまとめ発表した。
 - 8月 整肢園慰問、ソフトボール大会
 - 9月 「社会開発と基礎資料」刊行
新入社員セミナー 講師 金沢健一氏
 - 10月 市と警察に公開質問
- 〈本年度の主な事業〉
- 大垣 JC 対抗ボーリング大会の開催
 - カマラードバンクの献血の実施
 - 広報紙 JC ニュースの発行と市民配布
 - JC ミーティングの開催
 - 議事法の研究と実施
 - LD セミナーの開催
 - 中高生・一般作文募集の実施
 - 市内四中学対抗陸上競技大会新記録樹立者表彰
 - 経活レポートの作成
 - 新入社員セミナーの開催
 - 夏季会員セミナーの実施
 - 日本 JC 褒賞受賞記念植樹



会員数 **80名**

当時の出来事

- 長浜市市制25周年
- 小笠原諸島返還決まる
- 「核兵器を作らず、持たず、持たぬ」の非核三原則制定

64年のあゆみ

64年のあゆみ

1968



第13代理事長
岡野 徳一郎
【生年月日】 S5.9.2
【入会日】 S31.12

- 役員名簿
- 副理事長 国友 隆治 高橋 政之 西浜 勲
 - 専務理事 藤田喜久男
 - 理事 錦織順一郎 樋口元太郎 河瀬 純治
林 浩平 森野 義郎 吉田 淳蔵
吉田 宏 栗田 恒吉 森島 英祐
土田 惟之 石崎 章 川村 明
栗田 隆 笹原 司朗 川北 恭久
上羽 文雄 井上 勝行 伊藤 仁一
岩崎 八郎 奥村久呂志
 - 監 事 岸本 雅巳 成田 益規

褒 章

- 滋賀ブロック協議会「優秀委員会賞(社会開発)」

MEMORYS

- 【事業内容】
- 5月 「文春文化講演会」開催
水上勉氏、柴田錬三郎氏、丹羽文雄氏
OAAセミナー(野外活動)開催
 - 7月 新入社員セミナーの開催
 - 8月 中高生作文募集
中高生作文募集において、長浜JCより中学の部で最優秀賞を受けた市立東中学校3年月慈照君が見事、文部大臣賞に入賞し、10月29日文部省(東京)において表彰されました。

〈本年度の主な事業〉
「ビジョン推進特別委員会を設置、「考えよう明日のびわ湖を!」と題し、PR誌(市民配布ピラ4万部、専門誌1,000部)を発行配布し、各関係機関より多大の注目を受けた。」
役員セミナー、政治セミナー
議事法セミナー
OAA セミナー
びわ湖開発に対するアンケート配布集計
「びわ湖と湖北の開発」討論会の開催
カマラードバンクの献血の実施
全国交通安全運動への協力と街頭指導
大垣 JC 対抗ボート大会(交通安全チャリティ)開催
京滋奈ブロック野球大会のホスト
国際交流としてカネラ・デービスさんへ感謝状の贈呈
独国青少年歓迎会の開催
青少年補導委員の派遣協力
広報紙 JC ニュースの毎月発行と市民配布
連合自治会正副会長との懇談会
郷土祭り(曳山祭り)に対するアンケート集計及び座談会開催
LD アンケートの実施及び集計報告
MD 版の作成と発行
新入社員セミナーの開催
税務署長、課長との懇談会



会員数 **77名**
 当時の出来事
 ●湖北広域衛生組合の湖北衛生ゴミ処理施設、長浜市で起工式
 ●小堀遠州公碑除幕
 ●三億円事件

1969



第14代理事長
国友 隆治
【生年月日】 S5.5.20
【入会日】 S38.6

- 役員名簿
- 副理事長 西浜 勲 吉村 喜孝 栗田 隆
 - 専務理事 藤田喜久男
 - 理事 川崎 伊典 高橋 政之 栗田 恒吉
平山 恒夫 笹原 司朗 鳥居 治夫
辻村 克 川村 明 清水 宏
吉田 淳蔵 清水 兵衛 土田 惟之
伊藤 忠男 川北 恭久 富田 茂夫
細江 代三 藤井 良一 森 建司
伊藤 仁一
 - 監 事 樋口 松男 夏川 米蔵

褒 章

- 日本青年会議所「指導力開発努力賞」

MEMORYS

- 【事業内容】
- 3月 第4回若い芽を育てる集い
「現代の青年の悩みを君たちと共に語ろう」
講師 京都大学名誉教授 貝塚茂樹氏
京都大学助教授 高坂正堯氏
奈良薬師寺管長 高田好胤氏
 - 6月 第1回経済懇談会
 - 10月 第1回市民討論会 「日本の安全と防衛」
 - 11月 第5回若い芽を育てる集い「村山実選手を囲んで」

〈本年度の主な事業〉
「中高生作文募集において長浜JCより高校の部、最優秀賞を受けた県立長浜農業高校3年草野福茂君が見事日本放送協会賞に入選された」
議事法セミナー
交通安全セミナー
コンピューター研究会の開催
日本の安全と防衛に関するアンケート集計及び発表
経営者セミナー
LD・マニュアルの発行
カマラードバンクの実施
地域開発研究シンポジウムの開催
中部圏シンポジウムのホスト、懇親会の主管
優良運転者及び管理者の表彰
交通安全街頭指導の実施
整肢園慰問
広報紙JCニュースの毎月発行と市民配布
新聞記者懇談会及び記者会見
歴代理事長懇談会
経済懇談会レポート作成
「明日の日本を考えよう」市民アンケートの実施と集計発表



会員数 **84名**
 当時の出来事
 ●鷺ヶ岳トンネル貫通
 ●人類初の月面着陸
 ●日本のGNPが西側諸国で第2位に

1970



第15代理事長
西浜 勲
【生年月日】 S10.12.11
【入会日】 S39.6

- 役員名簿
- 副理事長 高橋 政之 笹原 司朗 森島 英祐
 - 専務理事 藤田喜久男
 - 理事 成田 益規 伊藤 仁一 錦織順一郎
林 平 岡野徳一郎 河瀬 純治
辻村 克 長谷 幸治 石崎 章
森 建司 日比喜三郎 下村 寛治
岩崎 八郎 恩田勇一郎 細江 代三
渡邊 富良 川合 四郎 栗田 隆
 - 監 事 藤井 良一 吉村 喜孝

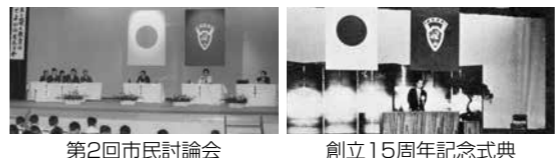
褒 章

- 滋賀ブロック協議会「優秀JC賞」
- 近畿地区協議会「優秀JC賞」
- 日本青年会議所「経済開発推進最優秀賞」

MEMORYS

- 【事業内容】
- 5月 「創立 15 周年記念式典」
長浜青年会議所が創立以来お世話になった関係各位約 100 名をお招きし長浜商工会議所に於いて創立 15 周年記念式典を厳粛のうちに開催した。
 - 5月 記念講演 「1970年代の経営展望と今後の企業のあり方」
田辺経営、取締役社長田辺昇一氏による記念講演を開催、約 1,000 名の聴衆を得て工業の部、商業の部のセミナー等数多くの記念行事を実施した。
 - 9月 13日 第2回市民討論会「教育はこれで良いのだろうか」
長浜市民会館に於いて衆議院議員の藤波孝生氏(自民党教育部長)参議院議員の上田哲氏(社会党全国区議員)政治評論家の藤原弘達氏(前明治大学教授)をお招きし約 1,000 名の市民の聴衆を得て教育問題について、第2回市民討論会が開催された。

企業紹介誌発行
湖北地域 2,000 余社の事業所からセレクトした 300 余社の企業紹介誌 1,500 部を発刊し、雇用促進に役立為、全国商工会議所、職業安定所に配布された。
〈本年度の主な事業〉
議事法セミナー コンピューター研究セミナー
コンピューター同好会発足 LIA シンポジウム
勤労青少年との対話 OAA の研究
暴力追放バレードへの参加 政治問題アンケートの考察
日本の平和の探究 時事問題・政治機構・世論の研究
カマラードバンクの実施
国際理解の為の文通、万博への協力と英会話の研修
広報紙 JC ニュースの毎月発行と市民配布
JC 活動の PR (報道関係及び諸官庁関係との懇談)
広報誌と市民意識シンポジウムの開催
会員対象・役員対象シンポジウム
JC マニュアルの作成 経営者セミナー
税務懇談会の開催 整肢園へ中古車寄贈
交通安全都市実現の為の運動の展開



会員数 **85名**
 当時の出来事
 ●小樽敦賀・長浜3市物産展開催
 ●日航「よど号」事件
 ●日本万国博覧会大阪で開催

1971



第16代理事長
高橋 政之
【生年月日】 S13.5.7
【入会日】 S36.1

- 役員名簿
- 副理事長 森島 英祐 森 建司 辻村 克
 - 専務理事 藤田喜久男
 - 理事 伊藤 仁一 成田 益規 栗田 隆
笹原 司朗 清水 宏 竹中 庄蔵
川北 恭久 渡邊 富良 石崎 章
行徳 憲三 下村 七郎 川村 明
吉田 透 恩田勇一郎 洪谷 治己
長谷 幸治 藤井 一洋 岩崎 八郎
福永 勝彦
 - 監 事 上羽 文雄 林 浩平

褒 章

- 近畿地区協議会「最優秀JC賞」
- 滋賀ブロック協議会「特別表彰」

MEMORYS

- 【事業内容】
- 2月 第5回CDシンポジウム開催
 - 3月 「OAA研修と実践」講演会
 - 3月24日 第6回若い芽を育てる集い「釜本選手とサッカーをしよう」
強く、雄々しく伸びゆく青少年の諸君にサッカーを通じてスポーツの大なる意義を肌と肌語り合えよという趣旨のもと長浜小学校体育館に於いて、第6回若い芽を育てる集いとしてサッカーのヤンマーチームを招聘し、小中学生を主体に高校生、一般人を含めて 1,200 余名を集めて、質疑応答の後グラウンドに於いて公開練習を行い観衆は魅了されて青少年健全育成に誠に意義があった。
 - 4月 「新市議会議員を迎えて」討論会開催
 - 4月 春の交通安全市民運動街頭指導
 - 5月 16日 第1回経済講演会
「経済成長から福祉へ」講師 評論家 土屋清氏
「再び女らしさ、男らしさ」 評論家 十返千鶴子氏
「70年代の国際情勢と日本外交」 読売新聞社論説委員長 関原利夫氏
読売新聞社、日本文化フォーラム社、長浜青年会議所の共催のより、長浜商工会議所大ホールに於いて第1回経済講演会を開催し、一般市民約 300 名を集め、盛会に行われた。
 - 6月 「勝負の世界と半生」講師 将棋八段 大野源一氏
 - 8月 自衛隊 1日入隊
 - 9月 秋の交通安全市民運動街頭指導
 - 10月 6日 第1回湖北地域開発懇談会
テーマ 市街地地域と調整区域・環境保全と公害
青少年対策と公共施設の充実・北廻り新幹線、北陸縦幹高速道路、ターミナルポイント・びわ湖総合開発と湖北地域の問題点
社会開発の一環として今後の湖北地域開発の構想について討議するため行政担当者として県知事、県企画部長、県会議員、長浜市長等を迎えて滋賀銀行長浜支店大会議室に於いて開催された。

〈本年度の主な事業〉
会員セミナー
市長と語ろう長浜 JC



会員数 **87名**
 当時の出来事
 ●長浜駅前拡張整備完成
 ●奥ひわ湖パークウェイ完成
 ●成田新空港反対闘争



1972



第17代理事長
森島 英祐

【生年月日】S10.9.14
【入会日】S38.6

役員名簿

- 副理事長 栗田 隆 林 浩平 石崎 章
●専務理事 藤田喜久男
●理事 成田 益規 笹原 司朗 辻村 克
西浜 勲 押谷 仁一 藤井 一洋
上羽 文雄 川村 明 平山 弘和
鳥居 治夫 竹中 庄蔵 林 平
渋谷 治己 川合 四郎 中瀬 輝雄
清水 宏 浅山 芳久 森 建司
土田 宣孝 寺倉 忠司
●監 事 川北 恭久 藤井 良一

褒章

- 滋賀ブロック協議会「優秀委員会賞(会員開発)」

MEMORYS

【事業内容】

3月 「市民意識調査」の実態と集計配布
社会開発計画の一環として今後の国、県、市の開発計画に反映させる為、市民が郷土について何を望んでいるかを調べることを目的として、市民意識調査を実施した。
4月 「OAA研修と実践」講演会
6月12日 第4回文化講演会開催
講師 作家 三好徹氏 「事実と真実」作家 平岩弓枝氏 「新平家のこと」写真家 秋山庄太郎 「写真四方山話」文芸春秋社共催により長浜市民会館に於いて第4回文化講演会を開催し一般市民約800人を集め盛況に行われた。
7月 中部圏シンポジウム「びわ湖総合開発特別措置法とその周辺」県企画部開発局びわ湖課長 岸 謙一氏
7月 CDシンポジウム開催
講師 長浜市議会 田中議長
9月 自動車相談室の開催
9月 LIAオリエンテーション及びセミナーの定期開催
10月 国会議員との懇談会及び国会見学
元法務大臣 前尾茂三郎氏
11月 税務懇談会開催
10月21日 第7回若い芽の集い「青春講座」市民会館を会場として、講師に医師評論家ドクトル・チエコ女史より「美わしき青春と性」、甲南女子大学学長藤坂二夫氏より「我が心のふれあい」について講演があり、地域青少年約900名の参加を得ることが出来盛況であった。
11月 KJ法アンケートの実施と集計結果報告
<本年度の主な事業>
広報紙 JC ニュースの毎月発行と市民版配布
JC アジア青年の船体験報告
カマラードバンクの実施
ロータリークラブとの親睦マージャン大会
会員セミナー
LIA オリエンテーション、セミナーの開催
役員、新役員セミナー
税務懇談会
中部圏シンポジウムのホスト
交通安全街頭補導の実施
県青連統一事業の日の積極的参加



第4回文藝春秋文化講演会 中部圏シンポジウム

会員数 86名

- 第1回長浜市市民総合体育大会開催
●沖縄返還
●札幌冬季オリンピック

1973



第18代理事長
栗田 隆

【生年月日】S12.12.4
【入会日】S40.4

役員名簿

- 副理事長 森 建司 石崎 章 岩崎 八郎
●専務理事 藤田喜久男
●理事 西浜 勲 笹原 司朗 渋谷 治己
恩田勇一郎 高橋 政之 辻村 克
清水 宏 浅山 芳久 吉田 宏
平山 弘和 林 平 上羽 文雄
田中 正勝 高木 収 鳥居 治夫
馬場 吉彦 渡邊 富良 佐藤 忠
奥村久呂志 下村 寛治 寺倉 忠司
笹原 俊昭 土田 宣孝 西田 中
●監 事 林 平 川合 四郎

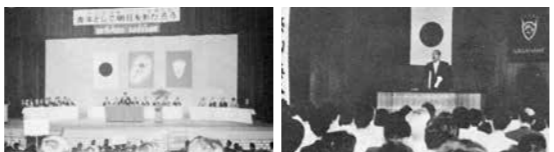
褒章

- 滋賀ブロック協議会「特別賞」

MEMORYS

【事業内容】

3月25日 第3回滋賀ブロック会員大会主催
「青年として明日を語ろう」をスローガンのもと第3回滋賀ブロック会員大会が滋賀ブロック協議会主催、長浜青年会議所主催で開催された。本年度は滋賀ブロック協議会会長に西浜勲君が就任され、笹原事務総長他多数の役員を送り出して、滋賀ブロック協議会の推進母体として各種ブロック事業の計画が年頭初より立案され、なかでも滋賀ブロック会員大会の主管が本年度の前期事業の中心となった。
6月23日 第1回家庭教育講座
長浜青年会議所にとっては初めての市民団体との協力の結果実現した「第1回家庭教育講座」は長浜市教育委員会との共催によって、講師に阿部進氏をお招きし、長浜市民会館において「第8回若い芽を育てる集い」として開催された。
7月8日 CRA シンポジウム
滋賀ブロック協議会、長浜青年会議所主催の CRA シンポジウムが300有余の聴衆を集めて開催された。「未来に指向する創造的企業戦略」をテーマとして糸山英太郎氏、「高福祉社会における企業のあり方」をテーマとして元環境庁長官大石武一氏を招き講演を行なった。メインテーマに「開発と保存の接点を求めて」を取り上げ、2つの相対立するテーマからこれからの企業のあり方、社会的責任の持ち方を考察する興味深い講演であった。
10月28日 JCデー統一行事
本年度のJCデー統一行事の一環として、「第9回若い目を育てる集い」、「第2回家庭教育講座」が多数の参加者のもと開催された。6月23日に続く内容となり、講師にはおなじみとなった阿部進氏を再度お招きし、こどもに対する大人の行動とは何か、といった内容で地域の主たる行事として大きな成果をあげた。
<本年度の主な事業>
経営セミナー税務懇談会の実施
韓国経済視察
JCアジア青年の船団員派遣



第3回滋賀ブロック会員大会 CRAシンポジウム

会員数 94名

- 長浜開町400年祭開催
●新民謡「長浜おどり」完成
●滋賀銀行女子行員9億円詐欺事件

1974



第19代理事長
笹原 司朗

【生年月日】S16.2.3
【入会日】S38.6

役員名簿

- 副理事長 上羽 文雄 鳥居 治夫 林 琳蔵
土田 宣孝
●専務理事 西川 宏臣
●理事 林 浩平 清水 宏 西浜 勲
森 建司 辻村 克 岩崎 八郎
中尾 恭三 今井 克彦 中居純一郎
清水 兵衛 松井 泰夫 馬場 吉彦
三好 俊朗 高橋 政之 福永 勝彦
松村 正義 西川 英敏 恩田勇一郎
田中 正勝 近藤 慈澄 森島 英祐
渡邊 富良 西田 中
●監 事 奥村久呂志 吉田 宏

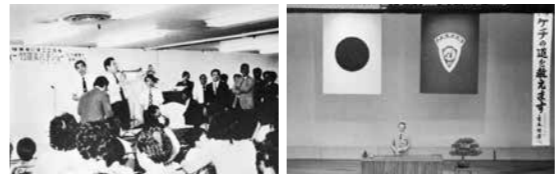
褒章

- 滋賀ブロック協議会「特別賞」

MEMORYS

【事業内容】

7月12日 第1回JCスクール
市内より53名の中堅幹部の方々の参加を得て、会員39名もあわせて受講し、総数92名の参加を得て、商工会議所大ホールにおいて、石居長浜商工会議所会頭、北川イーグルクラブ長浜支部長の来賓をお迎えし盛大な開講式が挙行された。これは地域から高く評価され、9月14日の修了式迄8回、9日間に講師を迎えて開催された。
5月26日・6月23日・9月1日
「若者の広場」第10回若い芽を育てる集い
青少年開発委員会の担当により、勤労青少年を集めてのソフトボール大会が行なわれ、その集大成として「若者の広場」第10回若い芽を育てる集いが9月1日に開催された。第1部、吉本晴彦氏の講演「ケチの道教えます」、第2部、山口進氏(KBS DJ)の司会により歌手 恵美出演の音楽会：サウンドフェスティバルが多数の勤労青少年を迎えて開催された。また、今後勤労青少年が自主的に若者の集いを企画運営するため拠出金100,000円が青少年育成資金が積み立てられた。
6月8日 第1回JCチャリティ
6月2日、市内の身心障害者の施設をトラックに乗り廃品回収を行ったのち6月8日パワース5階催事場に於いて竹腰美代子さんを講師に迎えてのチャリティショーが開催された。当日は会員が持ち寄った品物によるセリ市、商店協力によるバザーなど多数の市民の参加があり大成功であった。
9月3日 第1回地域開発懇談会
商店街の再開発の問題、上下水道の問題等について婦人団体、自治会、商店街、商工業代表、JCのOB等約60名の参加を得て熱心に懇談会が開催された。この事業は経営開発、社会開発委員会合同により市当局と再三にわたる討論会の集大成として開催されたものである。
<本年度の主な事業>
青少年リーダー懇談会の開催
地方自治法研究会の開催
社会開発研究会の開催



第1回JCチャリティ 第10回若い芽を育てる集い

会員数 120名

- 県立奥びわスポーツの森完成
●田中首相退陣、三木内閣誕生
●フォード米大統領訪日

1975



第20代理事長
鳥居 治夫

【生年月日】S14.6.7
【入会日】S39.6

役員名簿

- 副理事長 辻村 克 清水 宏 恩田勇一郎
土田 宣孝
●専務理事 西川 宏臣
●理事 森島 英祐 清水 兵衛 高木 収
西浜 勲 白倉 正敏 下村 寛治
高森 嘉郎 寺倉 忠司 秋山 勲
林 平 松井 泰夫 高山 伸晴
西川 英敏 津 正行 福永 勝彦
中川豊太良 松村 正義 万木 豊
中居純一郎 大塚 勝 栗田 隆
高橋 政之 上羽 文雄 林 琳蔵
岩崎 八郎
●監 事 石崎 章 藤井 一洋

褒章

- 滋賀ブロック協議会「特別賞」
●近畿地区協議会「特別賞」

MEMORYS

【事業内容】

6月1日 第23回近畿地区会員大会の主旨
「水と緑と太陽と」-この偉大なる自然そして豊かな人間性との共存の大会テーマのもと、第23回近畿地区会員大会が2,200余名の参加を得て開催された。
10月5日 創立20周年記念式典並びに祝賀会
創立20周年記念式典並びに祝賀会が長浜商工会議所、浜ちりめん会館を会場に約300名の来賓、地区内青年会議所の出席を得て盛況に開催された。式典の中で、片山市長他4名に感謝状、社団法人長浜青年会議所第15代から19代理事長に感謝状が贈呈された。又、地区大会第5分科会におけるチャリティーに提出された基金から、救急患者の人工呼吸用酸素補充加湿装置付レスピレーターが長浜市民病院に寄贈された。
<創立20周年事業>
7月21・23・25日 第1回市民大学講座
3日間に亘り6名の諸先生を講師に迎え、約300名の聴講生を対象に開催された。
9月13日 第11回若い芽のつどい
勤労青少年に健全な暇を、異性、恋愛問題を語り合おうを目的に、笑福亭仁鶴氏を招聘して約200名の勤労青少年を対象に開催された。併せてMFC(勤労青少年団体)の発足が当日なされた。
10月2・3日 第2回JCスクール
「よりよい人間関係を築くために豊かな話し方を」の目的で日本話し方コンサルタント神保康雄氏、吉見義衛氏を招聘して約380社の企業紹介誌掲載事業所従業員を対象に開催された。
第1回朝の市民広場
参加35業種による朝市を中心として地域の住民との対話と、JCチャリティーによる福祉活動の目的により、中田カフスポタンをゲストに迎えサンロード大手を約1万余名の市民を動員して開催された。
<本年度の主な事業>
LD道場の開催
子供魚取り大会



第23回近畿地区会員大会 子供魚取り大会

会員数 118名

- 県立長浜文化芸術会館開館
●日本赤軍が大使館占拠で「超法規的措置」
●日本女性エレベーター初登場



64年のあゆみ

64年のあゆみ

1976

第21代理事長
辻村 克
【生年月日】 S15.6.25
【入会日】 S42.1



役員名簿

●副理事長	清水 兵衛	上羽 文雄	馬場 吉彦
●専務理事	田中 正勝		
●理事	西川 宏臣		
	栗田 隆	中村 清明	本城 善男
	中居純一郎	石田 宏	中川豊太良
	北川 貞治	高森 嘉郎	中尾 恭三
	笹原 司朗	土田 惟之	西田 中
	北川 忠昭	白髭 正敏	児玉 悦雄
	平山 弘和	三好 俊朗	万木 豊
	下村 定	大塚 勝	清水 宏
	恩田勇一郎	成田 益規	笹原 司朗
●監事	奥村久呂志	下村 寛治	

- 褒章
- 日本青年会議所「企業の社会的役割と実践の推進賞」

MEMORYS

【事業内容】
5月26日 第12回若い芽の集い
長浜東ロータリーとの共催により長浜市民会館大ホールに600余名の観客を集め、佐渡の国鬼太鼓座の映画と講演が実施された。走る体力づくりと、とことん鍛えぬく厳しい練習の中から、日本の伝統を学び、そしてそれを継承するという彼らの気構えが、鬼太鼓座の活動を支えている。それは我々青年として大いに考えさせられるものがあった。
7月11日 第3回魚取り大会
八幡宮の境内で1,200名の参加者を集めて行われた。早朝より近隣の皆さんとメンバーの奉仕による川掃除も行われ、自然の環境を取り戻すキャンペーンパネルが参加者に訴える中スタートした。約5,000匹の鯉やウグイといった大型魚が子供達には珍しく、大人達には魚の住める汚染されていない川が必要だと訴え、自然環境の大切さを認識する1つの機会を作ることが出来た。
7月21・22・23日 第2回市民大学講座
長浜市教育委員会との共催で、会場も文化芸術会館に移して開催された。1市3郡より約400名の受講があり、昨年から引き続きの参加者も多く、3日間を通して受講生の数に大差が無く、熱心に耳を傾けメモを取るなど講座に対する意気込みが感じられた。
10月3日 第13回若い芽の集い
「見直そう郷土の文化、湖北の歴史」のテーマのもと、一般、中学生、高校生、メンバーと200余名の参加者を得て開催された。中村林一講師より湖北の歴史や文化についての説明が行われた。その後大型バス4台に分乗して、湖北各地を巡り、車中や現地にて各講師よりそれらにまつわる文化や歴史、逸話等の説明を受け、日常気付かない先人の貴重な文化遺産に十分触れる事が出来た。
〈本年度の主な事業〉
第2回朝の市民広場
LD道場「KJ法、議事法の実践推進」



会員数 124名

- 当時の出来事
- びわ湖祭り復活
 - 県立長浜高等学校開校
 - ロッキード事件

1977

第22代理事長
上羽 文雄
【生年月日】 S14.10.17
【入会日】 S37.5



役員名簿

●副理事長	岩崎 八郎	渡邊 富良	福永 勝彦
●専務理事	下村 寛治		
●理事	西川 宏臣		
	恩田勇一郎	野坂 武弘	本城 善男
	小川 彰三	鳥居 治夫	中瀬 輝雄
	土田 惟之	高橋 政之	兵衛 貞治
	石崎 章	大沢 勉	北川 貞治
	中尾 恭三	北川 忠昭	家森 義雄
	澁 正行	今岡 昭雄	清水 宏
	松波 征文	西川 英敏	関谷 松男
	下村 定	石田 宏	高木 収
●監事	伊藤 光男	田中 正勝	
	笹原 俊明		

- 褒章
- 近畿地区協議会「最優秀事業推進賞」
 - 滋賀ブロック協議会「特別賞」

MEMORYS

【事業内容】
第3回朝の市民広場、第5回JCチャリティ
6月18日 市内パレード 6月19日 第3回朝の市民広場
サンロード大手、御堂筋通りにローズタウン浜京極、祝町通りが新たに加わり、ゆったりとした市民広場が生まれました。過去最高の人手となりあらゆる面で最大の市民広場となった。JCコーナーは人気の中心となり、ちびっ子広場では魚つかみに夢中の子供達の整理にメンバーが声を枯らし3時間にわたる朝の市民広場は無事終了した。
7月11・18・25・8月1日 第3回市民大学講座
東京大学教授の西義之先生・滋賀医科大学長の脇坂行一先生・流通経済大学教授の辻井敏雄先生・京都大学講師の熊倉功夫先生・京都女子大教授の藤田義典先生・都府立大学部長の吉野正治先生・龍源寺住職の松原泰道老師による講演を行った。松原泰道老師においては「自分の顔を創る」と題した一人しかいない自分、一生を本当に活かし素晴らしい人生を送るための心の持ち方、心の在り方を一人一人諭す様に説かれ参加者一同心から深い感銘を受けた。
8月11日 第14回若い芽の集い「琵琶湖を見直そう」
JCデー統一事業としてメンバーと小中学生・一般市民約450名が参加して開催された。長浜港を出航したみどり丸にて「琵琶湖の歴史と理科について」の講演と「水質透明度の比較調査」を行なった。又塩津沖にて漁法実演、葛籠尾崎沖でアクアラングによる湖底遺跡の採取見学を行った。竹生島の神社見学、稚魚の放流と「琵琶湖を見直そう」をテーマに、各々の人が思い思いの言葉を書いた紙を風船につけて飛ばし、琵琶湖について改めて考え、気づきを得る事が出来た。
〈本年度の主な事業〉
第1回LD道場「KJ法を学ぶ」
第2回LD道場「話し方インストラクター養成講座」
第3回LD道場「座禅」
第4回LD道場「フィールドアスレチック」



会員数 122名

- 当時の出来事
- 長浜市が優良自治体として自治大臣表彰を受ける
 - 湖北地方豪雪に見舞われる
 - 日航機ハイジャック事件

1978

第23代理事長
岩崎 八郎
【生年月日】 S17.2.1
【入会日】 S39.12



役員名簿

●副理事長	恩田勇一郎	土田 惟之	西川 英敏
●専務理事	大塚 勝		
●理事	西川 宏臣		
	清水 宏	秋山 勲	家森 義雄
	吉田 豊	白髭 正敏	大倉 信夫
	中瀬 輝雄	山口 龍男	中居純一郎
	柴田 政美	伊藤 光男	橋本 圭祐
	三好 俊朗	清水 徹	渡邊 富良
	福永 勝彦	田中 正勝	北川 貞治
	石道 寧雄	松波 征文	西田 中
	関谷 松男	渡辺 誠行	笹原 俊昭
	野坂 武弘	林 浩平	
●監事	土田 宣孝	中川豊太良	

- 褒章
- 近畿地区協議会「最優秀事業推進賞」

MEMORYS

【事業内容】
7月11・12・13日 第4回市民大学講座
京都大学名誉教授の宮本正太郎先生・天竜寺禅僧のヘンリー・ミトワ氏・滋賀大学経済学部教授の小倉栄一郎先生・京都大学教育学部教授の河合隼雄先生・京都女子大学文学部教授の藤田義典先生による講演を行なった。特筆すべきは、この事業がJCの手を離れ、長浜市教育委員会へ移行される事になった事であり青年会議所運動の成果が現れたと言える。
10月8日 第15回若い芽の集い「第1回ファミリーマラソン大会」
54年高校総体と56年びわ湖国体を目前に控え青少年の健全な精神に健全な肉体を育てる意味合いにおいて企画、長浜市陸上競技連盟の競技主管のもと長浜市教育委員会、長浜市体育協会、長浜商工会議所、地元新聞社4社の後援により約400名の小中高生と一般市民が参加し豊公園を会場に競技が繰り広げられ大変有意義な事業となった。
10月8日 JCデー統一事業 びわ湖とわたしたちのまち長浜 作文募集
「JCデー統一事業」-「ほこりある町づくり創造と発見へ」に基づき、「我々の町とびわ湖」を見直し、特に近年全国的に繰り広げられている「琵琶湖を美しくする運動」を県からの援助の期と捉え、住みやすい町の認識を広める広報紙を出し、子供たちに「びわ湖と私達の街」をテーマに作文を募集し湖北農業会館に於いて弁論形式による作文発表会を開催した。
10月19日 第5回文芸春秋講演会
長浜市民会館に於いて長浜市民会館文化振興事業団との共催、長浜市、長浜市教育委員会、長浜商工会議所の後援を得て998名の参加者が集い開催された。講師として、杉本苑子氏、井上ひさし氏、大江健三郎氏をお招きした。
〈本年度の主な事業〉
第4回朝の市民広場
第1回LD道場「KJ法によるリーダーシップトレーニング」
第2回LD道場「大峰山行者参り」



会員数 122名

- 当時の出来事
- 滋賀県長浜総合庁舎起工式
 - 高月町町民体育館完成
 - 日中平和友好条約調印

1979

第24代理事長
恩田 勇一郎
【生年月日】 S18.4.3
【入会日】 S43.1



役員名簿

●副理事長	清水 宏	中瀬 輝雄	白髭 正敏
●専務理事	伊藤 光男		
●理事	西川 宏臣		
	福永 勝彦	藤井 洸	石道 寧雄
	栗原 通明	渡邊 富良	西橋 良礼
	石田 宏	本城 善男	上羽 文雄
	下村 寛治	西川 英敏	大塚 勝
	石崎 章	中居純一郎	吉田 豊
	山口 龍男	清水 純夫	三好 俊朗
	上田 勇治	中尾 恭三	宮本 文禎
	橋本 圭祐	高山 昇栄	大倉 信夫
	加藤 辰男	渡辺 誠行	笹原 俊昭
	北川 忠昭	青山 洋一	
●監事	辻村 克	鳥居 治夫	

- 褒章
- 近畿地区協議会「最優秀社会開発推進賞」
 - 滋賀ブロック協議会「最優秀JC賞」

MEMORYS

【事業内容】
5月20日 第5回朝の市民広場
第5回朝の市民広場は銀座商店街とさかえ会商店街を会場に開催された。大通寺前の三ノ牧場にて新鮮な牛乳の販売、ロバの馬車、ヒヨコの販売、パネル画との撮影会、御堂筋通りの米川橋上にてモチつきの実演販売、さらに駅弁、地酒、植木の販売や銀座商店街青年部にてカラクタ市が開催され、ほとんど売りつくし大盛況であった。
8月5日 第6回朝の市民広場
駅前通り、サンロード大手、ローズタウン浜京極を会場に行われた。JC統一デー事業として「70年代を振り返り、80年代を模索しよう」のテーマのもとオモチャリテイ、母子の手作り教室、交通安全パレードと3つの事業が開催された。チャリティーの収益金により長浜市に車イス4台を寄贈しました。又交通安全パレードは長浜市役所前を出発、各種団体、多数の市民1,500名以上の参加を得て行われ交通安全の意識啓発となった。
10月28日 第16回若い芽の集い
「第2回ファミリーマラソン大会」第1回目を上回る約568名の参加者を得て秋晴れの下、豊公園自由広場において開催された。
11月8日～19日 アウグスブルグ市訪問市民使節団参加
長浜市主管にて募集された西独の姉妹都市アウグスブルグへの市民使節団として、恩田理事長を団長、伊藤副理事長を副団長として一般17名を加えた総勢28名がヨーロッパ各地を巡り、商業、工業、教育関係やびわ湖汚染問題に対処してスイスのボーデン湖視察を行い、今後のJC運動、豊かなまちづくりのための研鑽を行った。
〈本年度の主な事業〉
第1回LD道場「茶道教室」
第2回LD道場「座禅教室」



会員数 129名

- 当時の出来事
- 奥山まつり、国の重要無形民俗文化財に指定
 - 県総合庁舎完成
 - 東京サミット開催

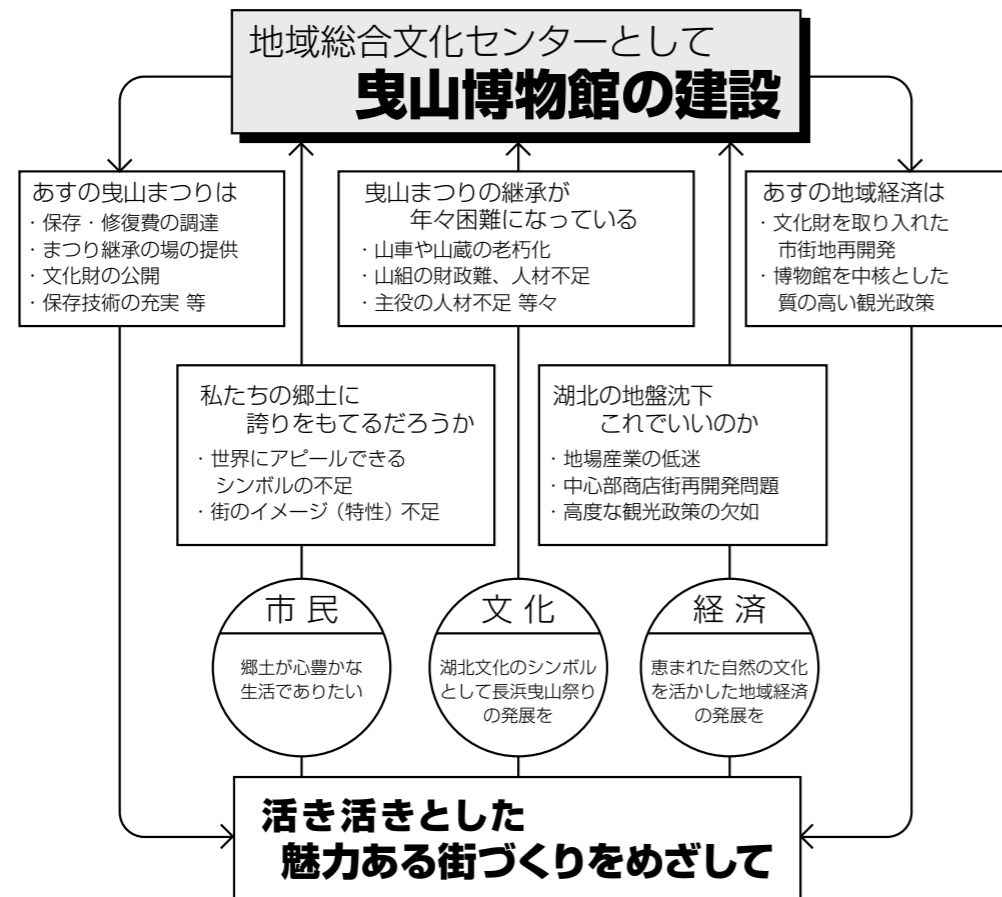
1980

曳山博物館構想

古来より栄え、さまざまな文化を育んできた湖北地方、その中でも湖国三大山車祭りの一つに数えられ、国の重要無形民俗文化財にも指定されている「長浜曳山祭り」は、この地の文化の代表的なものであり、繊維産業の隆盛に支えられ、400年の歴史と伝統を誇っている。しかしながら、近年「南高北低」といわれるような湖北地方の沈滞は、同時に山組の基盤である商店街の地盤沈下となって表れている。この偉大な文化資産をもう一度見直し、

もっと文化的な視点に立脚した再開発の手法を求め、曳山博物館を核とする社会開発を推進することによりこの伝統ある祭りを保存し、同時に長浜ひいては湖北の活性化を引き起こそうというのが曳山博物館構想である。従って、この曳山博物館は単に曳山の収納、展示にとどまるのではなく、湖北における伝統芸能をはじめとする有形無形の文化財の保護・継承・研究、さらに広く全国の祭りを紹介し、歌舞伎の調査研究機関をも兼ねた、総合文化センターを目指すものである。

曳山博物館構想イメージチャート



1980



第25代理事長
清水 宏

【生年月日】S18.7.29
【入会日】S42.7

役員名簿

- 副理事長 渡邊 富良 三好 俊朗 橋本 圭祐
- 専務理事 本城 善男 西川 宏臣
- 理事 福永 勝彦 北川 忠昭 笹原 司朗 大塚 勝 山田 峰夫 中川豊太良 加藤 辰男 高山 昇栄 杉田 俊之 児玉 悦雄 高木 収
- 伊藤 光男 中村記代晃 西川 英敏 石田 宏 上田 勇治 富田 一男 野坂 武弘 近藤 卓 西橋 良礼 種田 清 辻村 克
- 廣瀬 真啓 家森 義雄 中瀬 輝雄 関谷 松男 佐藤啓太郎 清水 純夫 広部 恵子 世原 俊昭 門根 秀造

褒章

- 滋賀ブロック協議会褒賞

MEMORYS

【事業内容】

4月9～15日 曳山祭り調査研究
裸参りへの参加は曳山祭りを肌で知るために4日間の裸参りの内2日間に参加をした。「曳山祭り」アンケートを実施し、観光客を対象に今後の曳山祭り、また曳山のあり方についてアンケート調査を行った。長浜八幡宮及びお旅所で売店を設置し、祭りに関連した商品を販売し観光客に対して観光案内を行なった。5月25日 第7回朝の市民広場
第7回を迎えた朝の市民広場は昨年の2回の朝の市民広場で明確に打ち出された方向性の延長線上に立ち、さらに継承発展させる事を基本方針に行われた。約3万5千人の人手で賑わい成功裡に終えた。9月28日 創立25周年記念式典並びに祝賀会
長浜商工会議所、湖北労働会館向浜荘を会場に、一般来賓56名、JC来賓63名、OB37名、メンバー夫人36名の出席を得て盛大に開催された。長浜曳山まつり保存会へ曳山博物館建設基金200万円を贈呈、式典終了後は続いて向浜荘において記念祝賀会が盛大に開催された。《創立25周年事業》3月9日 湖北ファミリースポーツ大会
悪天候により止む無くマラソン、サイクリングが中止となった。しかし、長浜北高校の体育館にて開会式を行い大阪市立大学社会学部助教授の藤本浩之氏の「鍛えよう身体、育てよう自立心」のテーマにより子供たちの体力低下の原因と主なその対策についてお話し、メンバーとしても自分の子供の教育に対して考えさせられるものがあり、楽しい有意義な事業となった。

〈本年度の主な事業〉

- 「曳山博物館」建設の提唱と曳山文化のPR事業
- 社団法人化の研究、「昇華」の発行、LD道場の開催
- MG(マネジメントゲーム)の開催
- 交通遺児を励ます会の開催、税務懇談会の開催
- 琵琶湖問題「水」についての作文募集」の実施



第7回朝の市民広場



OB懇談会(長浜JC25年を振り返る)

会員数 130名

- 北陸自動車道、米原-敦賀間開通
- 長浜百年史発刊
- 1億円拾得事件

1981



第26代理事長
渡邊 富良

【生年月日】S20.5.30
【入会日】S43.1

役員名簿

- 副理事長 福永 勝彦 高木 収 中居純一郎
- 専務理事 家森 義雄 西川 宏臣
- 理事 野坂 喜雄 関谷 卓 吉田 豊 山口 龍男 松本 繁 大塚 道男 清水 純夫 北川 忠昭 上田 勇治 恩田勇一郎 伊藤 光男 東本 泰寿 山本 繁 白髭 正敏 大橋紳一郎 西川 英敏 門根 秀造 山田 峰夫 川瀬 九平 佐藤啓太郎 種田 清 清 昌之 浅見 明男 種田 俊昭 石道 寧雄 森内 茂樹 岩崎 八郎 堀部 駒夫 世原 俊昭 松波 征文

褒章

- 近畿地区協議会「優秀社会開発推進賞」

MEMORYS

1月1日 社団法人設立

【事業内容】

4月9～15日 長浜曳山祭り参加事業
裸参りへの参加、御輿渡業、山曳き祭典への参加、八幡宮・滋賀相互銀行前における茶席、物品販売、無料休憩所の設置、駅前通りの駐車場の設営等全てに巨り盛りだくさんのプログラムを全メンバーの努力により成し遂げた。昨年の「曳山祭り」アンケートの調査結果に基づき設けた茶席も予想以上の盛況で600個用意された茶菓子も全て売り切れ、また茶和会独自の企画実行によるひょうたん型赤飯においてはあつという間に売り切れた。これら一連の行動は市民からも高い評価を受けた。5月24日 第4回ファミリーマラソン大会
今回は市民総合体育大会の一環として主管し、長浜市教育委員会との共催という行政とのタイアップ事業として行いました。特に第36回国民体育大会が「びわこ国体」として滋賀県で開催され、国体を成功させる意味においても認識を深め青少年の健全なる心身と忍耐力を養うために実施し、過去最高の650人の参加を数えた。9月26日 明日の長浜を考えるシンポジウム
長浜文化芸術会館にて開催し、前半、岐阜県会議員で元高山屋台会館氏子総代であった鳩谷齊氏と石川県松任市千代野センター理事長で松任市の商店街再開発を成功に導いた北村勉氏の基調講演で始まり、後半は2人に長浜商店街連盟会長の沢田貞三氏、高橋政之氏、市民代表として吉川兵衛氏、長浜消費学習研究会会長の高原守乃氏らをパネラーに、家森義雄君をコーディネーターにPDを行なった。

〈本年度の主な事業〉

- 国体歓迎レセプション、LD道場「歩行ラリー」
- LD道場「トークイン奥伊吹」、教育アンケートの実施
- 小学校、幼稚園先生と教育懇談会、冊子「模索」の発行
- 商店街との懇談会、税務懇談会



長浜曳山祭り参加事業(裸参り)



明日の長浜を考えるシンポジウム
-これでもいいか湖北ながはま-

会員数 123名

- 2月にかけて戦後最大の豪雪。学校体育館倒壊相次ぐ
- ローマ法皇初来日
- 福井謙一にノーベル化学賞



1982

第27代理事長
福永 勝彦

【生年月日】S20.5.1
【入会日】S44.1

役員名簿

- 副理事長 伊藤 光男 北川 忠昭 廣瀬 真啓
- 専務理事 関谷 松男
- 理事 家森 義雄 松村 英史 橋本 圭祐
- 大橋 紳一郎 前川 佳一郎 高橋 文夫
- 大塚 道夫 恩田 勇一郎 大塚 勝
- 佐藤 啓太郎 上田 勇治 橋場 信之
- 森内 茂樹 辻 泰寿 高木 誠行
- 大野 松太郎 石田 宏 川合 環
- 中居 純一郎 数内 猛 東本 泰寿
- 太田 輝明 堀部 駒夫 白髭 正敏
- 上田 昌之 川村 和彦
- 山口 龍男 羽村 久晃
- 監事 岩崎 八郎 三好 俊朗

褒章

- 近畿地区協議会「優秀社会開発推進賞」

MEMORYS

ながはま 21 市民会議設立
21 世紀を担う子供達に私たちのまち「ながはま」を誇りを持って引き継ぐために、今こそ我々は自らのまちづくりに参加し、英知を集めて具体的な行動を起こさなければならないという考えのもと、「ながはま 21 市民会議」が設立された。
《曳山博物館構想推進事業》
4月9～15日 長浜曳山祭り参加事業
この年はPR事業に重点を置きその活動は新聞でも取り上げられた。関谷実行委員長の下、PR部会、行事部会、設営部会の三部会に分かれ、共に曳山博物館構想をアピールした。
5月29日 米川下り
「生命の源」を考えるキャンペーンを企画し米川の河口から約4キロを汚染防止PRのため小学生の協力のもとで開催した。
6月6日 ミニ水族館
琵琶湖の浄化に向けてJCと市民が一体となって水問題、環境問題について考えてゆく場を作ると、朝の市民広場において実施した。大きないけすを組立、びわ湖の魚を放流し、魚のパネル展示を行った。また米川下りの事業報告パネルも設置した。
9月26日 明日の長浜を考える市民シンポジウム
「これでもいいのか湖北長浜」
長浜商工会議所大ホールにて湖北の活性化を目指す私達の提唱した「ながはま 21 市民会議設立準備会」の主催で行った。21 世紀を担う子供達に私達のまち「ながはま」を、誇りを持って引き継ぐために、今こそ英知を集めて具体的な行動を起こさなければならないと提言がなされた。
〈本年度の主な事業〉
ふるさとまつり「長浜よいさ」
ながはま 21 市民会議の発足
LD 道場「歩行ラリー大会」、教育懇談会の開催
「あいさつ運動」標語募集、標語ポスター配布
青少年サークルラリーの実施、経営者道場の開催



明日の長浜を考えるシンポジウム
—これでもいいのか湖北ながはま— 第1回ふるさとまつり「長浜よいさ」

会員数 **114名**

- 第36回国民体育大会びわ湖国体開催
- 東北、上越新幹線開通
- ホテル・ニュージャパン火災



1983

第28代理事長
伊藤 光男

【生年月日】S22.11.15
【入会日】S48.1

役員名簿

- 副理事長 本城 善男 家森 義雄 佐藤啓太郎
- 専務理事 森内 茂樹
- 理事 関谷 松男 浅見 明男 山田 峰夫
- 野中 敬三 門根 秀造 石田 宏
- 鈴木 正信 恩田 勇一郎 渡邊 富良
- 廣瀬 真啓 中居 純一郎 三好 俊朗
- 川村 和彦 北川 幸吉 種田 清
- 平井 英之 渡辺 誠行 土田 幸一
- 児玉 悦雄 橋場 信之 羽村 久晃
- 冬木 克彦 大野 松太郎 中川 連
- 数内 猛 橋本 圭祐 岸本 一郎
- 藤山 豊彦 大塚 勝
- 監事 清水 宏

褒章

- 滋賀ブロック協議会「優秀JC賞」

MEMORYS

《曳山博物館構想推進事業》
長浜曳山祭り長浜出世祭り事業
長浜出世まつりの開幕を飾った市民パレードは、長浜出世まつり一連の企画の中で、唯一電通の手を離れ市民が手作りにより「まつり」に参加するという意義があった。市民パレード実行委員会が組織され、JCがその企画運営を担い、約 5,800 名に及ぶパレードを事故なく成功させ各方面より高い評価を得ることで地域でのJCの立場を確立し自信を深める事が出来た。
「曳山まつり部会」
PR班、さくら号班、まつり本日（ほんび）班で構成され、曳山博物館構想への着実な一歩となったと確信した。
「パレード部会」
長浜出世まつりの開幕を飾った市民パレードは、まつりの一連の企画の中で唯一市民が手作りによる「まつり」に参加するという意義があった。
「物販部会」
市民実行委員会直轄という形での参加協力で長浜城開館と出世まつりの成功に向けて事業を盛り上げました。
「昇華PARTⅡ「湖北ながはま」の発刊」
3年前に発刊した一郷愁とロマンの文化圏、湖北の展望「昇華」の内容充実を図り再編集、保育社より「湖北ながはま」として全国流通に乗る図書として発刊できた事で広く全国レベルで湖北ながはまを発信できた。
9月24日 明日の長浜を考えるシンポジウム
「これでもいいのか湖北長浜」
ながはま 21 市民会議が 10 月の市長選を控える時期に地域の 21 世紀を展望し、活性化に向け新市長にアピールしようという活発な議論を行った。国鉄常務理事の伊能忠敏氏が「長浜の将来をどう考える」という講演を行った。引き続き伊藤理事長、青年会長らのPDでは「守りの市政から攻撃型の市政への変身」など活発な意見交換がなされた。
〈本年度の主な事業〉
第 11 回朝の市民広場
第 2 回ふるさとまつり「長浜よいさ」
LD 道場「心の活性化」の実施、MIA セミナーの実施
市民懇談会の実施



明日の長浜を考えるシンポジウム
—これでもいいのか湖北ながはま— 第2回ふるさとまつり「長浜よいさ」

会員数 **130名**

- 長浜市 市政40周年
- 湖北総合病院完成
- 大韓航空機墜落事件



1984

第29代理事長
本城 善男

【生年月日】S22.12.10
【入会日】S51.7

役員名簿

- 副理事長 関谷 松男 辻 泰寿 上田 昌之
- 専務理事 門根 秀造
- 理事 月ヶ瀬 義雄 廣瀬 真啓 清水 純夫
- 種田 清 種田 寧雄 塚田 益司
- 北川 幸吉 岸本 一郎 佐藤啓太郎
- 伊藤 光男 羽村 久晃 若森 真
- 土田 幸一 坪居 邦彦 吉田 豊
- 松宮 顕昭 大橋 紳一郎 北川 忠昭
- 鈴木 正信 川崎 隆弘 前川佳一郎
- 河瀬 賀昭 藤山 豊彦 塚田 益司
- 野中 敬三 上田 勇治 冬木 克彦
- 監事 渡邊 富良 福永 勝彦

褒章

- 滋賀ブロック協議会「最優秀JC賞」
- 近畿地区協議会「社会開発推進優秀賞」

MEMORYS

《曳山博物館構想推進事業》
長浜曳山祭り参加協力事業 よいさよいさで6万5千人
曳山博物館構想提唱以来 5 年目を迎えたこの年、祭りを側面から盛り上げる事業に加え、「昇華」以来 5 年ぶりに曳山博物館構想自体のPRを前面に押し出した事業を行なった。
「曳山まつり部会」
さくら号、なご号の車中にて子供役者によるミニタ渡りなどで長浜曳山まつりのPRに貢献した。
「総合移動案内班」
八幡宮境内と御旅所で本年結成された曳山啓発懇談会を通じて他団体と協力し観光客に案内のサービスを行った。
「茶席班（さくら茶屋）」
八幡宮境内において市民及び観光客の人達に抹茶やさくら茶の接待を行いまつりの雰囲気大いに高めた。
「JC特設道中休憩（金屋席）」
消滅してしまった道中休憩を復活し、まつりの風情を市民と観光客にあじわってもらえた。
「博物館構想部会」
山組/イベントに曳山博物館構想について山組若衆と理事長の対談の模様の記事を掲載し構想のPRを行った。
5月30日 親子ラリー
30 組の親子が参加。長浜城をスタート、ゴールとする7キロのコースを約 40 のコマ地図を頼りに5つのチェックポイントを通り、長浜の名所旧蹟を巡り、20 問の問題を解いてもらった。途中親子で問題を解く姿は目的とした親子のふれあいのものであった。
児童生徒討論会並びに教育懇談会
8月2日 児童討論会 8月21日 教育懇談会
小学生、中学生の部に分けてそれぞれ2時間の討論会を実施した。これを踏まえ商工会議所大ホールにおいて、長浜市教育委員会、各小学校の校長先生 10 数名との教育懇談会を開催した。
12月2日 市民フォーラム '84
湖北長浜の地盤沈下が叫ばれる中、今回は長浜の現状を見つめつつ、外部に目を向けダイナミックな実行力、情熱を持った他の地域からその智慧を学び長浜にインパクトを与えようと開催された。
〈本年度の主な事業〉
第 3 回ふるさとまつり「長浜よいさ」
第 13 回朝の市民広場
米原駅西口調査
レックスアベニュー '84 への参加



第3回ふるさとまつり「長浜よいさ」 市民フォーラム '84

会員数 **114名**

- 市民憲章の制定
- ロサンゼルス・オリンピック
- グリコ・森永事件



1985

第30代理事長
月ヶ瀬 義雄

【生年月日】S23.5.15
【入会日】S48.7

役員名簿

- 副理事長 佐藤啓太郎 石田 宏 藤山 豊彦
- 専務理事 土田 幸一
- 理事 森内 茂樹 吉田 豊 坪居 邦彦
- 上田 昌之 前川 佳一郎 高橋 文夫
- 中川 武司 伊藤 光男 関谷 松男
- 冬木 克彦 廣瀬 真啓 大塚 敏臣
- 川崎 隆弘 高木 誠行 渡辺 誠行
- 丸本 隆夫 種田 清 武田 雅博
- 小堀 甲一 藤沢 康行 川村 和彦
- 原馬 良典 塚田 益司 福永 勝彦
- 若森 真 石道 寧雄 国友 隆房
- 監事 中川 卓 北川 忠昭 中居純一郎

褒章

- 近畿地区協議会「優秀社会開発推進賞」

MEMORYS

《曳山博物館構想推進事業》
5 年間の成果を踏まえ、構想の第一段階である博物館建設に向けて第一歩を踏み出す事を基本とした事業を展開していった。従来の祭り協力、構想PRに加え曳山博物館を形として市民に訴えるため、JCパビリオンを建設した。市民セミナーの開催、山組の協力により多大な評価と議論を巻き起こした。行政ならびに山組関係者には事業に様々なご協力をいただいた。
「さくら号」
国鉄大阪発さくら号に大津より乗車し曳山まつりへのPR効果に貢献した。
85 JCパビリオン
滋賀相互銀行元浜支店駐車場にてJCパビリオンを建設、ビデオ、スライド等によりまつりの全容を紹介した。
11月21日 ながはま 21 市民会議シンポジウム
21 市民会議の締めくくりの事業として、武村知事を招き開催された。21 世紀に向かって私達は如何に行動していくべきか、参加者全員が真剣に考えるとともに将来への手ごたえをはっきりと掴んだシンポジウムであった。
〈創立 30 周年記念事業〉
5月16日～9月16日 ぼくと私のちびっこ水田
お米の一生を通じて大人と子供が共に考え体験する事を目的に毎回約 200 名の参加者が約 4 ヶ月にわたって展開された。事業自体は起承転結の事業であり、参加した親子はお米をつくる苦しさや喜びを身をもって知る事業となった。
8月11・12日 サマー・クリエーション '85
湖北長浜で地域開発の運動を推進している種々の青年団体と行政とJCが 1 つの実行委員会を発足させ、その事業を通じて新しいコミュニケーションと文化創造を実現させ、21 世紀を構築していく青年達にその自覚と連帯感を芽生えさせる事が出来た事業であった。
〈本年度の主な事業〉
第 14 回朝の市民広場
第 4 回ふるさとまつり「長浜よいさ」
記念誌「而立」の発刊
創立 30 周年記念式典・祝賀会
湖北ファミリーゲートボール大会
ウォッチ・ザ・自治会 アンケート作成



ぼくと私のちびっこ水田 サマークリエーション'85

会員数 **119名**

- 第1回びわ湖トリアスロン大会を湖北一円のコースで開催
- 阪神タイガース27年ぶりの優勝
- 科学万博つくば'85開幕

64年のあゆみ

64年のあゆみ

1986



第31代理事長 佐藤 啓太郎

【生年月日】 S22.1.27 【入会日】 S53.1

役員名簿

- 副理事長 廣瀬 真啓 北川 幸吉 塚田 益司
●専務理事 小川 隆房
●理事 関谷 松男 藤山 豊彦 中川 武司
大神 丸本 隆夫 羽瀨 久晃
松岡 敏臣 伊藤 光男 中居純一郎
川崎 隆弘 前川佳一郎 川村 和彦
加藤 悦二 東本 泰寿 藤本 経次
門根 秀造 藪内 猛 石田 宏
中川 卓 野中 孝雄 西川 徳俊
高橋 文夫 清水 正伸 大野松太郎
川瀬 秀樹 原馬 良典 吉川 孝夫
●監事 橋本 圭祐 本城 善男

褒章

- 近畿地区協議会 「周年事業推進最優秀賞」
「魅力あるまちづくり推進優秀賞」

MEMORYS

《曳山博物館構想推進事業》
8月9日 シンポジウム 「明日へ向けてのまちづくり」
曳山博物館構想推進事業の集大成として開催した。当日は500余名の参加者があり、構想への興味の高さ、JCに対する期待感の大きさを感じた。過去6年に亘って地域の各界各層に向けて訴えかけてきたまちづくりのシンボル、私達の心の文化性の象徴曳山まつり、曳山博物館構想が今まで以上にアピール出来た。この事業でメンバー内においてはシンポジウム部会、催し物部会、広報動員部会が組織され、全員が何等かの形で参加し、構想やまつりについての議論がなされ、今一度曳山博物館構想を自分たちの構想として考える機会をもてる事業となった。
11月2日 おたのしみ市民広場
出せまつり協賛という形で行われた。長浜商店街青年部連絡協議会主催の「おたのしみ広場」の1部門をJCコーナーとして「ちびっ子広場」を提供。多数の親子が訪れ大変盛りがった。
11月3日 第5回ふるさとまつり「長浜よいさ」
この年は第3回から参加した長浜市連合青年会、レオクラブ、ローターアクトクラブ、モロロジー青年部が実行委員会に加わり、更なる連携強化のもと、その情熱と個性を導き出すべく、役割分担を行った。市民実行委員会内に企画委員会を設置し、その委員会をJCと4団体で共に企画運営していくという形も功を奏し、子供達の元気な声が秋空へ響き青少年の健全育成と社会連帯意識の昂揚という目的が達成された。

〈本年度の主な事業〉

- 会頭訪問
「我が家の子育て」作文募集
ながはま21市民会議活動報告書作成
新入会員セミナー「ニューLIA」
LDセミナー「はらから塾」



シンポジウム「明日へ向けてのまちづくり」

会員数 112名

- 国道8号線長浜バイパス、長浜市・近江町間開通
●イギリスのチャールズ皇太子とダイアナ妃が来日
●チェルノブイリ原発事故

1987



第32代理事長 関谷 松男

【生年月日】 S24.12.5 【入会日】 S49.7

役員名簿

- 副理事長 藤山 豊彦 藪内 猛 高橋 文夫
前川佳一郎
小川 幸孝
●専務理事 廣瀬 真啓 羽瀨 久晃 谷村 克巳
河瀬 賀昭 清水 喜久 大野松太郎
林 源榮 土田 幸一 塚田 益司
国友 隆房 東本 泰寿 藤本 経次
冬木 克彦 北川 義隆 伊藤 光男
西川 徳俊 沢田 昌宏 本城 善男
加藤 悦二 吉川 孝夫 北川 幸吉
岩崎 隆一 渡 泰寿 江畑 明
井口 勇二 服部 揚一 清水 正伸
●監事 月ヶ瀬義雄 種田 清

褒章

- 日本青年会議所 「市民会議推進優秀賞」
●近畿地区協議会 「21世紀に誇れるまちづくり最優秀賞」
「ふるさとづくり推進優秀賞」
「日本の体質を考える地域活性化推進特別賞」

MEMORYS

《曳山博物館構想推進事業》
4月12・14・15日 座・民芸さくら茶屋
本年は開催場所を菅原氏の倉庫に移動し開催した。この年は特にその建物の特徴を活かした設営を行った。庭に床机台を置いて野だてにて接待を行った。「構想のしおり」を全ての来場者に配布し強い印象を与える事が出来た。
曳山博物館構想調査報告書
各地の曳山展示館やまちづくりについて調査研究を行った。実際に現地を訪れその雰囲気を感じ取る活動であった。報告書として冊子にまとめ全メンバーに配布された。提唱以来8年の事業の足跡と構想の概要を示し更なる理解浸透がなされた。
《ながはま21市民会議推進事業》
10月18日 びわこ一周夢特急 ーながはま21市民号ー
ながはま21市民会議が提言する「北陸線直流化」の実現を目指して企画され、九両編成の特急列車が422名の乗客を乗せて琵琶湖を一周し、車中にて湖北・長浜の未来を考える目的で開催された。列車を利用という事で分刻みのスケジュールが企画され、びわこ放送でも放映されるという事でイベントにも創意工夫が凝らされ無事終了した。
《湖国21世紀ビジョン推進事業》
10月1日 シンポジウム 「ほんできゃんせ奥琵琶湖」
県、伊香郡商工会連絡協議会と我々が共催、木之本商工会主管のもと行なった。上原まり先生のびわ演奏、声楽家の友竹正則先生、地元の馬場道夫先生の基調講演に始まり、PDを通し地域の特性を活かしたまちづくりへの提言がなされた。

〈本年度の主な事業〉

- 第17回滋賀ブロック会員大会 「煌めく波動 今 先駆けの時」
第6回ふるさとまつり「長浜よいさ」
T&Tセミナー、みんなで唄おうJC音楽会
LDセミナー「LD千話一夜」、経営セミナー



びわこ一周夢特急 ーながはま21市民号ー

会員数 120名

- 第1回芸術版長浜楽市楽座
●国鉄分割・民営化、JRスタート
●利根川教授にノーベル医学・生理学賞

1988



第33代理事長 廣瀬 真啓

【生年月日】 S24.1.15 【入会日】 S51.1

役員名簿

- 副理事長 塚田 益司 原馬 良典 冬木 克彦
沢田 昌宏
小川 幸孝
●専務理事 国友 隆房 富岡 幸夫 川村 和彦
草野 豊行 土田 幸一 沢田 道宏
野中 敬三 清水 正伸 北川 幸吉
前川佳一郎 水野 透 中川 卓
宮川 裕路 宮部 行人 渡 泰寿
三家 邦明 服部 揚一 藤沢 康行
山本 清蔵 坪居 邦彦 川瀬 明良
川地 宏光 川崎 隆弘 山田 峰夫
北川 義隆 藤山 豊彦 江畑 明
武田 雅博
●監事 月ヶ瀬義雄 清水 純夫

褒章

- 滋賀ブロック協議会「最優秀JC賞」

MEMORYS

《曳山博物館構想推進事業》
4月14日 夕渡りコンサート
曳山祭り参加協力事業として夕渡りに合わせ、ばんぱひろみ氏コンサートを開催した。会場のお旅所には747名の観客が来場した。コンサート後は夕渡りを見に行き、無事終了した。総当番はじめ長刀組や山組等の方々とも度々打ち合わせを行い、構想への理解浸透が出来、祭りを盛り上げる事が出来た。
10月23日 湖北長浜 まちづくり「考」
「明るい豊かな社会」を目指す社会開発運動として、本年は「人をつつみこみ、時代を創る…今、曳山ルネッサンス…」をテーマに全体実行委員会を組織し行った。3つの会場で分科会に分かれ文化、産業、観光等をあらゆる面から考え、各講師と参加者の方々との有意義な情報交換の場となった。又、当日の内容をまとめたJCニュース対外版を新聞折り込みし新たな反響を市民から得る事が出来た。
7月22・23日 チャレンジ・ザ・湖北
木之本小学校から長浜小学校までの22キロを、湖北1市3郡の児童637人を集め、実施した。事業を通して自立心、リーダーシップ、郷土愛を育て広域JCとしての足掛かりとなった。この事業に各教育委員会、小学校、歩行コース内の諸団体、自治会など非常に数多くの協力支援を得て開催され、これらの関係者との交流を深める事が広域JCとして重要である事を確認した。
8月20・21日 ながはまドームエクスプレス
ながはま21市民会議の重要テーマ、「北陸線直流化」「全天候型競技場の建設」への取り組みを同時に一般市民にPRする目的で、合同の実行委員会を組織し企画実行した。本事業が市民会議とJCでテーマに対する姿勢を協力アピールできた。

〈本年度の主な事業〉

- FTセミナー「夏中講」
フィッシュボーンスケルトンの実践



チャレンジザ湖北

ながはまドームエクスプレス

会員数 112名

- 米原に県立文化産業交流センターが開館
●株式会社「黒壁」設立
●瀬戸大橋が開通

1989



第34代理事長 藤山 豊彦

【生年月日】 S27.5.27 【入会日】 S52.7

役員名簿

- 副理事長 国友 隆房 東本 泰寿 野中 敬三
小川 幸孝
●専務理事 渡 泰寿 川瀬 明良 高橋 文夫
●理事 家森 裕雄 藪内 猛 前田 正史
加藤 悦二 服部 揚一 沢田 昌宏
土田 幸一 中森 廣明 田中 正孝
原馬 良典 中川 武司 宮川 裕路
西川 徳俊 中川 道宏 富岡 幸夫
石川 欣司 沢田 道宏 草野 豊行
藤井 誠 川地 宏光 藤井 繁
田中 博司 塚田 益司 羽瀨 久晃
●監事 関谷 松男 大野松太郎

褒章

- 近畿地区協議会「青少年開発推進賞最優秀賞」
●滋賀ブロック協議会「優秀賞」

MEMORYS

《曳山博物館構想推進事業》
8月～10月 人創・街創・夢創 一時間(とき)は今、曳山博物館ー
「曳山博物館構想」の中間答申が出され、「曳山博物館を核としたまちづくり構想」に於いての事業展開の必要性が重要との認識のもと、企画から実行まで約3ヶ月間というロングラン事業が開催された。この事業で広く市民各層に曳山博物館の必要性と具体的な機能を訴え、湖北文化や曳山まつりの素晴らしさを多くの方の共感を得て成功裡に終えることができた。
「構想部会」
過去9年間の曳山博物館構想の運動の成果をふまえた上で我々の目指す曳山博物館のマスタープランを練り上げ、そのプランを市民や関係者に広くアピールした。
「懇談部会」
市民各層に曳山博物館の重要性と具体的な機能を明らかにし、我々の想いを関係者に訴え、その中で多くの共感を得、曳山博物館の実現につなげる事を目的に個別懇談会と「曳山博物館とまちづくり」懇談会を開催した。
「イベント部会」
我々が提唱する曳山博物館を核としたまちづくり構想をイベント会場を通じてアピールし、湖北文化、曳山祭りのすばらしさを再確認してもらうことを目的としてイベントを企画実施した。
8月6・7日 フレンドリーアドベンチャー'89
湖北1市12町の小学5年生を対象として、青少年の健全育成を目的とした「フレンドリーアドベンチャー'89」が開催された。殆ど子ども達が自らの希望で参加し、2日間で大きな充実感を持ってもらえた。討論会においては、子どもたちを中心とする教育問題について率直な意見が交わされ、青年会議所活動についての理解も深めていただくことができた。

〈本年度の主な事業〉

- FTセミナー「人生道場 IN 竹生島」
土用塾



人創街創夢創 一時間(とき)は今、曳山博物館ー フレンドリーアドベンチャー'89

会員数 122名

- 長浜市民交流センター開館
●昭和天皇御崩御
●消費税スタート

1990

湖北はひとつを基本理念に

ログハウスプラン

湖北の住人たちは、この地ならではの個性を持っています。それは、暖かい人間性、粘り強い性格、他の文化を吸収できる許容性であり、また反面では保守的な一面があることも事実です。

ただ、湖北に住む若者達の感覚の中には、開放的な明るさがあります。

彼らは、湖北人の湖北人であるが故に持っているけれども、湖北人の持つ「新湖北人」と呼べるのではないのでしょうか。私たちは、この「新湖北人」の発掘とその輪を広げるために次のようなプランを考えました。

まず、彼らに湖北を見つめ直し、大いに関心を持ってもらう。

次にそんな人々やグループを増やし、それぞれを「湖北」という共通の基盤で結び付けて行く。

最終的には自然な形でヒューマンネットワークが実現し、「湖北のまちづくり」を考えて行けるようにしたい。

これは、ちょうどログハウスが一本一本のログ(丸太)の積み重ねで一つの暖かみのある空間を作り上げているように、湖北に住む人々が、人を愛し、地域を愛し、育んで行く心の積み重ねが主体性をもって、地域の未来を考えてゆけるヒューマンネットワークの確立を図っていくという考えです。これが、私たちの提唱する「ログハウスプラン」なのです。

湖北連邦構想

今、湖北各地で展開されつつある「まちづくり運動」は、その地域であるが故に、又、その地域でなければ発揮できない特性を全面に打ち出し、他の地域との差別化を進める中で実践されている活動であります。また、行政レベルにおいては、市町村ごとに自然環境の整備・経済の活性化などの様々な施策が進められています。それらは、確かにその町を魅力ある地域へと変えつつあります。

しかし、新湖北のグランドデザインを考えたとき、それぞれの地域のまちづくりのみにとらわれる事なく湖北全体をグローバルに見据えながら連動し連携を取りつつ、地域全体の調和を求める運動を目指して行きたいと考えます。従来の行政区画を超えて、広域的視野に立った新しいまちづくりのビジョンの構築の必要性を痛感致します。すなわち、湖北の中の各地が独自の個性をもちながらも全体として調和し機能する、更には、国際社会の中におけるしっかりとした役割を持った、素晴らしい地域の創造を目指したいという考えが「湖北連邦構想」なのです。

湖北はひとつ

ひとつづくりからのアプローチ

ログハウスプラン

ヒューマンネットワークの創造

まちづくりからのアプローチ

湖北連邦構想

新しいまちづくりビジョンの構築

新湖北の創造



1990



第35代理事長
塚田 益司

【生年月日】S29.5.8
【入会日】S57.7

役員名簿

●副理事長	津 清	秦 正	川地 宏光	加藤 悦二
●専務理事	小川 幸	西川 宏		
●理事	国友 隆	本城 猛	家森 裕	松野 武
	川瀬 圭	藤井 誠	冬木 中	北川 幸
	原馬 善	河瀬 賀	高橋 幸	高橋 文
	豊場 幸	真杉 隆	田中 正	田中 正
	東本 泰	野村 隆	前川 佳	前川 佳
	藤井 幸	中川 幸		
	伊香 敏	押谷 小		
	小西 昌			
	沢田 宏			
	門根 秀	羽淵 久		

褒章

- 日本青年会議所「地域ルネサンス推進賞特別賞」
- 近畿地区協議会「自立した地域づくり推進賞特別賞」
- 滋賀ブロック協議会「最優秀JC賞」

MEMORYS

《創立 35 周年記念事業・ログハウスプラン推進事業》

8月11・12日 ぐるっと湖北集遊塾
2日間にわたり、座談会やレクレーションそしてゼミナールなど様々な体験を一般参加者90名をもって行った。今回の事業を通じて、地域を愛する活動をされている団体を数多く見つける事ができ、ログハウスプラン推進の上で長浜青年会議所がそのコーディネート役としてアプローチしていく必要性を感じた。

《創立 35 周年記念事業・湖北連邦構想推進事業》

『KOHOKU '90』
8月19日 カレッジオブKOHOKU
湖北各地の市長、町長を含めた行政関係者やまちづくりリーダーに対して、萩原茂裕氏による「まちづくりは人づくり」を基調講演として、3つのゼミナールが行われた後、ジュニアオールゴールコンサートでは「湖北はひとつ」を音の感性で訴えかけ、湖北にこだわるJCメンバーの姿勢を参加者に感じ取って頂いた。
9月12日 トークオーバーKOHOKU
カレッジオブKOHOKUで共通の理解と認識を持った参加者の方々が萩原茂裕氏をコーディネーターとして、湖北広域のまちづくりについて語り合い、白熱した議論が展開された。「湖北はひとつ」という地域を結びつける共通の理念が具体的に浮き上がった。

- 〈本年度の主な事業〉
- FTセミナー「湖北の夜明けを見る」「自衛隊体験入隊」
 - 35周年記念事業
 - *テーマ及びシンボルマークの設定
 - *記念誌の発行
 - LD道場 我ら青春企業



ぐるっと湖北集遊塾



カレッジオブKOHOKU

会員数 128名

- 当時の出来事
- 琵琶湖環状線促進期同盟会設立
 - 東西ドイツが統一
 - 大阪で「花の万博」

1991



第36代理事長
国友 隆房

【生年月日】S31.6.9
【入会日】S57.1

役員名簿

●副理事長	川地 宏光	藤井 繁	田中 正孝
●専務理事	沢田 道宏		
●理事	小川 幸	松野 武	野村 隆志
	津 清	津田 昌	清水 正伸
	武田 泰	松井 稔	高橋 文夫
	為永 義正	藤井 誠	川瀬 明良
	中川 幸之	大村 修	豊場 善秀
	中川 雅嗣	藤山 敏	高橋 年彦
	真杉 義和	大神 敏昭	中川 智康
	北川 義隆	河瀬 賀	川瀬 長田
	伊香 勝幸	川瀬 圭	宮川 耕信
	草野 豊	金森 弘	宮川 裕路
	冬木 克彦	野中 敬三	

褒章

- 日本青年会議所 「人材づくり推進賞特別賞」
- 近畿地区協議会 「自立した地域づくり推進賞最優秀賞」
- 滋賀ブロック協議会 「最優秀JC賞」

MEMORYS

《ログハウスプラン推進事業》

8月25日 ログハウスサークルの設置&「ひよっとしたら南浜ラブストーリー」
湖北の青年達に「自分のために」から「人のために」何かをしようという気持ちになってもらうために、ログハウスプラン推進委員会と湖北で活躍する青年達とで、「若者の、若者達による、若者のための事業」を企画、運営してもらおうと「ログハウスサークル」という団体を結成した。ログハウスサークルの運営と事業の企画実行を通して、湖北の若者達と共に考え行動することによって、多くを学び取ることができた貴重な事業であった。

《湖北連邦構想推進事業》

9月23日 対外誌「とっておき湖北」の発行と湖北トライアングル駅伝
湖北のこれからのビジョンを構築する必要性に基づき、湖北1市12町を精力的にまわりながら各意見を集約し、対外誌「とっておき湖北」を発行、長浜JCの考え方を広く訴えかけた。さらに北陸線直流化イベントの一環として湖北地方の住民が多く参加できる広域イベントとして「湖北トライアングル駅伝」を開催した。本事業は長浜JCがはじめて湖北の行政を巻き込んだ事業であったが、各行政の方々に長浜青年会議所というものを大きく意識付けができたことと確信し、ここで生まれたネットワークが今後一層発展していくことが重要であると認識できた。

〈本年度の主な事業〉

- '91 子供たちの夏物語「Mt.IBUKI 20万秒の感動体験」
- LD 歩行ラリー、長浜JCデータベースシステム
- FT セミナー感動ゾーン 1377 伊吹山に学ぶ、華道に学ぶ
- 定款・諸規定の変更



'91 子供たちの夏物語



湖北トライアングル駅伝

会員数 132名

- 当時の出来事
- 北陸線直流化
 - 湾岸戦争開戦
 - 信楽鉄道で正面衝突

64年のあゆみ

64年のあゆみ



1992

第37代理事長
漣 泰寿

【生年月日】S31.12.5
【入会日】S55.1

役員名簿

- 副理事長 沢田 昌宏
- 専務理事 川地 敬司
- 室長 大村 修
- 理事 大村 修、川瀬 賀昭、川川 武司、古澤 和信、中川 卓、中川 嘉隆、土田 幸一、野坂 利次
- 監事 東本 泰寿、土田 幸一

褒章

- 日本青年会議所規定部門「地域づくり推進賞」
- 近畿地区協議会「優秀賞」
- 日本青年会議所自由部門「自由テーマ賞」

MEMORYS

《ログハウスプラン推進事業》
8月30日 青春エコロジー夢連鎖「やさしい環境探検隊」
「環境」を切り口として湖北の青年たちと共に語り合いながら湖北のまちづくりを考える「環境ログハウスサークル」を設置し、それぞれの活動の情報を交換しつつ、共に連携運動しながら、環境をテーマとする事業を企画実施したものが、「やさしい環境探検隊」の開催であった。

《湖北連邦構想推進事業》
11月7日 湖北フォーラム'92
湖北各地で様々な目的を持って活動している団体や行政との交流から新たな価値の創造により、湖北はひとつという意識が地域住民へ波及するべく湖北フォーラム'92を開催した。湖北各地域で開催されているイベントへ参加し、まちづくりに取り組んでおられる方々との懇談会や交流会で長浜JCの目指すまちづくりネットワークの形成に向けて一歩前進した。

8月11・12日 湖北・夢の学校'92
湖北1市12町の小学生を対象に、子どもたちと同じ湖北に住む者の一員であるということから自分の故郷をもっと知り、愛する心を持ってもらい、地域愛、郷土愛を養ってもらえる事業となり、わが町湖北に対し今まで以上に興味を持っていただくことができました。

9月13日 湖北人開拓塾
湖北出身の先人、偉人の情熱に満ちた生涯を湖北1市12町の青年経済人の方々と共に学び、意識改革を行なうことを目的に開催した。「西田天香の生涯に学ぶ」を基調講演とし、分科会として3名の講師に講演を頂いた。

《本年度の主な事業》
湖北2001ビジョン共有化事業 語ろう未来の先駆者「湖北」
「LD夢道場ブレイクスルーPART I・PART II」
FTセミナー「温故知新～湖北人の偉業を辿る～」



青春エコロジー夢連鎖「やさしい環境探検隊」 湖北フォーラム'92

会員数 **126名**

- 当時の出来事
- 長浜ドームオープン
 - 日本人初の宇宙飛行士毛利衛宇宙へ
 - 丸七セロナ五輪で日本メダル22個



1993

第38代理事長
沢田 昌宏

【生年月日】S33.2.25
【入会日】S59.1

役員名簿

- 副理事長 田中 正孝
- 専務理事 加藤 悦二
- JCみらい特別委員長 川地 宏光
- 室長 大村 修
- 理事 大村 修、川瀬 賀昭、川川 武司、古澤 和信、中川 卓、中川 嘉隆、土田 幸一、野坂 利次
- 監事 藤井 繁

褒章

- 滋賀ブロック協議会「最優秀JC賞」

MEMORYS

《ログハウスプラン推進事業》
7月～10日 ふるさと学習「シリーズ授業」
地域の子供たちが湖北の素晴らしさや、地域で育まれた産業や歴史についての生の学習をし、ふるさとへの愛着と誇りを持つことが、次代を担う子供達にとって計り知れないものであると考え、その産業や歴史について各々の方面で活躍されている方々に語り部として開催された。
8月21・22日 ふるさと学習 体験職ヶ岳の合戦
国友鉄砲隊の火縄銃の実演や賤ヶ岳の夜間登山などで湖北の地で繰り広げられた歴史の1ページを真に自分たちの体で体験し確認する事ができた事業となり、湖北を愛する心が子どもたちに生まれ、深く心の中に刻まれたと確信した。
11月6日 ふるさと学習 懇談会、並びに小冊子の配布
「ふるさと学習」の中でご登壇願った講師の方々や、小学校の先生方と交え様々なご意見や要望を伺った。更に今年度の事業の全てを小冊子にまとめ、1市12町の小学校に配布した。

《湖北連邦構想推進事業》
9月26日 ネイチャーランド湖北'93
自然を通じたまちづくりで湖北がひとつになって考えていく必要性、長浜JCがまちづくりのひとつの要因として取り組む方向性を提示した重要な事業であった。その切り口から湖北連邦構想を知らしめるべく、本事業終了後、対外紙を発行した。
10月10・11日 湖北トライアルロード'93～みらいへの大行軍～
秀吉大返しから始まるネットワークをテーマに講演とパネルディスカッションを行ない、参加者と街道沿いのネットワークと題して意見交換を行なった。湖北地域の役所、観光協会、商工会、各市民団体、まちづくり団体等に参加して頂き、長浜JCの考えるネットワークづくりに共鳴を得ることが出来た。

《本年度の主な事業》
LD事業「ザ・ディベート」
青年経済人セミナー「真の経営者を目指して」
湖北トライアルロード推進協議会設立準備会設置
FTセミナー「SOSレスキュー隊1日体験入隊」



湖北トライアルロード'93～みらいへの大行軍～ ふるさと学習「シリーズ授業」

会員数 **137名**

- 当時の出来事
- 長浜市「新博物館都市構想」策定
 - 琵琶湖ラムサール条約登録湿地指定
 - 皇太子様ご成婚



1994

第39代理事長
田中 正孝

【生年月日】S33.5.5
【入会日】S62.1

役員名簿

- 副理事長 中川 卓
- 専務理事 田中 博司
- 室長 伊藤 浩
- 理事 宮川 裕路
- 監事 伊香 勝幸

褒章

- 近畿地区協議会「グッドオブキンキ賞」
- 滋賀ブロック協議会「優秀賞」

MEMORYS

《ログハウスプラン推進事業》
8月28日 '94元気がでるフリーマーケット
湖北に住む30名の若者たちを中心に「こんなことをやってみたい」と思っている事を実現するため、長浜JCメンバーと共に様々な議論を重ね、それが大きな力となることを願い「元気がでるフリーマーケット」が開催された。この事業でヒューマンネットワークの輪が広がり、様々な事業展開、運動を繰り広げていくことにより、地域の力が蓄積され、湖北の大きな原動力となると感じた。

《湖北連邦構想推進事業》
10月22・23日 湖北トライアルロード'94 今、蘇る秀吉の大返し
ログハウスプラン推進事業として秀吉の大返しと言う歴史上の事実に基づき、各町で109名の地元協力者を得て開催された。この事業を通じて、湖北広域の共通のイベントを願う声が聞かれ、今後において湖北各地域が手をつないだイベントを長浜JCが中心となって企画、実行していく必要性を感じた。

4月3日・5月22日・6月11日・7月3日'94ときめく湖北自然塾
湖北の自然を「野鳥」、「自然木」、「川と水」、「蝶と魚」の4つのテーマに分け、湖北の自然に親しみ、湖北の自然の素晴らしさを理解することを目的に開催された。

9月18日 '94ときめく自然の森音楽会
古高典子さんのムーアの演奏に始まり、湖北の素敵な風景や思い出について語り合い、35周年での「湖北の四季」を披露して頂いた。そのあと坂庭省悟氏をはじめとする4人グループ「SAM」による、大自然をテーマにした音楽会を開催した。

《本年度の主な事業》
ヤマトタケル伝説～君も勇者になれるか～
ふるさと学習PART 2
坦坦学校～互いに学ぶ経営倫理
FTセミナー「管並からの飛翔 余呉の地に感動あり」
「びわこドッジボール選手権大会」後援
LDチームラリー



'94元気がでるフリーマーケット '94ときめく湖北自然塾

会員数 **139名**

- 当時の出来事
- 大江健三郎にノーベル文学賞
 - 松本サリン事件
 - イチロー年間200本安打達成



1995

第40代理事長
中川 卓

【生年月日】S32.7.17
【入会日】S58.1

役員名簿

- 副理事長 田中 博司(40周年実行委員長)
- 専務理事 金森 弘和
- 室長 和田 信人
- 理事 藤本 経次
- 監事 伊藤 昌宏

褒章

- 日本青年会議所「優秀賞」「まちづくり賞」
- 近畿地区協議会「グッドオブキンキ賞」
- 滋賀ブロック協議会「ひとつづくり推進賞」

MEMORYS

《創立40周年記念事業・ログハウスプラン推進事業》
8月19・20日 '95 NEW(丹生)原体験 地球にふれたい語りたい
次代の湖北の担い手である青少年に、豊かな自然の中で自分で考え自分でつくる原体験を通じて、自立心や思いやりの心を育み、生きる力や感動する心を養うことを願い開催された。
10月28日 '95 NEW原体験 心にふれたい語りたい
考えよう!幸せ湖北のつくり方

8/19・20の原体験事業のステップアップ事業として、森本尚幸氏(BORO)にボランティア活動を通じて感じられたことや大切な弾き語り形式でご講演して頂いた。
9月17日 創立40周年記念式典、祝賀会
12月21日 新市長を囲むまちづくり談話
なごはま21市民会議が行なう新市長を囲むまちづくり談話に共催した。長浜市長、虎姫町長、山東町長をお迎えし、長浜の現状と将来について様々な角度から議論した。長浜JCの運動に対するさらなる理解と行政枠を越えた広域的なまちづくりの必要性を認識いただけた。

《創立40周年記念事業・湖北連邦構想推進事業》
5月28日 戦国トライアルロード'95 再現秀吉の大返し
湖北連邦構想推進事業として過去2回に亘って行なわれた湖北トライアルロード秀吉の大返し事業の総括として開催された。3年間取り組んだ成果と官民一体となった事業を行なう上での参考となる冊子を作成した。
9月10日 親子が選ぶ 湖北の自然十三選
湖北の自然を通じたまちづくり運動の方向性を探り出す基盤として、小学生や地域住民のアンケートをもとに開催された。グローバル環境文化研究所岡崎敏氏のご講演や行政、諸団体の方々とのパネルディスカッションを行い、湖北の自然十三選の活用方法等について意見交換がなされた。

《本年度の主な事業》
'95 盛夏 湖北夢会議、記念誌発刊
阪神淡路大震災支援活動
FTセミナー「管並からの飛翔 余呉の地に感動あり」
なごはま21市民会議総会参加
創立40周年記念事業



戦国トライアルロード'95「再現秀吉の大返し」 '95NEW(丹生)原体験

会員数 **138名**

- 当時の出来事
- 北陸本線直流化対策協議会設立
 - SLびわこ号運行
 - 阪神大震災

1996



第41代理事長
田中 博司
【生年月日】S34.5.7
【入会日】S61.1

役員名簿

●副理事長	金森 弘和(室長)	清水 政伸
●専務理事	家森 裕雄	
●室長	中岡 秀夫	田中 猛士 岩崎 隆一
●理事	上田 聡	山田 章 石黒 晋
	梅本 哲男	高木 啓至 津 泰寿
	石川 欣司	宮島 正典 林 章浩
	草野 豊行	野村 義人 奥村 誠
	中川 義明	沢田 昌宏 長谷部長一
	中村 彰男	山本 明良 小西 善生
	高橋 年彦	廣部宇一郎 茂森 勇人
	平田 勝也	大神 敏臣 太和田 亮
	伊藤 浩	中村 浩敏 和田 信人
	田中 正孝	中川 嘉隆
●監事	国友 隆房	藤井 誠

- 褒章
- 近畿地区協議会「GOOD OF KINKI賞」
 - 滋賀ブロック協議会「最優秀JC賞」

MEMORYS

《ログハウスプラン推進事業》
12月8日 湖北ロマンティックツアー'96
湖北の若者たちに集まって頂き懇談会を重ねる中で、新しい感性と発想で湖北のまちづくりを考え実行していくロマンティック湖北の創造、まる太んぼう倶楽部が結成された。それらが自主的に企画し、実行する本事業が長浜JCのバックアップのもと開催された。

8月2・3・4日 秀吉青春大学まちづくり講座 新まちづくり考転換期の「いま、まちづくりからなにが観えるか」をテーマに湖北の歴史現場の探索、パネルディスカッションが行われた。地域住民一人ひとりが力を合わせることに誇りに思えるまちづくりへのつながりが非常に大事なものであると再認識した。

11月14・15・16日 秀吉青春大学歴史講座 近江戦国考湖北地域において開催された北近江秀吉博覧会のひとつとして、また近江政経文化塾の趣旨として開催された。ピアンカ号での船上大学やパーティーなど、県内外を問わず湖北の魅力アピール出来た。

《湖北連邦構想推進事業》
5月26日・6月2・9・23日 秀吉青春大学歴史講座 湖北歴史寺子屋めぐり 湖北歴史案内人を訪ねて
湖北に住む人々がそれぞれの地域の歴史の楽しさを再認識し、歴史財産を活かしたまちづくりに夢を持ってもらう場、湖北歴史寺子屋を開催した。まちづくりを進めておられる方々と出会ったことで歴史を切り口とした湖北連邦構想の輪が、行政や地域住民の方々にも広がるものとなった。

5月7日・7月28日・9月29日 秀吉青春大学自然講座 湖北の歩き方～自然編～ 秀吉も聴けた邦 湖北の自然十三選めぐり
昨年の創立40周年記念事業において湖北の自然十三選が選定されたが、本年はその十三選を利用して多くの人々に湖北の自然の素晴らしさと風土を肌で感じ頂き、自然と調和した湖北の夢ある未来について思いを馳せてもらおうと開催し、パンフレットも作成された。

- 《本年度の主な事業》
チャレンジ・ザ・インターネット'96
「未来に向けての企業づくり ～栄光への挑戦～」
秀吉青春大学経済講座 「温故知新～秀吉経済学物語」
FTセミナー 「西浅井秘宝探検隊」



湖北の自然十三選めぐり 秀吉青春大学講座「温故知新～秀吉経済学物語」

会員数 **136名**

当時の出来事

- 北近江秀吉博覧会開催
- ペルー日本大使公邸人質事件
- 列島襲った0-157

1997



第42代理事長
金森 弘和
【生年月日】S33.3.30
【入会日】H1.7

役員名簿

●副理事長	家森 裕雄(室長)	中川 嘉隆(室長)
●専務理事	藤井 誠	
●室長	平田 勝也	中村 浩敏
●理事	林 章浩	上野 雅弘 太和田 亮
	鳥居 憲治	沢田 昌宏 柴田 秀明
	伊藤 浩	岡田 篤 松村 隆雄
	上田 聡	鹿城 律人 野村 義人
	高橋 年彦	茂森 勇人 中川 宰之
	長谷部長一	清水 金幸 川地 宏光
	馬場 鋭州	清水 喜久 為永 義正
	森野弥太郎	宮島 正典 長谷 浩之
	田中 正孝	中村 彰男 石川 欣司
	土田 圭隆	田中 猛士
●監事	中川 卓	沢田 道宏

- 褒章
- 近畿地区協議会「まちづくり部門特別賞」
 - 滋賀ブロック協議会「JCづくり賞」

MEMORYS

《ログハウスプラン推進事業》
11月9日 おもいやりフェスタ'97 IN湖北 まる太んぼう倶楽部主催
'97 デアイ発見物語への後援
地域の人々に忘れかけられている「思いやり」や「おたがいさま」といった心、すなわちボランティア意識をこどもたちから大人まで持ってほしい、人のため、地域のために助け合える地域にしなくてはならないという考えのもと開催された。

《湖北連邦構想推進事業》
9月14日 LIVE RIVER・・・めざせBIWAKO
湖北連邦構想のよき理解者、賛同者を増やし、なおかつ地域の人々のまちづくり意識の高揚に向けて、会議BIWA、びわ町商工会青年部、びわ町役場の方々や南浜の自然を題材にDA ISUKI BIWAを共同で開催した。

11月1・2日 北近江秀吉青春大学 湖北歴史再発見 小堀遠州の世界 遠州公のころを訪ねて
湖北の地に生まれ幼少期を過ごした後、江戸時代初期に作事奉行としてまちづくりの基礎を築き、こころ豊かで多彩な文化人として代表される小堀遠州に着目し、バスツアーを2日間の日程で100名を超える参加者のもとで開催した。

9月20日・10月1・24日 近江政経文化塾 湖北コミュニケーショントーク 夢追部
県会議員、市会議員、若手を中心とした県市町の職員、まちづくり関係者、JCメンバー、OBと毎回50名を超す参加者のもとで開催された。フィッシュボーンスケルトンによる問題提起と、その後の食談義において時間がなくなってしまうほどに激しい議論が繰り広げられ、今後の長浜JCの方向性を決める一助となった。

- 《本年度の主な事業》
WORLD-GAME IN KOHOKU ～あなたが未来の地球を決める～
日本JC会頭訪問例会・懇親会
秋の湖北路・走歩ラリー、日本海沿岸重油流出支援活動
FTセミナー 「Producing of ○金ラーメン」



～小堀遠州の世界～遠州公のころを訪ねて おもいやりフェスタ'97in湖北

会員数 **130名**

当時の出来事

- 淡海ネットワークセンター設立
- サッカーW杯・アジア地区予選で、日本が初出場決定
- ロシアのタンカー、日本海で重油流出事故

1998



第43代理事長
家森 裕雄
【生年月日】S36.10.6
【入会日】S62.7

役員名簿

●副理事長	中川 嘉隆	林 章浩	上田 聡
●専務理事	宮島 正典		
●室長	和田 信人		
●理事	清水 金幸	若林 茂人	石黒 晋
	沢田 道宏	岩崎 隆一	安藤 正
	清水 善広	山内 章弘	古澤 宏之
	設楽 昌克	森野弥太郎	辻 達也
	馬場 鋭州	西濱 一	富田 晃夫
	土田 裕士	田中 正孝	中川 宰之
	鹿城 律人	林 源栄	小堀 仁
	下村 郁夫	茂森 勇人	沢田 昌宏
	宮川 裕路	為永 義正	中村 浩敏
●監事	石川 欣司	田中 博司	

- 褒章
- 滋賀ブロック協議会「JCづくり推進賞」

MEMORYS

《ログハウスプラン推進事業》
11月8日 集まれ ECO KID'S 地球を救うのは君たちだ!
環境問題に対して、今すぐ出来ることから実践しようという意識を持つことが必要だとの考えのもと、子ども達と共に湖北の自然に触れ、広い視野での問題を具体的な事例として取り上げ、スライドやゲームを通じて訴えかけ、実際に行動することの大切さを感じてもらうことを目的として開催された。

《湖北連邦構想推進事業》
11月15日 北近江秀吉青春大学 城が語る湖北の戦国史～賤ヶ岳城塞群探訪～
自分たちのまちを自分たちで創るという意識の高揚が図れるように直接住民に働きかけ、地域の方々と共に作り上げていくことが出来る事業展開が必要であるとの考えのもと、賤ヶ岳合戦にスポットをあて、柴田勝家の足跡を辿りながら湖北最北端の歴史に触れる熱く開催された。

3月3・6日 熱く語ろう身近な問題点 ～地域主権へのキーワードを探る～
地域主権型社会に向けて長浜JCが推進してきた湖北連邦構想を、今後どのように運動展開するのか、メンバー同士の意識の格差を埋めようと、お互いが腹を割って話す機会として、酒談議も交え開催されました。議論の中で問題意識の共有が図れた事業であった。

7月20日・8月21日・9月1日 98 大夢追部 語ろう湖北の21世紀
夢追部を引継ぎその継続事業として「経済・都市開発」「環境」「歴史・観光」「福祉」の4つのテーマで開催された。立命館大学の高田昇教授やゼミの学生の方々を交えて活発な議論がなされた。

- 《本年度の主な事業》
心・技・体 交通安全セミナー
長浜JCホームページ開設、JC褒賞申請
CCCセミナー ～企業のリーダーが新しい地域を創出する～
FTセミナー 「磨け!感性～体験そして実感～」



城が語る湖北の戦国史～賤ヶ岳城塞群探訪～ 集まれECO KIDS 地球を救うのは君たち!

会員数 **131名**

当時の出来事

- まちづくり役場オープン
- 第1回「滋賀環境ビジネスメッセ」
- 長野オリンピック開催、日本「金」5個

1999



第44代理事長
中川 嘉隆
【生年月日】S35.1.12
【入会日】H3.1

役員名簿

●副理事長	林 章浩	田中 猛士	清水 金幸
●専務理事	石黒 晋	森野弥太郎	
●室長	中村 浩敏		
●理事	古澤 宏之	鳥居 憲治	土田 裕士
	富田 浩徳	平田 勝也	小幡 豊彦
	國友 龍一	畑澤 寿和	野村 義人
	月瀬 毅	若林 茂人	清水 善広
	西濱 一	高木 康之	辻 達也
	伊藤 浩	長谷 浩之	田中智佐人
	田中 博司	川村 博	設楽 昌克
	宮島 浩一	長谷部長一	永井 茂雄
	上田 聡	宮川 裕路	宮島 正典
●監事	和田 信人	岩崎 隆一	

- 褒章
- 日本青年会議所「特別賞」
 - 近畿地区協議会「BEST OF KINKI賞」

MEMORYS

《湖北連邦構想推進事業》
7月13・18日 北近江秀吉青春大学 語ろう湖北のまちづくり ～湖北発 浅井長政 国盗り物語～
8月7・8日 北近江秀吉青春大学 北近江戦国浪漫紀行 ～長政・お市の饗宴～
地域のコミュニティーを支援する事業として、戦国大名浅井長政に着目し、地域の方々と共に講演会や討論会を行なった。浅井長政の足跡を愛というテーマとして、地域の人々に「誇れる湖北の創造」を高め、共創社会へ向けた土壌づくりを目的に再現戦国体感ツアーを開催した。

4月29日 みんなで環境見聞録
地域のことと達と親の親の方々を対象に、環境問題に対する意識の昂揚を図り、日常生活の中で行動に移せる取り組みを知ってもらうことを目的として開催された。夢、現実、行動といったテーマの講義を行ない、企業の環境に対する取り組みを視察して頂いた。エココンサートも開催し、参加者ばかりでなく、広く住民に環境意識を啓発するものとなった。

7月11日 '99 夢追部 湖北サミット～どうする広域行政～
行政が考える地方分権とその受け皿としての広域行政について、各首長の方々と共に公の場で討論し、参加いただいた聴衆とともに長浜JCの考える地域主権を理解してもらうことを目的に開催した。この事業の内容をもとに広く一般に理解していただけるように冊子を作成した。

7月31日・8月1日 ホップ・ステップ・キャンプ～僕らは天空の寺探検隊～
自分の地域に誇りと愛着を感じ、地域の大人達がこども達と触れ合うことの必要性に気づき、こども達が世代を超えた様々な人々と交流し楽しむ世代間交流プログラムとして開催された。「親が動き、地域が動けば、こどもは変わる」と題した事前セミナーを行なった後、学校にてキャンプを実施し、大人とこどもが同じ条件で共通の感動やふれあいを体験する事が出来た。

- 《本年度の主な事業》
第29回滋賀ブロック会員大会主管
自己再発見ウォーキング
バーチャルニュービジネスセミナー～仮想新経営塾～
FTセミナー 「激走!激論!友情!～走ろう!わ湖、語ろう未来～」



'99夢追部湖北サミット～どうする広域行政～ ホップステップキャンプ～僕らは天空の寺探検隊～

会員数 **129名**

当時の出来事

- クリスタルプラザオープン
- 北近江浪漫交流圏委員会設立
- 東海村の核燃料工場で国内初の臨界事故

64年のあゆみ

64年のあゆみ

2000

湖北自立都市圏構想

新しい湖北の確立に向け ひとづくり・まちづくり・環境・地域システムを 包括した社会づくりのための新構想

(社)長浜青年会議所では、「湖北はひとつ」という理念のもと「湖北連邦構想」を提唱し、湖北各地をそれぞれが核であると捉え地域間の連携を目指したまちづくりを推進してきました。そして今、湖北ではその取組みが確実に浸透し、各地において地域の特性を活かした個性を持ったまちづくりが展開され、一つの生活圏、文化圏を織り成しています。

次のステップとしては、これまでに培われてきた個性を尊重しながらも、これからの時代にふさわしい新たな湖北の魅力を創造して必要があります。そのためにはまず住民一人ひとりが主体性を持ち、まちづくりやひとづくり、環境、地域システム包括した湖北のグランドデザインを描き、着実に行動・実践してゆくことが不可欠だと考えます。そしてそれが新たな湖北発の魅力となり広く発信

され、地域内外からの客観的評価が得られることで、各々の運動に対する自信、或いは湖北への誇りに繋がり、地域の活性化と更なる意識の昂揚に結びつくのではないのでしょうか。このような循環は住民の意識や運動に波及し、更に大きな循環を生みます。その過程の中で、住民一人ひとりが個人としても責任を自覚し、家庭や地域で積極的に役割を果たした時、他に例を見ない自立した地域「湖北」が創造されると考えます。

上記のように、湖北の地において、一人ひとりが自分達の住んでいる地域づくりや身の回りの様々な活動に対し明確な目的と責任を持って主体的に取り組む、自信と誇りに満ちた「明るい豊かな湖北」を実現しようとするのが「湖北自立都市圏構想」です。

湖北自立都市圏構想を推進するにあたって

新構想を推し進める柱としてテーマに沿った中期ビジョンを構築します。
中期ビジョンを具現化する為の手法として、3～5年のスパンのアクションプランを策定し、具体的な行動指針とし、事業に継続性を持たせ、意義、成果を明確に出来ることは地域からの運動への理解、浸透が期待できると共に、メンバーの意志の統一にもつながると考えます。



2000



第45代理事長
林 章浩

【生年月日】S37.6.27
【入会日】H2.1

役員名簿

- 副理事長 中村 浩敏(45周年実行委員長) 和田 信人
清水 善広 野村 義人 設楽 昌克
- 専務理事 石黒 晋
- 45周年実行委員会事務総長 田中 猛士
- 理事 高木 康之 杉野 芳和 長谷部長一
山田 栄作 下村 郁夫 森 秀行
畑澤 寿和 矢野 充 廣部宇一郎
植田 徳忠 馬場 鋭州 山田 幸生
宮島 正典 瀧澤 清 月瀬 毅
岩崎 隆一 川瀬 康裕 茂森 勇人
鳥居 憲治 伊藤 浩 南部 厚志
家森 裕雄 笹原 司和 上田 厚聡
森野弥太郎
- 監事 宮川 裕路 平田 勝也

褒章

- 滋賀ブロック協議会「Next One Shiga賞」
- 日本青年会議所「TOYP大賞」

MEMORYS

《創立45周年記念事業 湖北自立都市圏構想推進事業》
6月4日 北近江秀吉青春大学 北近江ラジオ紀行～戦国の里をたずねて～
湖北の戦国史を重要な地域財産と捉え、天下統一を夢見て散って行った武将達の足跡を辿りながら参加者に戦国ロマンを体験して頂いた。また曳山博物館周辺で行う茶室茶座ゾーンでは、城下町の賑わいと、現在の湖北の取り組みを織り交ぜながら湖北各地をラジオで結び、参加者として聴視者に湖北の存在を発信した。
6月17・22日・7月15・27日 Eプロジェクト～すばらしき未来に向けて～

環境に対する意識の昂揚を湖北全域に広げる為、誰でも、何処でも、簡単に実行できる「Eプログラム」を作成し、JCメンバーがファシリテーターとなり、湖北内の8小学校の児童に体験して頂いた。参加小学校の生徒をバネラーに迎えた「子ども環境会議」、企業や自治体、環境団体の方々をバネラーに迎えた「湖北環境会議」を開催し、このプログラムを地域内も含め全国に発信した。
6月24日・7月1日 Cプロジェクト コッチホッチスクール
考えよう子どものこと 大人として地域として
「地域のこどもは地域が育む」という意識の根付いた地域の確立に向け、「提案事業」と「Cプログラム」を両輪に事業を開催した。地域教育の先進事例である秋津小学校での取り組みをテーマにした講演会、長浜北小学校と浅井西小学校を舞台に地域の大人が先生となった授業と「Cプログラム」を盛り込んだコッチホッチスクールを開催し、地域の大人達の意識啓発を行った。
7月9日 夢追部 湖北奮闘フォーラム2000～自立した地域を目指して～
「夢追部」で集約された地域住民の意見をテーマに、コーディネーターに中村敦夫氏、バネラーに1市12町の首長を迎え、フォーラムを開催した。参加者と各首長による活発な意見交換が行われ、地域主権型社会に向けた「新しい湖北」のあり方を再考して頂くための有意義なフォーラムとなった。

- 〈本年度の主な事業〉
LD事業「夢のSO:ZO:に向けて Back to now From the Future」
FTセミナー「汗と徒歩に学ぶ哲学」
45周年記念事業
*創立45周年シンボルマーク作成
*創立45周年記念品の作成・記念誌の発行



北近江ラジオ紀行～戦国の里をたずねて～ Cプロジェクト コッチホッチスクール

会員数 **127名**

- 当時の出来事
- 曳山博物館オープン
 - 南北朝鮮首脳が初の会談
 - 白川英樹にノーベル化学賞

2001



第46代理事長
中村 浩敏

【生年月日】S42.6.20
【入会日】H2.7

役員名簿

- 副理事長 田中 猛士 辻 達也 長谷部長一
鳥居 憲治 畑澤 寿和
- 専務理事 森野弥太郎
- 理事 川瀬 康裕 平野 勝之 石黒 晋
橋本 宏之 英宗 鈴木 厚
家森 裕雄 早田 斉 中川 義明
上田 辰則 矢野 充 古川 政博
安藤 正 赤尾 栄司 宮島 浩一
佐藤 硬史 上田 聡 土田 裕士
田中智佐人 下村 郁夫 笹原 司和
平田 勝也 南部 厚志
宮島 正典 設楽 昌克 野村 義人
- 監事 清水 善広 中川 宰之

褒章

- 近畿地区協議会「BEST OF KINKI賞」
「ひとづくり推進賞」

MEMORYS

《湖北自立都市圏構想推進事業》
6月30日 ～エコ・アップ・セミナー～Eプログラム21
グリーンファイバーへの旅立ち
小学生やその周辺地域住民の方々と共に、地域住民として出来る環境啓発ツールとして「Eプログラム21」を実施体験して頂いた。環境問題に対する湖北住民としての責任と自覚をもって頂くことが出来た。

8月4日 コッチホッチコミュニティー ボーラジョーラの夏
こどもたちの創造性・自主性を育みながら学校、PTA、地域の人々が連携し、共に事業を組み立ていき、大人とこどもがふれあう大切さを実感できた事業であった。またCプログラムを提案事業の中で利用するスタイルをとることで事業終了後、提案事業の流れ・Cプログラムを手引き書として冊子にし、地域のこどもは地域が育むという意識を各地域に向け発信することができた。

10月21日 北近江秀吉青春大学 北近江ラジオ紀行
Let's俳句ing ～伝えたい十七文字に想い込め～
湖北の豊かな自然と歴史ある町並みを俳句という表現方法を用いて、KBSラジオの電波に乗せて地域内外に広く発信した。旧街道宿場町に育まれた柏原コースと木之本コースの地域財産を掘り下げて深く学ぶ風土の大学として参加者に湖北の歴史、自然、文化を体験して頂くと共に地域住民の心温まるもてなしで湖北の魅力に十分に感じて頂いた。

11月18日 湖北創世フォーラム
～明日の湖北を考える 合併そして自立～
「自分たちの地域は自分たちの手で創る」という住民自治意識の根付いた湖北を構築し、地域間競争社会を生き抜く為の湖北全体のまちづくりの方向性、行政、地域住民の役割を考えるという趣旨のもと開催された。参加者には新しい地域運営のあり方として官民それぞれの役割を明確にし、地域運営を行なっていくことの必要性を強く訴えかけることが出来た。

- 〈本年度の主な事業〉
LD夢道場「信賴の絆で築こうリーダーシップ
フィールドに新時代のチームワークを学ぶ」
FTセミナー「意・心・体への挑戦 一日回峰行 in 比叡山」



公開例会(山口良治氏) 北近江ラジオ紀行 Let's俳句ing

会員数 **121名**

- 当時の出来事
- グリーンコンシューマー推進事業
 - 米中支部に同時多発テロ
 - 野依良治にノーベル化学賞



2002

第47代理事長
田中 猛士

【生年月日】 S40.2.21
【入会日】 H3.1

役員名簿

- 副理事長 森野弥太郎(近畿地区会員大会実行委員長)
- 専務理事 野村 義人 廣部宇一郎 月瀬 毅
- 理事 設楽 昌克
- 理事 富田 浩徳 杉野 吉成 川瀬 之洋
- 理事 畑澤 寿和 辻 達也 土田 裕士
- 理事 上田 聡 高木 啓至 今井 朋子
- 理事 橋本 英宗 宮島 浩一 福井 敏之
- 理事 古川 政博 中川 博晶 佐藤 硬史
- 理事 田中智佐人 南部 厚志 上羽 輝明
- 理事 小幡 豊彦 馬場 鋭州 早田 斉
- 理事 峰 覚雄 村田 寿郎 田 章浩
- 理事 大塚 英和 長谷部長一 鳥居 憲治
- 理事 石黒 晋 和田 信人

褒章

- 滋賀ブロック協議会「グランプリ」

MEMORYS

《湖北自立都市圏構想推進事業》
「夢ある湖北合併フォーラム」 「座・夢追部 住民役の合併会議」 「夢追部」「フォーラム」という手法を用い湖北の住民自治意識のボトムアップを促すと同時に合併に対する住民の「生の声」を首長、行政、湖北住民の方に伝えるという思いのもと「座・夢追部」を地域ごとに4回に分けて開催した。
10月6日 北近江ラジオ紀行 癒しの湖北路ふれあいウォーク
～湖北が生んだ偉人たちの記憶～
北近江の偉人を取り上げ、その功績やエピソードを紹介しながら4つのウォーキングコースを設け、魅力溢れる充実した内容を楽しんで頂いた。湖北の自然、歴史的財産、伝統文化を肌で感じて頂き、その魅力を再発見、再認識すると共に、湖北の素晴らしさを広く内外へ発信した。
8月3・4日 コッチホッチコミュニティ
つかみとれ!僕らのワンピース～共に生きる力を育む夏～
大震災が発生したという想定で、消防車による救出作業の実演、大人と子どもが協力しての消火リレーやドラム缶風呂等を体験した。この事業を通じて、地域の連携やコミュニケーションの大切さについて参加者の認識が深まり、学校と子ども、そして地域の大人たちとの触れ合いを深めて頂くことが出来た。「地域の子供は地域が育む」という意識が高まっていくと確信した。
9月23日 リサイクルシティ めざせ環境マスター
～エコ路地タウンIN木之本～
事業に先立ち「エコ路地セミナー」を行い、Eプログラム企業版を木之本町商工会の皆様にご体験して頂いた。環境意識の向上を目的としたこのセミナーを経験していただいたことが、本事業に参加される中で生かされ、楽しんで環境を学ぶことで、参加者も協力者も喜んでいただけた。

《本年度の主な事業》
経営塾 「First Step Action ～夢の実現に向けて～」
FTセミナー 「歴史・自然の我がふるさと湖北」ぐるっと自転車体験記
21世紀第1回近畿地区会員大会



21世紀第1回近畿地区会員大会 コッチホッチコミュニティ

会員数 **122名**

- 米原町で全国初の合併を問う住民投票
- サッカーW杯日韓共催
- 小柴昌敏にノーベル物理学賞、田中耕一にノーベル化学賞



2003

第48代理事長
森野 弥太郎

【生年月日】 S40.10.30
【入会日】 H7.1

役員名簿

- 副理事長 設楽 昌克 宮島 正典 土田 裕士
- 専務理事 佐藤 硬史 橋本 英宗
- 理事 鳥居 憲治
- 理事 福井 敏之 廣部 明年 月瀬 毅
- 理事 鈴木 厚 村田 寿郎 高山 達也
- 理事 伏木与司広 上羽 輝明 鹿城 律人
- 理事 笹原 司和 深見 桂司 下村 郁夫
- 理事 今井 朋子 和田 信人 杉野 吉成
- 理事 高宮 裕作 廣部宇一郎 上田 泰之
- 理事 山田 幸生 赤堀 泰久 大塚 英和
- 理事 川尻 浩史 和田 洋典 畑澤 寿和
- 理事 富田 浩徳 中村 浩敏
- 理事 小西 善生 辻 達也

褒章

- 滋賀ブロック協議会「グランプリ」

MEMORYS

《湖北自立都市圏構想推進事業》
5月8日 「憧れのまちを目指して」
～リノベーション会議がまちを変える～
地域文化と地域経済が結合した結果生まれる「地域ブランド」に焦点を当て、長浜青年会議所と共に、未来なごはま市民会議、長浜商店街連盟、まちづくり役場、黒壁、クラブDJの方々から連携して実行委員会を組織し、地域ブランドについて様々な角度から検証する事業を開催した。
7月26・27日 「Eプログラム環/環体験版」
Eコ・アドベンチャー～君はどこまでたどりつけるか～
個人・地域・企業の互いの役割を明確にし、補完・連携し合いながら環境問題に取り組んでいくためには、一つの環に確立することが何よりも大切だと気づき、「環境先進地域湖北の確立」という同じ目的のために共通認識を持って行動を起こす為の形を明確にすることが出来た。
8月3日 「コッチホッチコミュニティⅣ サークルクエスト」
～生きる力を探る旅～
「モラル」を切り口として、対象を地域との関わり合いが一番希薄と思われる中・高・大学生にまで広げて企画及び運営に参加いただき、ロールプレイングゲームのように様々な場面を体験していく本事業が開催された。幅広い年代が運営に関わることで新たなコミュニケーションが生まれ、地域の子どもたちを取り巻く青少年育成の意識をさらに深く浸透させることが出来た。
9月28日 「北近江ラジオ紀行 こころの故郷ウォーキング」
～秀吉も愛した湖北の魅力～
市制60周年実行委員会、北近江浪漫交流圏委員会を核に実行委員会を組織し、地域の住民・団体が広く運営に加わることで参加者に豊臣秀吉の出世街道の原点ともいえる湖北の様々な資産と日本人の原点である心のふれあいを体感して頂いた。

《本年度の主な事業》
「ひらけ!発想力」～あこがれキャンパス2003～
FT事業「JCの空 東海道中JC栗毛」



北近江ラジオ紀行 こころの故郷ウォーキング Eプログラム環/環体験版 Eコアドベンチャー

会員数 **120名**

- 長浜市で合併を問う住民投票
- SARS集団発生
- バイオビジネス創出研究会設立



2004

第49代理事長
設楽 昌克

【生年月日】 S40.11.29
【入会日】 H6.1

役員名簿

- 副理事長 鳥居 憲治 小西 善生 矢野 充
- 専務理事 村田 寿郎 鹿城 律人
- 理事 畑澤 寿和
- 理事 小幡 豊彦 奥長 克史 廣部宇一郎
- 理事 大橋清太郎 赤堀 泰久 茂森 勇人
- 理事 田中 猛士 辻井 昌幸 和田 洋典
- 理事 松居 利彰 廣部 明年 高山 達也
- 理事 岡本 武三 高宮 裕作 植野 信行
- 理事 鈴木 厚 上田 泰之 柴田 清行
- 理事 伏木与司広 藤林 英孝 中川 博晶
- 理事 山田 幸生 速水 一生 近藤 澄人
- 理事 上羽 輝明 中村 浩敏 月瀬 毅
- 理事 宮島 正典 長谷部長一

褒章

- 滋賀ブロック協議会「グランプリ」

MEMORYS

《湖北自立都市圏構想推進事業》
7月31日 コッチホッチコミュニティV それ行け!地域のふれあいマーケット ～あきんど隊が行く～
「地域のこどもは地域が育む」というコンセプトのもと、次代を担う中高生を事業の中心として幅広い世代とふれあい・繋がりを深めることを目的に開催した。サイエンスをテーマにした「Cプログラム」を通して地域の大人とこどものふれあいを生み出す事業となった。
8月28日 「エゴからエゴへ～一滴の心から～」Eプログラム2004
環境意識の更なる向上を目指し気軽に環境活動の第一歩を踏み出す一助となる環境推進事業を開催した。Eプログラムでは湖北の自然環境の美しさと危機的状況を確認し環境意識の昂揚が図れ、びわ湖の環境保全をテーマに湖北の自然と触れ合う中で、自然環境の尊さを感じてもらうことができた。
9月5日 「北近江ラジオ紀行 湖北新風土記」
～歴史を彩る湖北の源流を歩く～
歴史や伝統文化に育まれた各地の運動や郷土愛の個性豊かな取り組みをつなぎ合わせ、主体性をもったひとつのものとして創造し、広く発信することを目的としたまちづくり事業を開催した。参加者は湖北の新たな魅力を再発見し、地域住民とのふれあいにより、活発なまちづくり運動やネットワークに繋がった。
10月9日 2004 湖北ゆめフォーラム～どうなる湖北、どうする未来～
市町村合併問題で混沌とした状況の湖北だからこそ、「湖北はひとつ」とあるという精神的な一体感を持ち続けることが重要であるとの考えで菅原文太氏、湖北の各首長を迎え開催した。フォーラムでは合併問題、これからの湖北に必要なシステムについて熱い議論が湖北くくりで議論された。

《本年度の主な事業》
会頭LOMサーピス
FTセミナー「2004 FTセミナーJC紀行」近江をめぐる旅
～誇り高きガリバー達～



2004湖北ゆめフォーラム コッチホッチコミュニティV

会員数 **116名**

- 米原町・山東町・伊吹町合併に調印
- アテネオリンピック開催、日本メダルラッシュ
- 北朝鮮拉致被害者の家族が帰国



湖北力再生マスタープラン

素晴らしい湖北を確立するため
地域創造・地域経営・地域教育を基に湖北を
総合的にマネジメントするための新計画

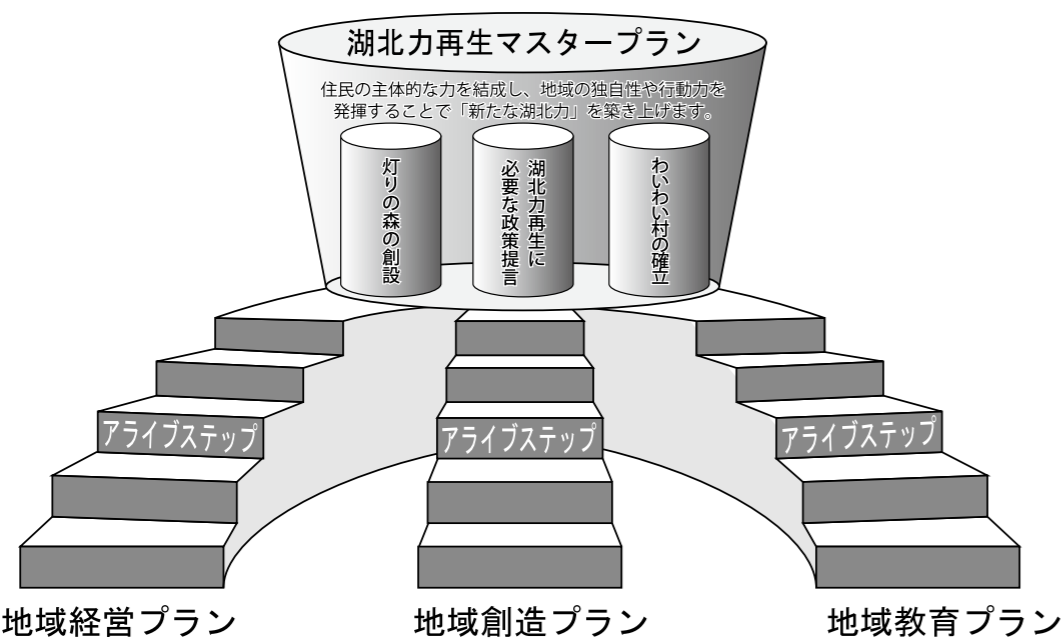
湖北力再生マスタープラン

地方分権の流れの中、新しく動き始めていく湖北の各地域において、そこに住む住民の意識としては、これからますます湖北という概念が薄らいでいくかもしれない状況が危惧されます。そこで、これからの湖北が生まれ変わるべく、いままでからある住民自身の力や様々なつながりを、今までよりも更にステップアップした素晴らしい地域として各地域を強固に連携し発展させていくこと、つまり再生させることこそが必要です。枠組みとしてのつながりではなく住民レベルでの地域のつながりを高め、「湖北力」の持つ限らないポテンシャルを遺憾なく発揮し、湖北としての独自性や行動力を持ち、多面的で戦略的な地域運営を青年会議所が先頭に立って実現する必要があります。

湖北全体を総合的に機能させ、継続的に地域益を追及することで物質的にも精神的にも豊かさや余裕が生まれるよう、湖北を総合的にマネジメントしていくことが「湖北力再生マスタープラン」なのです。

湖北力再生マスタープランの実現に向けて

私たちの運動もこれまでのように意識への投げかけから行動を導こうとする展開へと、私たち青年会議所自身が地域に対して目標をたて、実現に向けて行動する団体として活動する中で、その牽引役を担わなければなりません。そのために全ての運動を、達成期限を定めた具体的な運動公約「プラン」として位置づけ、3つの具体的な目標を設置します。それぞれのプランには、達成に向け5年という期間を区切り、毎年達成するべき課題を設けた「アライブステップ」を策定し、年度毎にその成果を広く提示します。このように毎年確実に成果を残す事業を展開することで事業の統一性が持て、行動する上で責任のある立場となり、地域からも更に理解されしっかりと浸透させることができます。また着実な運動の実現は、地域に内在する様々な要求を顕在化し、新たなプランとして人々が具現化しようとする行動を牽引し、更に大きな市民による「マスタープラン」として進化する可能性を持つと考えます。



第50代理事長
鳥居 憲治

【生年月日】S44.9.11
【入会日】H7.7

役員名簿

- 副理事長 畑澤 寿和 中川 博晶 和田 洋典
- 専務理事 今井 朋子 上田 泰之
- 理事 鹿城 律人 村田 寿郎
- 理事 下村 郁夫 北川 人士 和田 洋典
- 理事 川合 勇人 松居 利彰 小幡 豊彦
- 理事 山口 里佳 奥長 克史 横田 亨
- 理事 土田 裕士 小澤 典博 高橋 康之
- 理事 岡本 武三 福井 敏之 藤本 尚希
- 理事 大橋清太郎 藤林 英孝 森野弥太郎
- 理事 西川 政宏 近藤 澄人 下村 郁夫
- 理事 松村 英祐 辻井 昌幸 福永 諭介
- 理事 橋本 英宗 中村 浩敏 田中 猛士
- 監事 月瀬 毅 廣部宇一郎

褒章

- 滋賀ブロック協議会「準グランプリ」

MEMORYS

《湖北力再生マスタープラン推進事業》

8月6日「灯りの森」創設事業

05灯りのArt感〜灯りと芸術が地域の和を結ぶ〜「地域経営プラン」として「灯りの森」の創設事業が行われた。灯りの森の創設とは、芸術のもつ美しさと地域のもつ美しさを、住民の灯りの灯火によって融合させ新たな資産として根付かせることで、地域の魅力を高め、灯りを作る人、灯す人、そしてそれを見る人々の思いをひとつにすることが、大きな感動となって戻ってくることを多くの住民に体感して頂いた。

8月20・21日「わいわい村」推進事業

八二 come ひまわり塾〜真夏の体験〜地域のこどもは地域が育むことの大切さを浸透させる事を目的に、幅広い世代が子ども達とふれあえるプログラムを実施した。中高生がリーダーとなり1泊2日の集団生活で寝食を共にしながら、ぬか漬体験や近隣住居での「もらい湯」を経験し、感謝と礼儀を学ぶと共に地域の温かさを感じてもらい、世代を超えた交流によって、連帯感や達成感など多くを感じるこの出来る事業となった。

8月28日「湖北力再生に必要な政策提言」推進事業

湖北力再生会議〜あなたの明るい未来の為に〜地域創造プランでは、これから地域に必要なと思われる事を政策提言し、未来ながはま市民会議で委員会を組織し、運動を展開していった。第1部ではパネルディスカッションを行い、第2部の記念講演では田中康夫氏にご講演頂き、行政まかせでなく住民一人ひとりが身近なところから活動する事の必要性をご来場の方に感じて頂いた。

<本年度の主な事業>

- LD事業「Business Revolution!」
- FTセミナー「思いの源流を求めて〜自然 JC そして己〜」
- 50周年記念事業
- ※創立50周年シンボルマークの作成
- ※創立50周年記念品の作成・記念誌の発行



「灯りの森」創設事業



湖北力再生会議

会員数 **113名**

- 山東町、伊吹町、米原町の合併により米原市が発足
- 日本国際博覧会「愛・地球博」開催
- 京都議定書発効



第51代理事長
畑澤 寿和

【生年月日】S45.10.4
【入会日】H9.7

役員名簿

- 副理事長 鹿城 律人 廣部宇一郎 松居 利彰
- 専務理事 大塚 英和 伏木与司
- 理事 村田 寿郎 伏木与司
- 理事 下村 郁夫 北川 人士 和田 洋典
- 理事 山田 幸生 北川 稔洋 高橋 康之
- 理事 粉山 純一 森居 弘 藤本 尚希
- 理事 松井 真人 赤堀 泰久 東野 司
- 理事 西川 政宏 土田 裕士 三好 武夫
- 理事 中村 浩敏 大神 信也 松村 英祐
- 理事 上田 真廣 山口 竹志 宮島 正典
- 監事 川島 直広 佐藤 硬史
- 監事 上田 泰之 矢野 充

褒章

- 日本青年会議所 人間力大賞「会頭特別賞」
- 滋賀ブロック協議会「グランプリ」

MEMORYS

《湖北力再生マスタープラン推進事業》

〜新長浜駅舎改築記念イベント〜実行委員会設立

8月26日 湖国灯火祭 2006

10月14日〜21日 テックコンサート 2006

11月25・26日 一豊公・千代様キャンペーンファイナルイベント 北近江一豊・千代博覧会やJR直流化イベントとのタイアップを、灯りの森を広く多くの人々に発信する好機と捉え、各イベントの実行委員会の設立に参画し、灯りをテーマにした『湖国灯火祭 2006〜北近江千夜一夜物語〜』、ステーションフェスタ〜愛と灯りのテックコンサート〜、一豊公・千代様キャンペーンファイナルイベントの3回の灯りのイベントを開催した。8月26日の灯火祭では噴水周辺をメイン会場に公園内に10,000個の玉燈を灯し、愛と癒しの空間を演出し、10月14〜21日のテックコンサートでは多彩なジャンルのアーティストに出演して頂き、玉燈の灯りと歌のコラボレートで多くの人々を魅了した。19日間の灯りのイベントで参加者や自治体、地元企業からも継続の期待が寄せられ、地域に広く感動を与えられた事業となった。

9月30日「わいわい村」推進事業

「地域の宝」こんなにあるある探検隊

新たな地域への広がりを目指し、「ゆっくり、ゆったり、心豊かに」というスローライフをキーワードに、地域の人や自然、食を通じた文化といった地域特性を生かした事業を行った。子どもたちには地域の方々や触れ合いの中から、協調性や思いやりの心を育み、地域の方々には活き活きとした子ども達の姿に触れ、新たな感動と共に、地域全体で触れ合うことの大切さを体感して頂く事が出来た。

<本年度の主な事業>

- LD事業
- 「はっちゃけ道場 ハツとして グッと来て 動 (Do)」
- FTセミナー
- 「JCへの結願〜湖北路から“心” JCへの誓い〜」



テックコンサート2006



こんなにあるある探検隊

会員数 **105名**

- 新長浜駅舎開業
- 大河ドラマ 功名が辻の放送
- 1市2町合併により新長浜市が発足(旧長浜市、浅井町、びわ町)
- WBC日本初代世界一
- ドイツW杯開催

2007



第52代理事長
鹿城 律人
【生年月日】 S44.6.21
【入会日】 H7.1

役員名簿

●副理事長	村田 寿郎	下村 郁夫	高橋 康之
●専務理事	赤堀 泰久		
●理事	伏木与司広		
	辻井 昌幸	森 忠男	中山 典久
	福永 諭介	東野 司	高宮 裕作
	上田 貴麿	中村 浩敏	国友 清貴
	河島 直広	加藤 貴純	大神 信也
	平尾 道善	竹田 純	鳥居 憲治
	廣瀬 直樹	笹原 司和	渡辺 浩之
	森居 弘	矢野 充	渡邊重三郎
●監事	中川 博晶	利彰	土田 裕士

褒章

●滋賀ブロック協議会「グランプリ」

MEMORYS

〈湖北力再生マスタープラン推進事業〉
7月28日 灯りの森 2007 実行委員会設立
「灯りの森 2007」～人夏恋心 二万個の灯りと共に・・・
灯りの森創設におけるアライブステップを見直し、「灯りの日の制定」に特化した運動展開を行いました。これまでの事業の開催により、湖北地域に「灯り」の魅力が浸透しつつある状況を受けて、今回は2万個の灯りを使用して圧倒的とも言えるファンタジックな空間を創出し、地域住民に対し「灯り」の魅力を決定的に印象付けることに成功し、「灯りの日の制定」に向け大きな一歩を踏み出すことができた。今回、広く募集した「灯りサポーター」約50組が2万個の灯りの内、大部分の配置、点灯、撤収を行ったことにより、青年会議所主体の事業から住民参加型事業へと劇的に変貌を遂げ、大いに注目されるモデル事業となり、行政や観光協会からは滞在型観光の一翼を担える事業として湖北地域に経済効果をもたらす事将来を期待されることとなった。
8月25・26日 中高生わいわい村推進委員会設立
「わいわい村 2007」
～みんなのチカラ まちへの想いをカタチに～
中高生が核となって地域のことを考え、その想いを形に変えるために協力しながら活動できる組織として、中高生わいわい村推進委員会を設立した。企画から提案までを自分達ですることにより参加者側から運営側へと意識が大きく転換し、積極果敢に活動してもらうことが出来た。事業当日は多くの人に馴染みのある「ドミノ倒し」を用いて、初めて出会った人とも協力して取り組むことが出来、世代間交流がさらに深まった。中高生はこれまで以上に人間関係を形成することに対して強い関心を持つことが出来、まちづくりへの参加や地域の人々との交流の素晴らしさを実感していただけた。

＜本年度の主な事業＞
LD事業「Just Do it!! ～未来を見据えて進む為に～」
前期FTセミナー「禅の世界から学びそして自己確立へ」
後期FTセミナー「山駆けて想いをぶつけるJCへ」



灯りの森2007出演ルックブル わいわい村2007ドミノ倒し

会員数 **116名**

当時の出来事

- 90年ぶりに長浜八幡宮に曳山12基が勢ぞろい
- 2008年サミットの開催地が北海道洞爺湖に決定
- 石川遼がゴルフで史上最年少15才で初優勝

2008



第53代理事長
村田 寿郎
【生年月日】 S48.2.15
【入会日】 H12.7

役員名簿

●副理事長	伏木与司広	大神 信也	福永 諭介
●専務理事	上田 貴麿		
●理事	佐藤 硬史		
	西川 政宏	吉田 直人	前畑 良道
	中川 博晶	鳥居 憲治	伊吹 公宏
	渡辺 浩之	山田 浩之	岡本 武三
	廣瀬 直樹	小澤 典博	国友 清貴
	村中 勝正	木村 元	畑澤 寿和
	橋本 和泰	竹田 純	上羽 輝明
	加藤 貴純	下村 和幸	北川 雅英
●監事	和田 洋典	高橋 康之	
	下村 郁夫	大塚 英和	

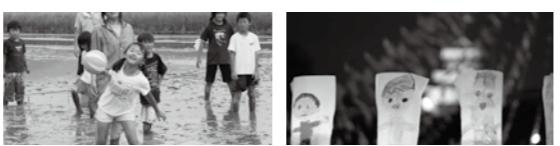
褒章

●滋賀ブロック協議会「準グランプリ」

MEMORYS

〈湖北力再生マスタープラン推進事業〉
7月26・27日 わいわい村推進委員会「わいわいスペース 設立」
「わいわい村 2008」
仲間には宝トレジャーミーティング!! ～Doッちしょ～
自立・共生・チャレンジをテーマに自らが主体となって会議などを行う中高生わいわい村推進委員会「わいわいスペース」を立ち上げた。地域の各学校からの参加者と、昨年度の参加メンバーであったOBにも賛同・参加してもらい、高校生を牽引する重要な役割を果たしてもらった。わいわいスペースを重ねていく中で、彼らは地域に対する思い、自分達の育まれた地域の将来、そして今自分達が出来た事を語り合い、地域と世代を超えた友情を育むと共に、次代の担い手として大きく成長していただいた。事業2日間に亘りわいわいスペースが事業を運営し、事業を通して参加者全員が強い団結力で繋がり、高校生達も地域の一員としての役割、世代間交流の大切さ、楽しさを実感して頂く事が出来た。
8月2日 灯りの森 2008 実行委員会設立
「灯りの森 2008」
～心(ハート)に灯をつけて healing our KOHOKU～
私達が中心となって各種団体の方々を構成メンバーに「灯りの森 2008 実行委員会」を設立し、8月2日長浜豊公園にて湖北の小学生や幼稚園児達が作成したペットボトルの灯り「湖北光輪」をはじめ3万個の幻想的な灯りの空間を演出し、灯りの日の制定への想いを県内外から5,000人を超える来場者の心に効果的に浸透させる事が出来た。また、事業全体を家族愛、地域愛、環境問題などの身近なテーマで包んでいることを事前のPR段階から訴えかけることによって、単なる「灯り」や「灯りの持つ魅力」だけではなく湖北全体への地域浸透や住民による自主運営を目指したものであることを参加・参画して頂く多くの方々に感じて頂くことが出来た。

＜本年度の主な事業＞
LD事業「For The Future 社会と共に目指す未来」
FTセミナー「北国協往還 郷土料理をめぐる」



～Doッちしょ～ 灯りの森2008

会員数 **104名**

当時の出来事

- 黒壁誕生20周年
- 北京オリンピック開催
- 洞爺湖サミット開催

2009



第54代理事長
伏木 与司広
【生年月日】 S48.7.21
【入会日】 H13.1

役員名簿

●副理事長	上田 貴麿	西川 政宏	加藤 貴純
●専務理事	渡辺 浩之		
●理事	大塚 英和		
	岡本 武三	北村 久雄	中原 幸嗣
	高橋 康之	森内 建樹	矢野 淳
	伊吹 公宏	畑澤 寿和	中村 彰
	山田 浩之	川瀬 之洋	森居 弘
	鳥居 憲治	今村 潤	鹿城 律人
	大澤愛一郎	木村 元	森 忠男
	前畑 良道	伊藤 斉	伊藤 和真
	佐藤 硬史	辻井 昌幸	和田 洋典
	国友 清貴	大神 信也	福永 諭介
●監事	中川 博晶	上羽 輝明	

褒章

MEMORYS

〈湖北力再生マスタープラン推進事業〉
6月20日 中学生シンポジウム
10月31日「わいわい村 2009」
～地域再発見! 上丹生もくもくフェスタ～
過去4年間では、地域全体で子ども進を育む為には中高生を中心とする中間世代の力が必要である事を訴え、その中間世代が秘める力を引き出すことに焦点を当てた運動を行って来ました。そして集大成となる本年は、意識の投げかけ事業と実践事業の2回に分けて事業開催を行った。この事業により中学生自身も地域の良さを再認識し、地域への愛着、帰属意識を育む事が出来た。
10月31日 灯りの森 2009 実行委員会設立
「灯りの森 2009」絆～湖北はひとつ～
長浜青年会議所主導で展開してきた灯りの森創設事業を、地域の住民の方々の主導へと移行すべく設立した実行委員会では、今年度から新たに参画して頂いた方々も交え、「灯りの日」を制定した事や「灯りの森創設」に向けた行動の発信に更なる重点を置いた成果もあり、湖北各地への拡がりに繋げる事が出来た。灯り、アーティスト、物販全てにおいて地域に住む人たちが中心となり事業を盛り上げて頂いた事も、地域への浸透を一層深める事になった。
11月15日 新湖北創造フォーラム
～長浜が変わる・私達が変わる～
地域主権確立に向け私達はこれまで様々な活動を行い、そして間近に控える合併は、これらを更に進化させる絶好の契機であり、一人ひとりが意識を持って地域連携を図っていく事が重要であると考え、合併を契機とした新たな可能性に向けて、主権者である住民の目覚めを促し、住民と行政・地域と地域の連携による真の協働自治を築く事を目的としたフォーラムを11月15日に開催した。

＜本年度の主な事業＞
第39回滋賀ブロック会員大会主管
LD事業「Yes We Can!!
～よっしゃ! やったるでえ 新たな次のステップへ～」
FTセミナー「学び舎 JC!! ～先輩からの道標～」



中学生シンポジウム 灯りの森2009 絆～湖北はひとつ～

会員数 **109名**

当時の出来事

- ドイツ、アウグスブルク市と姉妹都市提携50周年
- 裁判員制度開始
- WBC日本が連覇 ●政権交代 自民党から民主党へ

2010

湖北コア・イノベーション構想

独自の新たな価値が湖北を変える！
人・もの・情報の活発な交流により
地域力を高め 独自の新たな価値を創り出す
日本一元気なまち湖北を目指そう

この湖北を日本一元気なまちへと導くために、今私達が取り組むべき最優先の課題は、湖北の地域力を高め、継続的に発展していける社会環境を構築することです。私達が掲げる「湖北コア・イノベーション構想」は、新しい風、つまり湖北内だけではなく他地域からの人・もの・情報の活発な交流に取り組み、これまでにない独自の新たな価値を創り出していく湖北の実現を目指したものです。様々な人と人、地域と地域が手を取り合い、それぞれの個性を活かした交流により、新たな発想を生み出し、魅力や可能性を磨き輝かせ、地域力を高めていく事が出来るまちへと導くのです。

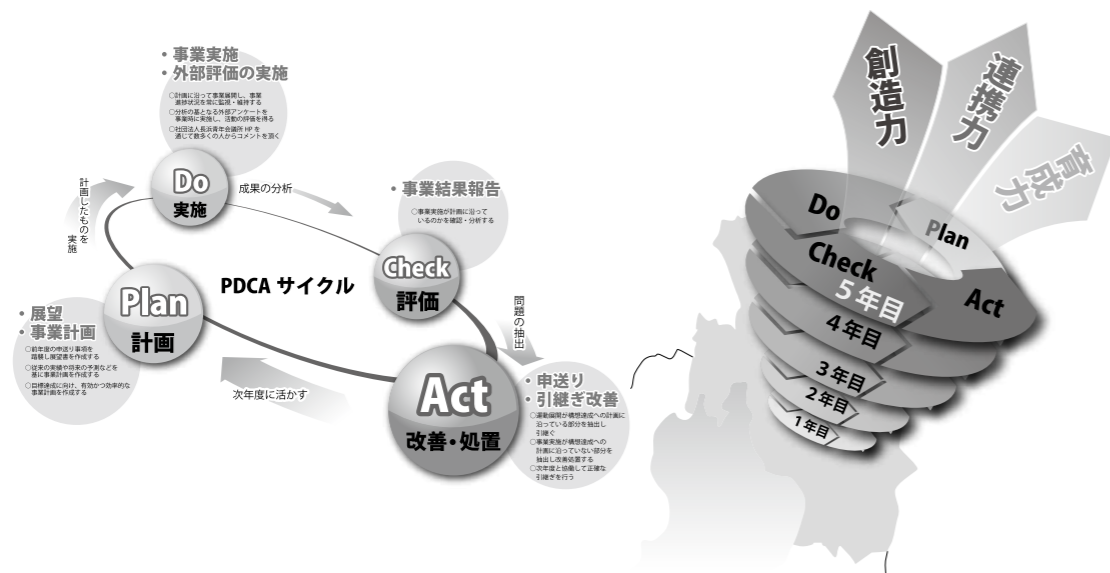
この構想の達成に向け、地域力を高める核となる以下3つの力に焦点を当てたプロジェクトを活発に促進した。

- ・湖北経済の発展につながる未来の戦略構築をする創造力
- ・コミュニティの垣根を超え湖北16万人の心をひとつにする連携力
- ・社会情勢に流されない確固たる地域基盤を確立する育成力

これら3つの力が醸成された湖北は、独自の経済や文化の継続的な発展が遂げられ、地域力を更に高めることができ、まちに大いなる元気を生み出します。独自の新たな価値を創り出す、活気溢れるまちこそが日本一元気なまちです。その為の人・もの・情報の活発な交流を促進し、どこにも無いここだけの新たな価値を創り出すことの出来る、日本一元気なまち「湖北」を目指す事が、これからの湖北を担う我々の使命であると考え、積極果敢な運動を展開しました。

リーディングプロジェクト

湖北コア・イノベーション構想 実現に向けたイメージ



2010



第55代理事長
上田 貴麿

【生年月日】 S.45.4.22
 【入会日】 H16.1

役員名簿

- 副理事長 佐藤 硬史(創立55周年実行委員会 実行委員長)
 国友 清貴 竹田 純 岡本 武三
- 創立55周年実行委員会 事務総長 大神 信也
- 専務理事 高橋 康之
- 理事 廣瀬 直樹 松波 和幸 高宮 裕作
 影山 学 伊藤 斉 畑澤 寿和
 森居 弘 伊藤 和真 中川 博晶
 小西 茂樹 中原 幸嗣 山口 隆弘
 大澤愛一郎 山口 竹志 山田 剛
 村田 寿郎 原馬 淳一 中村 彰
 中村 直樹 森内 建樹 伊藤 雅雄
 松村 洋明 和田 洋典 渡辺 浩之
- 監事 笹原 司和 加藤 真範

褒章

- 滋賀ブロック協議会「準グランプリ」

MEMORYS

《湖北コア・イノベーション構想推進事業》
 7月17・18日「Let's learn the kohoku 2010」
 [第1部] 元気 MORIMORI アドベンチャー～
 [第2部] 座談会!
 湖北地域が一体となって湖北らしさというものを自らが学び、しっかりと次世代の子ども達に継承する。その子ども達が自立した成人へと導く事の出来る地域基盤の確立を目指すことを考え、「地域の子供達は地域で育む」という共通理念のコンセプトから更に踏み込み、子ども達の真の自立心を育むことの大切さを地域に投げかけ、育成力を高める為、様々な体験・交流の中から私達大人が子ども達と共に湖北を学び、見つめ直すことが重要と考え事業を開催した。

8月7日 湖北ジョイントフェスタ2010～音の輪 人の和 湖北の心～
 湖北を日本一元気なまちにする為に「連携力」を確立するという視点で、誰もが共感でき、誰もが身近に接している音楽を切り口に、コミュニティの垣根を超え湖北16万人の心をひとつにする運動を実施した。
 若い世代を中心に、自分達が輝ける場所を自分達の手で作りたいという思いの基「ジョイントフェスタクラブ」をつくり、ジョイントフェスタミーティングと題しその中で熱い議論を交わし、また事業に向けての宣伝活動や、ポスター配布、タイムテーブルの作成、会場設営計画など、様々な活動と一緒に取り組んでいただくことが出来た。

9月5日 地域経済発展フォーラム2010～国際化が湖北を変える～
 地域の資産、資源を更に活かし、新たな視点で湖北を再発見する必要があるとの考えから9月5日に長浜バイオ大学にて「地域経済発展フォーラム2010～国際化が湖北を変える～」と題してフォーラムを行った。フォーラムを通して、経済発展に向け湖北に国際化という新たな視点が浸透するきっかけとなる素晴らしい事業となった。

＜本年度の主な事業＞
 LD事業「緊急伝説!ホスピタリティのススめ～ほめるにこだわる経営術～」
 FTセミナー「GO!(江)～JC達の戦国～」



元気MORIMORIアドベンチャー～ 地域経済発展フォーラム2010～国際化が湖北を変える～

会員数 **108名**

- 当時の出来事
- 新長浜市の発足により市の面積は県内一となる
 - 東北新幹線八戸・新青森間開通
 - 小惑星探査機「はやぶさ」が地球に帰還

2011



第56代理事長
佐藤 硬史

【生年月日】 S49.2.8
 【入会日】 H11.1

役員名簿

- 副理事長 高橋 康之 森居 弘 森内 建樹
 中村 彰 伊藤 和真
- 専務理事 中村 洋典
- 理事 松村 英祐 福永 貴之 松村 洋明
 竹備 大祐 田中 克宜 今村 潤
 竹田 純 花澤 道春 中村 直樹
 加藤 真範 中村 和彦 伏木与司広
 国史 矢野 淳 中村 明博
 山田 剛 川合 里佳 小澤 典博
 磯崎 徹 原馬 淳一 松居 悟
 廣瀬 直樹 西川 雅宏 岡本 武三
 大塚 英和 伊藤 斉
 村田 寿郎 国友 清貴
- 監事 村田 寿郎 国友 清貴

褒章

- 滋賀ブロック「準グランプリ」

MEMORYS

《湖北コア・イノベーション構想推進事業》
 7月30・31日みなみはま冒険王国!つなげワンピース!湖北の宝 総勢86名の湖北の子も達が集い、「つなげワンピースゲーム」では各所で与えられた課題に果敢に取り組み、たくさんの方に自然に触れる事が出来た。第二部におけるシンポジウムでは、基調講演の講師として栗木剛氏をお招きしご講演いただいた。その後のパネルディスカッションでは長浜市・米原市の両教育長と長浜市子ども会連合会会長の佐藤理事長にて登壇いただき、湖北の子も達の将来についての議論を繰り広げることが出来た。

《江・浅井三姉妹博覧会連携イベント》
 8月13日 湖北ジョイントフェスタ2011
 ～まちなか音ライブ!湖北に響く郷愁曲～
 長浜の街並みや湖北の歴史文化遺産と音楽を融合させ、まちなか全体をステージと見立てたまちづくり事業「湖北ジョイントフェスタ2011～まちなか音ライブ!湖北に響く郷愁曲～」を、江・浅井三姉妹博覧会と連携し、豊公園、長浜八幡宮、曳山博物館広場および江・浅井三姉妹博覧会場(小谷会場・浅井会場)など湖北一帯を会場として開催した。会場が離れていてもそれぞれが音楽で繋がった一体感からは何とも言えぬ感動を覚え、湖北16万人の心を一つにし、「日本一元気なまち湖北」の実現に向けて確実に一歩を踏み進めた事業となった。

10月16日 ディスカパー KOHOKU2011～マスマス輝け!湖北の未来～
 西友長浜市店東側駐車場にて、未来創造委員会による湖北コア・イノベーション構想推進事業「ディスカパー KOHOKU2011～マスマス輝け!!湖北の未来～」を開催した。一般の方々を対象に湖北地域に眠るシース(種)を掘り起こし、湖北の新たな地域資産として経済発展に繋がるよう市民の方々の知識を上げていただくことを目的として実施し、地域住民・行政・企業の多くの方が創造力(経済発展につなげる戦略を生み出す力)の必要性を感じられ、湖北経済の更なる発展に繋がる事業となった。

＜本年度の主な事業＞
 LD事業「めざせ新企業!!第一章～戦略的思考向上↑↑なう～」
 「めざせ新企業!!第二章～激変の時代を生き抜く方向↑↑なう～」
 FTセミナー「知るシル見知る湖北 JC サイクリング～熱き想いに触れる～」
 東日本大震災被災地への物資提供活動
 江・浅井三姉妹博覧会連携イベント



みなみはま冒険王国!つなげワンピース!湖北の宝 湖北ジョイントフェスタ2011

会員数 **109名**

- 当時の出来事
- M9.0東日本大震災発生
 - FIFA女子ワールドカップドイツ大会で日本代表が初優勝
 - 地上デジタル放送に完全移行

2012



第57代理事長
高橋 康之

【生年月日】 S49.6.19
【入会日】 H14.1

役員名簿

- 副理事長 和田 洋典 伊藤 斉 松村 英祐
- 専務理事 今村 潤
- 理事 渡辺 浩之
- 松濤 公宏 木下 貴博 中村 和彦
- 藤井 之博 居川 信彦 田中 克宜
- 仁科 喜次 松居 悟 伏木与司広
- 森川 博行 福永 貴之 居林 秀久
- 花澤 道春 夏原 健司 中原 幸嗣
- 大神 信也 鷺見 洋一 竹備 大祐
- 小林 大英 眞杉 国史 大澤愛一郎
- 堤 義定 国友 清貴 村田 寿郎
- 監 事 岡本 武三 福永 諭介

褒章

- 滋賀ブロック「準グランプリ」

MEMORYS

《湖北コア・イノベーション構想推進事業》
8月4・5日子ども達の新世界!!～湖北に眠る大秘宝を探せ～
湖北の雄大な自然に囲まれたウッディバシ余呉で湖北コア・イノベーション構想推進事業「子ども達の新世界!!～湖北に眠る大秘宝を探せ～」を子ども100名を超える参加応募を経てスケール大きく開催した。

また、この事業開催に先立ち関係団体や一般の参画者によって「輝らきらジョイントミーティング」を組織する事で、会議活動で事業の企画から実施、結果検証までを行った。これにより本年度活動の良否を明確に抽出出来たと同時に、この活動を通して参画者に子ども達の自立心を育む事の実用性を訴えることができたと思える。

《湖北コア・イノベーション構想推進事業》
長浜・戦国大河ふるさと博運携事業
10月27日 やんすこんす市民祭 2012 ～今、私があなたにできること～

10月27日(土)湖北コア・イノベーション構想推進事業「やんすこんす市民祭 2012 ～今、私があなたにできること～」を長浜中心市街地一体にて開催した。事業開催日を芸術、食、文化江の取り組みが活発になる季節に開催する事で、湖北地域内外の多くの方々に湖北の魅力や湖北市民の活力を最大限に発信出来た。また、長浜・戦国大河ふるさと博実行委員会に共催頂けた事で、参画団体による発信媒体や人との繋がりをもつことが出来た。

《湖北コア・イノベーション構想推進事業》
やんすこんす音楽祭ツアー～今、私があなたにできること～
上記の事業に至るまでの背景として、5月27日の湖北水どりステーションを皮切りに、6月3日龍井水の宿駅、6月9日賤ヶ岳西光寺、6月24日曳山博物館前、6月30日余呉湖、7月8日伊吹山3合目へと『やんすこんす音楽祭ツアー』を地域に呼び掛け湖北各地で行う事で、音楽を奏でる人だけでなく、湖北を愛する人々を巻き込みながら成長し、「この活動を自分たちのまちの新しい祭りに昇華させたい」という思いを一つにする大きな流れとすることが出来た。

<本年度の主な事業>
LD事業 脳内大革命!!～脳が変われば運命が変わる～
FTセミナー Tour De BIWAKO ～近江八景に触れ己を磨く～



～湖北に眠る大秘宝を探せ～ やんすこんす市民祭2012

会員数 106名

- ノーベル生理学・医学賞に京都大学教授山中伸弥が受賞
- ロンドンオリンピックで日本が史上最多のメダル獲得
- 東京スカイツリーが開業



2013



第58代理事長
和田 洋典

【生年月日】 S51.12.27
【入会日】 H13.1

役員名簿

- 副理事長 渡辺 浩之 松濤 公宏 松居 悟
- 専務理事 中村 直樹
- 理事 今村 潤
- 森内 建樹 松塚 奨 森川 博行
- 堀部 大輔 伊藤 和真 山岡 健一
- 中原 幸嗣 堤 義定
- 中村 彰 山根 尚也 仁科 喜次
- 平山 芳樹 磯崎 徹 福永 諭介
- 大澤 剛人 佐藤 硬史 山本 享平
- 中村 明博 北村 天孝 小林 大英
- 森居 弘 松宮 誠也 伏木与司広
- 監 事 村田 寿郎 高宮 裕作 松村 英祐
- 西川 政宏

褒章

- 滋賀ブロック協議会「グランプリ」
- 第3回近畿地区版人間力大賞「奨励賞」

MEMORYS

1月4日 一般社団法人格移行
《湖北コア・イノベーション構想推進事業》
湖北の成長プロジェクト～次世代エネルギーフォーラム～
6月29日(土)、ヤンマーミュージアム研修室にて開催したこの事業は、市民が積極的かつ主体的に携わる運動としていくために、エネルギーの地産地消が地域に新たな発展をもたらすことを市民、民間企業、行政に伝え、共に考えることで、住民が主体となって地域資源を最大限活用し富を産み出す「創造力ある地域主導型社会」の兆しを作る事を目的として事業を実施した。参加者は長浜市、長浜まちづくり100人委員会、湖北各地の商工会、そして一般公募で集まって頂いた方々に参加して頂くことができ、盛況のうちに開催することが出来た。

《湖北コア・イノベーション構想推進事業》
秘宝「キジク」を守り抜け!!～勇者!!湖北っ子マイスターへの道～
7月27日(土)28日(日)の両日にわたって、長浜市小谷上山田地区一帯で地元の方々との協力を得て事業を行った。本事業は心構えを実感できる機会を子ども達に与え、自立していく為の心の基軸を育むこと、そして様々な体験により自分で知り、学べる力を持っている事をこの事業に関わる全ての大人に実感して頂き、子ども達に対する接し方について学ぶことを目的として開催した。

《湖北コア・イノベーション構想推進事業》
やんすこんす市民祭り 2013 出合いに感謝～みんなで奏でるハーモニー～
8月10日(土)、事業当日は猛暑の中、長浜市内で活躍する皆さんのよさこいの演奏によって幕を開けた。メイン会場の自由広場ステージでは湖北各地の学校、幼稚園から参加して頂いたダンス、キッズダンス、鼓笛隊などが登場し市民祭りのシンボルともいえるようなステージとなり、なかでも湖北の中学生300人による迫力の大合奏は、私たちの市民祭りの象徴ともいえるようなものになった。本年度は企画の段階から私たち長浜青年会議所だけでなく、湖北各地の方々にご協力を頂くことで、市民が自ら創り上げていくという主体性をもって取り組んで頂くことが出来た。

<本年度の主な事業>
LD事業 見つめなおす時が来た!!
自社のこだわりいつ出すの?今でしょ!!
FTセミナー 湖北発展のルーツを巡る旅



～次世代エネルギーフォーラム～ ～勇者!!湖北っ子マイスターへの道～

会員数 102名

- 富士山が世界文化遺産に登録
- 長嶋茂雄と松井秀喜、元横綱大鵬が国民栄誉賞授与
- 2020年東京オリンピック招致決定

2014



第59代理事長
渡辺 浩之

【生年月日】 S52.11.13
【入会日】 H17.7

役員名簿

- 副理事長 今村 潤 高宮 裕作 小林 大英
- 専務理事 堤 義定
- 理事 伊藤 和真
- 中村 和彦 中居 孝文 松塚 奨
- 早川 敬士 大澤愛一郎 福永 貴之
- 粕淵 英明 松宮 誠也 松村 英祐
- 北川 博士 北村 天孝 種田 清宏
- 山岡 健一 中村 明博 高山 悠
- 高橋 康之 岡 真司 平山 芳樹
- 中川 敬浩 大澤 剛人 伊藤 斉
- 國友 建治 中村 直樹 大神 信也
- 佐藤 硬史 森内 建樹
- 監 事 西川 政宏 松濤 公宏

褒章

- 滋賀ブロック協議会「グランプリ」

MEMORYS

《湖北コア・イノベーション構想推進事業》
ドリームプロジェクト～かがやけ!ぼくたち、わたしたちの夢～「訪問事業」
～信じよう夢のチカラ! 1000の夢が集まる日～

子ども達の自立心を育むためには、子どもたちが自らの中にある無限の可能性を信じ、自分なら絶対に出来るという強い自信を持つことが大事であるという考えの基、計12の小学校、延べ958人の子ども達に対し、「夢」をテーマとした特別訪問授業を行った。この訪問授業を通して、子ども達が膨らませた夢を我々大人達がしっかりと認め、その夢を叶えるために重要な心構えや取り組みを伝え気付けてあげること、子ども達の自己肯定感を高め、自らの力に強い自信を持たせることで、多くの子ども達の自立心を芽生えさせることができたと思える。

《湖北コア・イノベーション構想推進事業》
湖北やんすこんす市民祭 2014 絆のシンフォニー ～市民が創る新世界～
8月2日、3日の両日ともに夕方から、長浜港において音楽・食・光のコンテンツと五感で楽しめる内容を提供し、多くの市民にご来場いただいた。実行委員会結成から数カ月の組み立てを経て、来場者に幸福感を感じてもらえるような設えを創り、当日をしっかりとすませていくことで、主催者側・来場者の両者が達成感・幸福感で心をひとつにすることができ、湖北コア・イノベーション構想の最終年度に相応しい事業ができたと思える。

《湖北コア・イノベーション構想推進事業》
市民が創る湖北の未来プロジェクト～知と地が結ぶ地域創造フォーラム～
8月30日(土)、長浜市に所在する勤労者福祉会館にて開催した。本事業を通じ参加者が地域資産を更に再認識し、経済発展に繋がる利活用方法を考えることで、それぞれの創造力が育まれ、新たな価値の創出だけでなく、挑戦心から主体的にムーブメントを起こし得る形を創出することができ、地域が一体となってマッチングを行いながら自律した循環型社会への変革を目指すことが出来た。

<本年度の主な事業>
LD事業 進撃の決断～新たな一歩をふみだそう～
FTセミナー 湖北見聞録～聞く、見て、体験ツール湖北～



～市民が創る新世界～ ～知と地が結ぶ地域創造フォーラム～

会員数 102名

- 世界文化遺産に「富岡製糸場」登録
- 消費税5%から8%へ
- 「アベノミクス」の評価を問う衆院選

湖北都市圏創造構想

人口減少時代を好機と捉え
湖北の優位性を育み発信し 湖北に都市圏を形成する

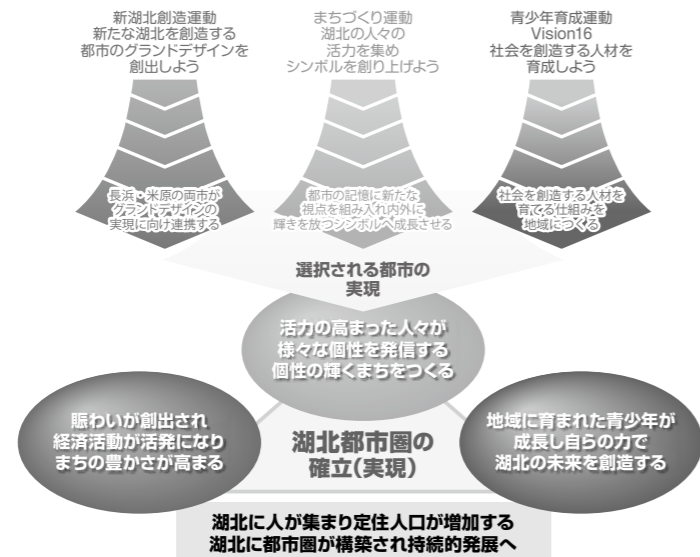
目指すべき方向性～湖北都市圏創造構想～

この湖北が内外から選択される都市となるためには、他に埋没しない湖北固有の魅力をもった都市として成長させていくことを目指すべきです。「新しい湖北の未来は、責任世代である我らの中にこそ存在する。だからこそ我らが行動しなければならぬ。」そんな思いを胸に私たち一般社団法人長浜青年会議所が積極果敢に行動し、社会変革の起点とならなくてはなりません。

経済的な賑わいだけでなく文化をしっかりと継承し、このまちに住み続けたい、このまちをもっと良くしたいと思う地域愛をもった人に溢れ、このまちで生まれ育った子ども達がまたこのまちへ戻り未来を創る。そんな地域にこそ人が集うと考え以下の運動を展開します。

- 新たな湖北を創造する都市のランドデザインを創出しよう
- 湖北の人々の活力を集め、シンボルを創り上げよう
- Vision16 社会を創造する人材を育成しよう

湖北全体に豊かさを生み出すため、米原市・長浜市の両市がその実現のために互いに連携し資産価値を高めていく都市構造を描き、湖北を象徴する強い個性をもち、高い誇りと郷土愛によって湖北の発展の為に積極的に貢献する活力ある人に溢れ、未来を創造していく人材を育成していく環境を整え、このまちに若者が帰ってくる循環を作ること。これら3つの運動により湖北が選択される都市として成長し定住人口の増加を図ります。湖北に人が集まりやがてこのまちを中心とした都市圏が形成され持続的発展を確固たるものにするのが「湖北都市圏創造構想」です。



行動理念 「未来は我らの中にある」

私たちが責任世代であることを自覚し、まちを変革を興そう。
JCにしかできない独自性にこだわり、地域に影響を与えよう。

今の湖北にある様々な資産は、先人たちが創ってきたものです。私たち責任世代の担うべきところは、青年らしい大胆さで湖北に変革を興し、次の世代が誇りと自信を感じるようバトンを渡すことです。私たちならではの斬新な発想力とそれを現実にする実現力で存在価値を高め、一般社団法人長浜青年会議所主導で地域を牽引しましょう。



第60代理事長
今村 潤
【生年月日】S57.1.26
【入会日】H18.1

役員名簿

- 副理事長 伊藤 和真(創立60周年実行委員会 実行委員長) 大澤 剛人 松宮 誠也 大澤愛一郎
- 創立60周年実行委員会 事務総長 堤 義定
- 専務理事 中村 直樹
- 理事 森川 博行 中川 洋志 清水 孝弘 中村 和彦 森居 弘 國友 建治 大橋清太郎 佐野 圭太 岡 真司 中川 茂樹 粕洲 英明 矢野 淳 関谷 篤範 松村 英祐 岩崎 正 早川 敬士 栗原 裕子 山根 尚也 仁科 喜次 中河 智紀 和田 洋典 森内 建樹 小林 大英
- 監事 松瀨 公宏 高宮 裕作

褒章

- 近畿地区「第5回人間力大賞奨励賞」 「AWARD KINKI 2015青少年育成部門 最優秀事業活動賞」
- 滋賀ブロック協議会「準グランプリ」

MEMORYS

《湖北都市圏創造構想推進事業》
7月25日(土)・26日(日)「子ども未来プロジェクト」～未来へのカギを見つけよう～

新構想の基、湖北に都市圏を形成する為に社会を創造する人材を育成するという視点で、青少年育成運動を展開しました。湖北の持続的発展には、この地域の中で自らの夢や人生の目標を実現していく、という気概に溢れた次世代のまちづくりの担い手となる青少年を生み出す事が必要だと考えました。そこで、湖北の未来を担う子ども達に、地域との関わりを深めると共に、実社会とのつながりを教える事で、職業や地域と現実に向きあう時期である16歳の段階で、自らの人生設計を明確に示し、自発的にこの地域を思う気持ちが行動につながることを身に付ける教育の考え方を「Vision16」と名付け、この教育の考え方を地域に浸透させる事を目的に開催しました。事業当日は90名を超える子ども達に参加して頂き、四部構成で事業を行いました。第一部では子ども達に職業体験や実際に社会で活躍する地域の大人との交流ができるプログラムを行い、多くの分野の職業を実際に体験する事で子ども達の社会的な視野を広げました。その経験をもとに第二部の「描こう未来予想図」では、自分の目標とする職業を決め、その職業に就かれている方とのディスカッションを行いました。そして第三部では明確になった自らの将来象をアウトプットさせる為に、第二部で考えた理想とする地域像を粘土と段ボールで模型として作成していただきました。この模型作成は運営にご協力いただいた地元の大学生や、ブースにご協力いただいた地域の大人達と共に行った事で、大人達との交流を通して子ども達の地域への関心を高める事につながりました。そして、集大成となる第四部では子ども達から保護者や行政関係者や教育委員会の職員に向けて自分が将来就きたい職業と、その職業に就く為に必要な心構えを堂々と発表すると共に、第三部で作成した理想とする地域像を発表していただきました。本事業を通じて、子ども達は職業体験や大人達との交流、まちについて語り合った事で自らの将来像だけでなく地域の未来をも考える事ができ、子ども達の社会的な視野は広がり、目標とする職業に就く為にとるべき行動を意識できるようになり、今後の人生設計や自らのビジョンを明確に持っていただく事ができました。



《湖北都市圏創造構想推進事業》
8月1日(土) Love for Kohoku 2015 ～ツール・ド・湖北 まわって・きて・みて・みんなで作ろう湖北八景～

新構想の基、湖北に都市圏を形成する為に湖北の人々の活力を集め、シンボルを創り上げるという視点で、まちづくり運動を展開しました。湖北の持続的発展には、湖北固有の資産である都市の記憶を輝かせ、その過程で湖北の人々の活力を結集し、多くの人々を惹きつける魅力を備える湖北のシンボルを作り上げる事が必要だと考えました。そこで、湖北にしかない景観を活かしながら地域の人々の誇りや愛を高め、誰もが体感できるように市民が自らの手で磨きをかける事で、この景観が将来湖北の新たなシンボルに成長する事を目指して開催しました。

事業当日は湖北一帯に点在する豊かな自然と深い歴史が創り上げてきた美しい景観を体感していただくことで、湖北の魅力を再認識していただくと考え湖北八景を自転車で走り体感する、「ツール・ド・湖北」を湖北一帯で開催しました。豊公園ではツール・ド参加者のゴールに合わせてマルシェを開催し、ステージプログラムでは、八景物語として八景を多くの人に感じていただける音楽やダンス、そしてファッションショーが開催されました。本事業を通じ湖北でしか感じられない景観に人々の活力を集め、人が集い、十分に体感していただける事業になり地域の誇りや愛を高めつつ、多くの人に湖北にしかない景観の今後の在り方を強く訴えていくことができ、多くの人の心に響かせていくことで湖北八景を皆で創り上げていくという考えを多くの人々に浸透できました。



《湖北都市圏創造構想推進事業》
8月22日(土) 新湖北創造フォーラム ～湖北をひとつにしたランドデザインを目指して～

新構想の基、湖北に都市圏を形成する為に米原市・長浜市の両市が互いに連携し資産価値を高めていく都市構造を描くという視点で、新湖北創造運動を展開しました。米原市、長浜市の両市長、両市議会議員、市民に対して湖北の可能性を感じて頂ける場を設け、米原市と長浜市の行政と市民が一丸となり、湖北を一つのまちとして捉えるきっかけを創る事で、両市が連携に向けた一歩を踏み出す為の、ランドデザイン創出の必要性を訴える事を目的として事業を開催しました。

事業当日は200名を超える参加者で会場が賑わう中、基調講演/パネルディスカッション/JCの主張の三部構成で開催され、本事業を通じて人口減少時代を迎える危機感から当事者が変わらなければならない意識と参加者の行動力を促した事で、湖北をひとつとした行政機関の連携と行政市民一体となったランドデザイン創出に向けた市民運動への喚起に繋がる事ができました。



<本年度の主な事業>
LD事業 経営者としての自己を確立しよう
～あなたの中に答えはある!～
FTセミナー 自己の器を広げる出会いの旅

会員数 96名

- ラグビーワールドカップで南アフリカを破り歴史的勝利
- 訪日外国人観光客の激増で「爆買」が起こる
- 日本人科学者の2人、大村智氏、梶田隆章氏がノーベル物理学賞受賞
- 北陸新幹線の富山から東京間が開業
- マイナンバー制度がスタート



第61代理事長 伊藤 和真

【生年月日】S53.12.15 【入会日】H19.1

役員名簿

- 副理事長 中村 直樹 森川 博行 中村 和彦 粕淵 英明 松宮 誠也
●専務理事 眞杉 国史 柴田 昌宏 藤本 雄一 関谷 篤範 松瀧 公宏 上田 暁成
●理事 岩崎 正 中原 幸嗣 藤田 義之 中川 敬浩 居川 光信 中河 智紀
... (more names) ...

褒章

- 滋賀ブロック協議会「準グランプリ」

MEMORYS

《湖北都市圏創造構想推進事業》 7月30日(土)・31日(日) 未来への挑戦!未来を切り開くのは君だ!〜満点に輝く星の下で〜

7月30日(土)・31日(日)に甲津原の地にて湖北都市圏創造構想推進事業「未来への挑戦!未来を切り開くのは君だ!〜満点に輝く星の下で〜」を1泊2日で開催し、湖北の子ども達51名にVision16の教育プログラムを経験していただきました。

1泊2日事業初日は起業家、教育関係者の意見を取り入れ、考えてきたVision16の教育プログラムに則りグループに分かれ新聞づくりの為、甲津原の皆さんの全面協力のもと地域の家々を回り、甲津原について学び、記事のネタを調査しました。

最初はみんな手さぐり状態でどういう風に地域の魅力を伝えたいのか、未来へ繋げていくにはこの魅力をどう生かしたらいいのか分かりませんでした。本物の新聞記者さんに新聞づくりの講義を受け、実際に指導していただき、修正することですべての班が見違えるほど良い出来栄の新聞を作る事が出来ました。

2日目午後から行われた甲津原未来新聞と題した発表記者会見では、米原、長浜の両市長や保護者の方々のご協力いただいた地元甲津原の皆さんや関係者の方々など多くの大人が見ている中で、本物の新聞記者の方々から記者会見を受け、みんな堂々と自分たちで作成した新聞について発表しました。

Vision16 創出委員会が中心となり、アントレプレナーシップを軸にVision16の教育プログラム確立の為に、この日まで有識者の方、専門家の方と多くの議論を重ねてきた成果が実を結び、社会に触れさせる体験をすることで関心を持ち、能動的に行動する子どもたちの成長を目の当たりにする事が出来た事で、地域の大人達にもVision16の教育プログラムの必要性を感じていただける事業となりました。



《湖北都市圏創造構想推進事業》 9月24日(土)「LOVE FOR KOHOKU2016〜コホクノイトコイッパイ〜」

湖北のシンボルを創出していくには、共有財産となり得る都市の記憶を活かした事業の中で地域の活力を高めて湖北に対する内外の羨望を集め、市民の方々にその可能性の大きさを感じていただ

2016

くことが必要と考え、9月24日(土)湖北都市圏創造構想推進事業「LOVE FOR KOHOKU2016〜コホクノイトコイッパイ〜」を長浜豊公園で開催し、一般来場者3000名を超える多くの皆様にご来場頂きました。事業を通し、湖北の都市の記憶とそこに住まう人々の魅力を再認識し、自分達の地域に対する誇りと地域を何とか盛り上げたいという行動力を高めていく事で湖北のシンボル創出に繋げると共に、湖北外から訪れた人々には都市の記憶に対する注目を集める事で湖北地域の魅力を大きく発信する事が出来ました。



《湖北都市圏創造構想推進事業》 8月27日(土) 湖北のグランドデザイン創出プロジェクト〜びわ湖に触れるまち湖北の実現〜

8月27日(土)長浜ヤンマーミュージアムにて湖北都市圏創造構想推進事業【湖北のグランドデザイン創出プロジェクト〜びわ湖に触れるまち湖北の実現〜】が湖北グランドデザイン創出委員会主催のもと開催されました。長浜市長や県内外からの有識者に加え一般市民の方も含め総勢150名の方々に参加していただきこの湖北が選択される都市となるためには何が必要なのか、我々の共有財産である琵琶湖を通じて、同じ湖北である長浜・米原が連携し湖北の魅力を活かした施策を議論しました。



<本年度の主な事業> LD事業 経営者の俯瞰力が企業を変える! ~伝えたい鳥と虫のVisual Point~ FTセミナー 行動で示せ!頂までの挑戦!

会員数 99名

- リオオリンピック過去最多41個のメダル獲得
●米大統領が被爆地・広島に歴史的な訪問
●18歳選挙権施行

- アメリカの大統領選でトランプ氏勝利
●国民投票で英国がEUから離脱決定



第62代理事長 中村 直樹

【生年月日】S57.11.22 【入会日】H20.1

役員名簿

- 副理事長 松宮 誠也 関谷 篤範 清水 孝弘 福永 貴之 國友 建治
●専務理事 中村 和彦
●理事 松塚 奨 谷口 和真 小林 大英 中原 幸嗣 本田 智英 奥長 藤秀
... (more names) ...

褒章

- 滋賀ブロック協議会「グランプリ」

MEMORYS

《湖北都市圏創造構想推進事業》 8月19日(土)・9月18日(月)・9月23日(土) コホクビジネスアカデミー2017 ~少年少女大志を抱け!湖北を変えるのは君たちだ!~

子ども達が、社会での実学を通し達成感を得ることで、自らの行動が地域に対して影響を与え、未来の湖北を創る子どもに成長してもらう為に、3日間に渡り、長浜市内の公共施設にて事業を開催させて頂きました。長浜・米原の歴史や文化を学び地域の素晴らしさを知りながら湖北にしかない魅力的なお土産をつくりました。

子ども達が、社会での実学を通し達成感を得ることで、自らの行動が地域に対して影響を与えることを感じて頂きました。事業1日目では、地域の歴史や文化を学び、全国や世界に発信したい湖北の魅力を話し合いました。

また、お客様にお土産の説明をし、買っていただくことで、子ども達に達成感を感じてもらいました。子ども達の発表や子ども、企業アンケート結果からも前向きな成果を得る事ができ、Vision16の理念と重要性を深く理解して頂く事が出来ました。



《湖北都市圏創造構想推進事業》 8月26日(土) LOVE FOR KOHOKU 感じよう湖北魂!〜湖北八景が創る新世界〜

昨年に引き続き参会者の方々には、自転車にて湖北八景を巡って頂きました。湖北八景を巡って頂く中、エイドステーションを設け、そこに住む方々に其々の地域についての魅力を説明して頂きました。エイドステーションでは、湖北の良いところを再認識して頂き、

会員数 91名

- 将棋の藤井聡太四段が29連勝達成
●北朝鮮、核ミサイルの開発加速
●陸上男子100m 桐生祥秀選手が9秒98を記録

2017

多くの方々との交流が生まれたことで湖北八景への注目を集めることに繋がりました。また本年度は、(株)モンベル様やジャパンエコトラック様の後援を頂き、ロゴの使用やジャパンエコトラック様が推奨しているコースを活用し湖北八景の価値を高める取り組みを行いました。

豊公園内のプログラムにおいては長浜市、米原市内の園児たちの描いたキッズアートの展示や宝探し、地元の方々のパフォーマンスなどを企画し多くの方々にご来場頂きました。プログラムの一部に湖北八景誕生セレモニーを行い来場者の方々に湖北八景を発信する機会とすることができ、豊公園全体を使い、湖北八景に対する認識を深めこれからこの地域を盛り上げていこうとする気概を持ち、行動力を高める事業とすることができました。

事業後には、地元有識者と湖北八景を精選し、外部企業の発信を使い湖北が一つとなる事業を構築できたことに評価をいただき、長浜市、米原市の両市長から湖北八景の公認をいただくことができました。



《湖北都市圏創造構想推進事業》 9月9日(土) 新湖北グランドデザイン創出プロジェクト〜びわ湖と共生するまち湖北の実現〜

本年はびわ湖を経済的視点で捉え、びわ湖の活用を柱とした湖北のグランドデザインの骨子を形作り、関係者と共に湖北の展望を明確に持つべく、運動を展開して参りました。訴求力の高いびわ湖の活用と、グランドデザインの骨子を見出すために大きく三つの取組みを実施してきました。

一つ目の取り組みとして、「びわ湖の新たな活用を創出する集い」と題し、びわ湖の活用方法について県議員をはじめ、湖北の経済人や行政、学術研究者など、産官学の有識者やエクスプローラー形式で意見交換を行いました。ここで私たちの考えるびわ湖の活用が形作られたと共に、びわ湖に流入する河川にも着目した活用を見出すことができました。

二つ目に、様々な形でびわ湖に触れている人々の意識調査をするべく、現在の法規制の中で実現できたいかち浜活用案を社会実験として現地さいかち浜にて実施しました。この社会実験での意識調査で、県内外を問わず非常に高い割合でびわ湖の活用に期待し、多くの方々が更なる活用を求めているというデータを得ることができました。

そして最後に、9月9日長浜バイオ大学にてフォーラムを開催させて頂きました。

このフォーラムは3部構成で実施し、株式会社博報堂の岩崎博論様の基調講演により、びわ湖の経済的価値を訴え、長浜青年会議所の主張においては、私たちの考える理想の湖北へ繋がる新湖北グランドデザインの骨子を発信し、水都大阪の忍那裕樹様、国土交通省の尾藤文一様や行政関係者と中村理事長でのパネルディスカッションでは、びわ湖の活用の有益性や、私たちのグランドデザインの骨子について、意見交換を行いました。地元企業や行政、議員の方々へ、びわ湖の経済的価値や水辺を活用した最先端のまちづくりの事例の発表を通じて、今後湖北がどのような展望を持つべきかを考え共有することができる良い機会となりました。



<本年度の主な事業> 湖北マルごとマネキンチャレンジ!!〜ミライに残そう湖北のイマを〜 LD事業 経営者〜100年企業を目指して〜 FTセミナー 夢追い「前へ」〜私たちの思考は現実化する!〜

2019



第64代理事長
中村 和彦
【生年月日】S55.7.29
【入会日】H21.7

役員名簿

- 副理事長 小林 大英 中原 幸嗣 西川 雅英
- 専務理事 池田 海一 建治
- 理事 荻下 拓士 小川 健介 狩野 翔平
- 岩崎 正 草野 穰治 押谷 優助
- 高山 悠 大西 健志 渡壁 佑樹
- 上野 暢之 松岡憲一朗 眞杉 国史
- 土肥 雅幸 中村 直樹 江尾 拓児
- 川地 俊良 奥長 藤秀 高井 恵理
- 山口 卓 杉江 英晃 中山龍之介
- 栗原 裕子 中河 智紀 鷺見 洋一
- 監事 福永 貴之 今村 潤

褒章

- 滋賀ブロック協議会「準グランプリ」

MEMORYS

《湖北都市圏創造構想推進事業》
7月14日(日) Vision16 Go to The Future!! ~未来への扉を開こう!!~
湖北都市圏創造構想運動最終年度として、社会を創造する人材を育成する教育を地域に波及させるべく運動を展開してまいりました。社会が高度化・複雑化していく中で社会を創造する人材を育成する教育体制の確立の為に、調査研究及び事業の構築に取り組みました。本年度はまず過去4年間の事業を検証するなかでVision16教育の認知度を長浜市米原市両教育委員会に確認し、この教育の浸透度を測ったうえで体制確立の実現可能性を調査しました。各年の事業内容には評価をいただいていると確信しこの教育が湖北独自の教育文化になり得るためには、前年度からの引継事項である人材・予算の拠出体制を明確にし、学校の教育現場だけでは成しえない教育の形を、我々主導で明確に示したうえで全国に発信する必要がありますと結論付けました。当日の事業では、湖北の中学生を対象に、地元で活躍している企業様の体験に基いた、学校では聞くことができない貴重なお話を聞きました。地元で憧れを持つことが出来る、新たな考えを持って貰うことで、自分の将来を考えるきっかけ作りになったと思います。38名の事業参加があり、各企業様の挑戦と失敗・成功の話聞き、その後EdTech (EdTech)の体験をしました。
また事業後も長浜市教育委員会が長浜市に対し次年度予算に教育インフラの整備に関し 予算要求されるなど、今年度のみならず過去4年間の我々の青少年育成運動に評価をいただけました。



《湖北都市圏創造構想推進事業》
8月24日(土) LOVE FOR KOHOKU いいね!が集まる#湖北八景
今年度まちづくり委員会では、湖北八景を湖北のシンボルとするため湖北八景の魅力を発信するためのツールの作成及び新たな独自の価値を湖北八景へ付加し、地域内外へ発信することを目的に活

動してきました。調査研究において、湖北八景の各箇所に湖北八景を象徴とするものがなく、湖北八景そのものの魅力や成り立ちといった内容を常に発信し続けるツールがない、さらには、湖北八景各々に魅力はあるが、その魅力を上手く活用することが出来ておらず、経済的な賑わいを起こせていない、といった課題が抽出されました。その結果から、湖北八景の魅力を再度分析するために、地域の人々を巻き込みその人々から知らないような内容を抽出しました。そして湖北八景の魅力を最大限引き出した各箇所の説明、及びその付近の更なる魅力を掲載する媒体、さらには湖北八景がただの景観ではなくこの地域の活力として幅広く活用できる湖北八景の象徴となるツール、「湖北八景全書」を作成しました。さらには、各所の人々が湖北八景に対し誇りを持って、更なる活力に繋がる「湖北八景宣言書」の作成を行いました。この「湖北八景宣言書」は滋賀県知事及び両市長承認を頂き、滋賀県や両市が湖北八景に対し関わりを持たせることが出来ました。これらを使い、湖北八景に対する強い思いを持った地域の人々、行政と共に進めた事業へはおよそ2000名の地域内外の人々に参加して頂き、湖北八景を大きく発信することが出来ました。さらに地域の人々には各所のそのものの魅力を湖北八景で繋げることでより経済的な活用方法を強く認識してもらいました。これらの運動により、滋賀県及び長浜市、米原市が湖北八景を強く認識したことで今後 行政が広く活用することとなり、「湖北八景全書」が地域の人々の象徴となったことで、湖北八景は地域の共有財産となり、湖北のシンボルとなりました。以上のことから、湖北八景が地域の共有財産であり、湖北のシンボルであることで選択される 都市への第一歩を歩み始めたことと確信いたしました。



《湖北都市圏創造構想推進事業》
8月10日(土) 新湖北ランドデザイン実現プロジェクト ~テックノロジーと共生するまち「Society5.0社会」の実現~
湖北都市圏創造構想最終年度となる今年度は、過去4年間の運動で創り上げたびわ湖の活用を中心としたランドデザインをブラッシュアップさせ、地域に発信し浸透させるべく運動を展開してきました。さらに、多くの方々へ共感を得ていただくために、ランドデザインの大きな全体像と経済効果や課題がわかりやすい小さなランドデザインの提案を行うことが重要であると考えました。事業では交通の利便性と自然景観を活かしIT企業の誘致に成功した白浜町役場の事例や若者ベンチャー企業のスタートアップを後押しする株式会社リノベスの事例などを紹介し、新湖北ランドデザインの有効性を市民や行政関係者へ訴えたことで、ランドデザインのもと両市が一体となりまちづくりを展開していくことが理想であることを共感していただけました。新湖北ランドデザインは田村駅周辺整備基本構想の議題にも取り入れられ、単なる発信だけでなく、関係者と共にランドデザインについて深く議論する機会が生まれました。



《本年度の主な事業》
FTセミナー 令和の時代を創る力~まちを回すペダルになる~
第49回滋賀ブロック大会長浜大会主催

2018



第63代理事長
松宮 誠也
【生年月日】S54.7.26
【入会日】H23.7

役員名簿

- 副理事長 中村 和彦 鷺見 洋一 松塚 奨
- 専務理事 小林 大英
- 理事 中河 智紀 木口 光 栗原 和也
- 柴田 昌宏 田中 一徳 金子 剛士
- 高山 悠 木下 靖之 伊藤 和真
- 大塚 一磨 池田 洵一 中川 敬浩
- 渡壁 佑樹 甲斐 智計 岩崎 正
- 押谷 優助 西川 雅英 山口 卓
- 狩野 翔平 細川 良 川地 俊光
- 松岡憲一朗 今村 潤 國友 建治
- 堤 義定 清水 孝弘
- 監事 福永 貴之 眞杉 国史

褒章

- 日本青年会議所 人間力大賞「経済産業大臣奨励賞」
- 滋賀ブロック協議会「グランプリ」

MEMORYS

《湖北都市圏創造構想推進事業》
7月29日(日)・8月11日(土)・8月18日(土) 湖北グローバルチャレンジ2018
Vision16教育が地域に浸透しかつ継続的な教育実施が定着するためには新たな教育実施体制と教育テーマが必要であると考え、運動を展開してきました。子ども達に世界を身近に感じてもらうことにより無限の可能性への気づきを与え、自ら考え行動出来るようになる教育の仕組みを創るために、SDGsを教育テーマとして掲げ長浜、米原市内の小学5年生~中学2年生を対象に3日間に渡り、行政の方や2017年度少年少女国連大使、NIED国際理解教育センターの協力のもと、長浜市内の公共施設やJICAなごや地球ひろばにて、事業を開催させて頂きました。
事業を通して子ども達が自ら学び、考え、行動し、新たな可能性を広げることが根幹に据え、事業1日目では、国際理解教育を主軸にワークショップの手法を用いて、普段の学校教育では学ぶ機会が少ない地域を飛び越えた世界を肌で感じるための学ぶ機会を提供することにより、世界観を養い、より大きな視点から自ら学び、考える大切さを実感して頂きました。



《湖北都市圏創造構想推進事業》
8月25日(土)・8月26日(日) LOVE FOR KOHOKU 五感で感じる湖北八景~新たな発見と出会いの旅~
今年度のまちづくり運動は、湖北八景の魅力を湖北外の人々へと発信し、そこで呼び込んだ方々から湖北八景に対する客観的な評価を得る事で、昨年度精選された湖北八景を地域のシンボルへと昇華させるために克服すべき課題を明確にし、地域の共有財産である湖北八景を地域のシンボルとして確立させることを目的に活動しました。調査研究において、湖北八景各地に関わる方や観光に携わる方との折衝の中から、それぞれの地域で日本に誇れる知られざる魅力が眠っているにも関わらず、その魅力が全国に知られていない、または1か所だけでは人を呼び込むには観光として成り立たない、そもそも地域の方々がその魅力に気が付いていない、そのような課題が抽出されました。その結果を踏まえ、湖北八景自体の魅力や、各地の景観・歴史・文化はもちろん、人・食など様々な魅力を様々な視点で繋ぎ合わせる事で、季節・世代・目的を問わず多くの人々が訪れたい場所として捉え、湖北八景が8つのアクションを有する湖北のテーマパークのような存在であると定義しました。そしてこの考え方をベースに今までのツールドという手法からツアーという手法に変更し事業を行いました。湖北八景を4か所づつに分け、歴史・文化ツアーと自然・景観ツアーに分け、各地の知られざる魅力を堪能して頂けるプログラムを構築しました。また各ツアー1日目の夜をメインプログラムと位置づけ、歴史・文化ツアーでは竹生島において、その場が舞台となっている能「竹生島」の鑑賞および打ち上げ花火、そして、自然・景観ツアーでは醍醐宿にて郷土料理のフルコースと湖北八景オリジナルカクテルをふるまう一夜限りの屋外レストラン「ダイニング八景」を開催しました。どちらのメインプログラムも過去に例を見ない内容で参加者はもとより地元の方や事業に関わって頂いた方にも大変ご好評を頂きました。今回の事業はまちづくり事業ではめずらしい宿泊型、また有料、しかも数万円単位の参加費を頂戴しての開催となりましたが、ツアー参加者からは各地の魅力に関しては期待を上回る高評価を得る事が出来、事業に関わって頂いた方にも湖北八景各地の魅力を再認識して頂く事が出来ました。



《本年度の主な事業》
11月例会 公開例会
LD事業 強みを活かして次の一歩を
~さあ才能(じぶん)に目覚めよう~
FTセミナー エキマエイルミネーション
~湖北を変えるのはオレたちだ~

会員数 **84名**

- 平昌五輪で日本は冬季最多13メダル
- サッカーW杯ロシア大会、日本は16強
- 2025年万博、大阪で開催決定

- 西日本豪雨、北海道地震、災害相次ぐ
- 米朝が史上初の首脳会談

会員数 **84名**

- 天皇陛下が即位。「令和」に改元
- 消費税率10%スタート
- ノーベル化学賞に吉野彰氏

- ラグビーW杯日本大会開幕、日本8強
- G20サミットが大阪で開催